

将来の教育環境に関する アンケート調査

結果報告書

令和2年2月

大野市教育委員会

目 次

1	調査概要	-----	1
2	小学校の1学年の学級数について	-----	4
3	小学校の1学級の児童数について	-----	24
4	中学校の1学年の学級数について	-----	43
5	中学校の1学級の生徒数について	-----	57
6	学校再編で不安なことについて	-----	72
7	自由意見	-----	79
8	参考資料		
	(1) 将来の教育環境に関するアンケート（原文）	-----	96
	(2) 学校再編に関わる意見（小中学校教職員対象アンケート結果）	--	98

1. 調査概要

(1) 調査目的

本調査は、教育委員会が平成29年1月に策定した「大野市小中学校再編計画」を見直すための基礎資料として実施した。

(2) 調査方法

令和元年5月12日(日)に開催した「結の故郷教育シンポジウム」及び5月28日(火)から11月28日(木)までに41回実施した「教育環境に関する意見交換会」に参加いただいた市民の方々にアンケート用紙を配布し調査を行った。

(3) 調査対象数 944人

期日	曜日	対象団体等	開催場所	参加者数
5月12日	日	結の故郷教育シンポジウム	文化会館	150
5月28日	火	開成中学校	開成中体育館	8
5月30日	木	陽明中学校	陽明中多目的室	9
5月31日	金	上庄中学校	上庄中体育館	12
6月6日	木	尚徳中学校	尚徳中体育館	15
6月19日	水	和泉小中学校	和泉小体育館	17
6月25日	火	有終南小学校	有終南体育館	11
6月27日	木	有終東小学校	有終東体育館	12
7月2日	火	有終西小学校	めいりんランチルーム	8
7月4日	木	下庄小学校	下庄小体育館	16
7月9日	火	上庄小学校	上庄小体育館	23
7月11日	木	小山小学校	小山小体育館	9
7月16日	火	阪谷小学校	阪谷小体育館	8
7月18日	木	富田小学校	富田小体育館	10
7月23日	火	乾側小学校	乾側小体育館	6
8月5日	月	小中学校教職員	めいりんランチルーム	112
8月22日	木	亀山保育園	亀山保育園	30
8月25日	日	菖蒲池結サロン	菖蒲池結和館	15
8月27日	火	上庄保育園	上庄保育園	25
9月17日	火	開成こども園	開成こども園	18
9月19日	木	篠座こども園	篠座こども園	29
9月24日	火	誓念寺こども園	誓念寺こども園	19
9月26日	木	誓念寺中野こども園	誓念寺中野こども園	22
9月27日	金	まちづくり懇談会	秋葉集会所	50
10月1日	火	いとよ保育園	いとよ保育園広場	21
10月2日	水	大野未来を考える会	文化会館	9
10月3日	木	いなやまこども園	いなほこども園	25
		いなほこども園		
10月8日	火	大野幼稚園	大野幼稚園	18
10月10日	木	荒島保育園	荒島保育園	15
10月15日	火	あかね保育園	あかね保育園	22
10月17日	木	阪谷保育園	阪谷保育園	15
10月21日	月	和泉保育園	和泉保育園	9
10月24日	木	五箇公民館	五箇公民館	7
10月29日	火	和泉地区	和泉小学校体育館	22
10月31日	木	乾側地区	乾側小学校体育館	14
11月5日	火	小山地区	小山小学校体育館	16
11月7日	木	阪谷地区	阪谷小学校体育館	8
11月12日	火	富田地区	富田小学校体育館	20
11月14日	木	上庄地区	上庄小学校体育館	25
11月19日	火	下庄地区	下庄小学校体育館	22
11月21日	木	大野地区	結とびあ多目的ホール	37
11月28日	木	市政懇談会	めいりん洋室(中)	5
			合計	944

(4) 回答者数 822人 (回収率 87.1%)

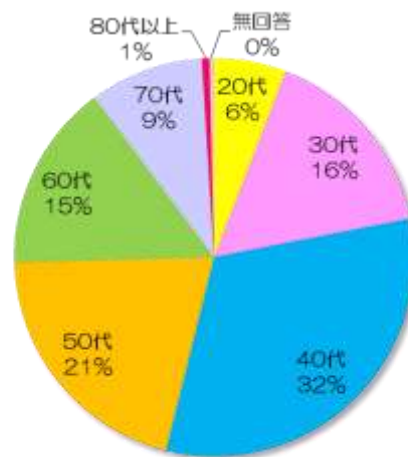
(5) 回答者の割合

○各保護者別

分類	人数 (人)	割合
乳幼児の保護者	10	1.2%
乳幼児、保育園児や幼稚園児の保護者	12	1.5%
乳幼児、保育園児や幼稚園児、小学生の保護者	5	0.6%
乳幼児、保育園児や幼稚園児、小学生、中学生の保護者	1	0.1%
乳幼児、小学生、中学生の保護者	1	0.1%
乳幼児、その他の保護者	2	0.2%
保育園児や幼稚園児の保護者	58	7.1%
保育園児や幼稚園児、小学生の保護者	75	9.1%
保育園児や幼稚園児、小学生、中学生の保護者	7	0.9%
保育園児や幼稚園児、小学生、中学生、高校生の保護者	2	0.2%
保育園児や幼稚園児、小学生、中学生、高校生、大学生や専門学校生等の保護者	2	0.2%
保育園児や幼稚園児、小学生、その他の保護者	3	0.4%
保育園児や幼稚園児、中学生の保護者	2	0.2%
保育園児や幼稚園児、中学生、高校生の保護者	4	0.5%
保育園児や幼稚園児、中学生、高校生、大学生や専門学校生等の保護者	1	0.1%
保育園児や幼稚園児、高校生の保護者	1	0.1%
保育園児や幼稚園児、その他の保護者	2	0.2%
小学生の保護者	73	8.9%
小学生、中学生の保護者	50	6.1%
小学生、中学生、高校生の保護者	11	1.3%
小学生、高校生の保護者	6	0.7%
小学生、大学生や専門学校生等の保護者	3	0.4%
小学生、中学生、その他の保護者	1	0.1%
小学生、高校生、大学生や専門学校生等の保護者	1	0.1%
小学生、その他の保護者	1	0.1%
中学生の保護者	13	1.6%
中学生、高校生の保護者	24	2.9%
中学生、高校生、大学生や専門学校生等の保護者	4	0.5%
中学生、大学生や専門学校生等の保護者	3	0.4%
中学生、大学生や専門学校生等、その他の保護者	2	0.2%
中学生、その他の保護者	1	0.1%
高校生の保護者	14	1.7%
高校生、大学生や専門学校生等の保護者	11	1.3%
高校生、大学生や専門学校生等、その他の保護者	1	0.1%
高校生、その他の保護者	2	0.2%
大学生や専門学校生等の保護者	26	3.2%
大学生や専門学校生等、その他の保護者	7	0.9%
その他	367	44.6%
無回答	13	1.6%
合計	822	100%

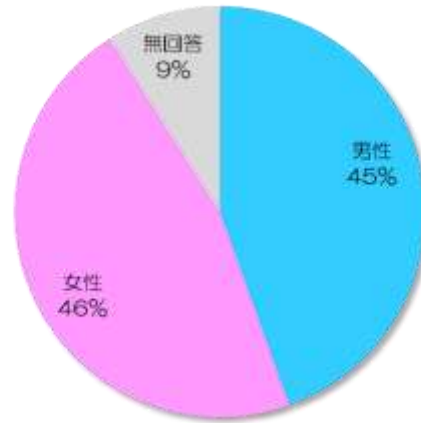
○年代別

年代	人数 (人)
20 代以下	48
30 代	132
40 代	263
50 代	170
60 代	125
70 代	76
80 代以上	5
無回答	3
合計	822



○男女別

性別	人数 (人)
男性	366
女性	382
無回答	74
合 計	822



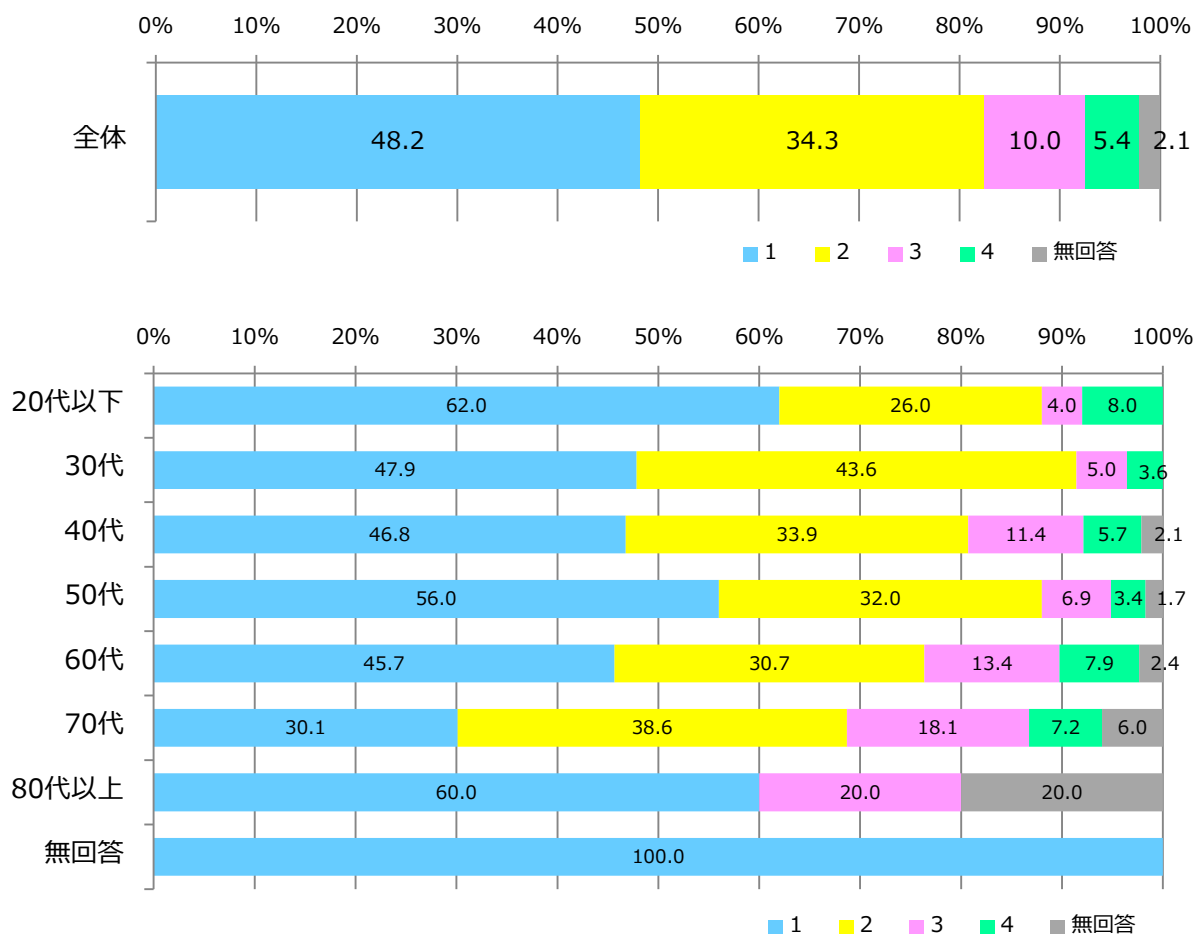
(6) 集計結果の表し方

- ・設問は、単一回答（1つだけに○）、複数回答（すべてに○）の2種類がある。
- ・図表の数値は、原則として各設問の無回答を含む回答者総数に対する百分率（%）で表している。
- ・百分率は小数点第2位を四捨五入している。
- ・複数回答の設問では、合計が100%を超える場合がある。
- ・単一回答において複数回答している回答者がいるため、設問の回答者数とアンケート回答者数が違う場合がある。
- ・「無回答」は、回答していないものを表している。
- ・問4、問6、問8、問10は、それぞれ前の問いに回答した理由を記述式で回答するものである。集計結果では、回答理由を集約し分類している。すべての回答理由は、集約結果の後に年代別に掲載している。

問3 小学校の1学年の学級数は、どのくらいが望ましいと考えますか。【単一回答】

- 1 1学年複数学級（2学級以上）が望ましい
- 2 1学年1学級でもよい
- 3 複式学級（2つ以上の学年を1つに編成した学級）があってもよい
- 4 分からない

全体では「1学年複数学級が望ましい」が48.2%と約半数が考えている。年代別では20代以下と50代、80代以上において約5割以上が複数学級を望んでいる。30代では複数学級と1学級がほぼ同じ割合となっている。「複式学級があってもよい」との考えについては年代が高くなるにつれて割合が高くなっている。



(上段：実数、下段：%)

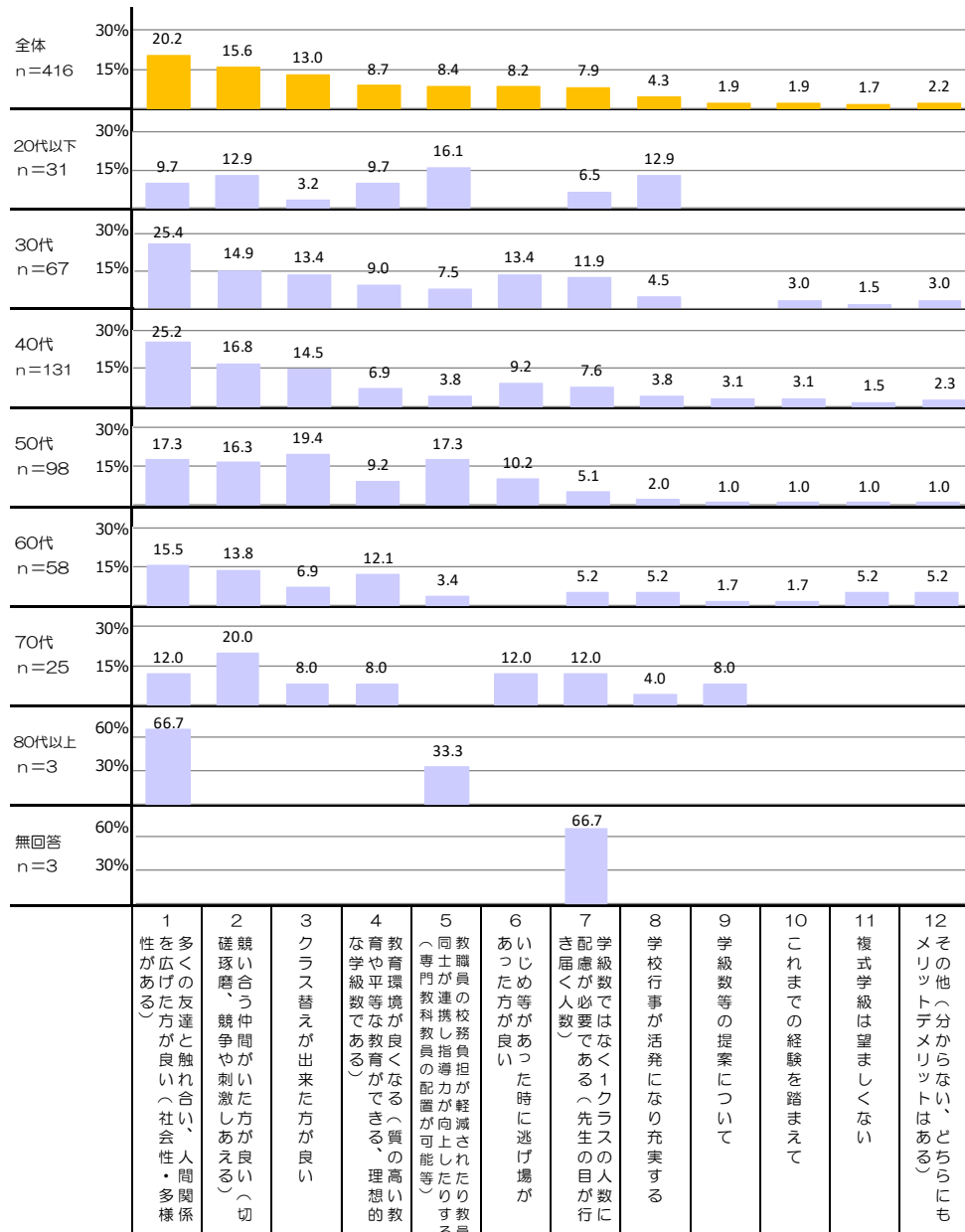
	回答者数 (n)	問3回答					
		1	2	3	4	無回答	
全体	863	416	296	86	47	18	
	100.0	48.2	34.3	10.0	5.4	2.1	
年齢別	20代以下	50	31	13	2	4	0
		100.0	62.0	26.0	4.0	8.0	0.0
	30代	140	67	61	7	5	0
		100.0	47.9	43.6	5.0	3.6	0.0
	40代	280	131	95	32	16	6
		100.0	46.8	33.9	11.4	5.7	2.1
	50代	175	98	56	12	6	3
		100.0	56.0	32.0	6.9	3.4	1.7
	60代	127	58	39	17	10	3
		100.0	45.7	30.7	13.4	7.9	2.4
70代	83	25	32	15	6	5	
	100.0	30.1	38.6	18.1	7.2	6.0	
80代以上	5	3	0	1	0	1	
	100.0	60.0	0.0	20.0	0.0	20.0	
無回答	3	3	0	0	0	0	
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

問4 問3で回答された理由について【記述回答】

○問3「1 1学年複数学級（2学級以上）が望ましい」と回答した理由（集約結果）

問3で「1学年複数学級（2学級以上）が望ましい」と回答した、その回答理由を以下の12項目に分類した。（回答理由が多岐にわたっている場合は該当する項目に分類している。以後の設問も同様。）全体で理由として多いのは「多くの友達と触れ合い、人間関係を広げた方が良い」であり、特に30代、40代にその傾向が強い。20代では「教職員の校務負担軽減や指導力向上」が理由として多い。50代では「クラス替えが出来た方が良い」であった。

- 1 多くの友達と触れ合い、人間関係を広げた方が良い（社会性・多様性がある）
- 2 競い合う仲間がいた方が良い（切磋琢磨、競争や刺激しあえる）
- 3 クラス替えが出来た方が良い
- 4 教育環境が良くなる（質の高い教育や平等な教育ができる、理想的な学級数である）
- 5 教職員の校務負担が軽減されたり教員同士が連携し指導力が向上したりする（専門教科教員の配置が可能等）
- 6 いじめ等があった時に逃げ場があった方が良い
- 7 学級数ではなく1クラスの人数に配慮が必要である（先生の目が行き届く人数）
- 8 学校行事が活発になり充実する
- 9 学級数等の提案について
- 10 これまでの経験を踏まえて
- 11 複式学級は望ましくない
- 12 その他（分からない、どちらにもメリットデメリットはある）



(上段：実数、下段：%)

	回答者数 (n)	問4 (問3-1の回答理由)											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
全体	416	84	65	54	36	35	34	33	18	8	8	7	9
		20.2	15.6	13.0	8.7	8.4	8.2	7.9	4.3	1.9	1.9	1.7	2.2
年齢別	20代以下	31	3	4	1	3	5	0	2	4	0	0	0
			9.7	12.9	3.2	9.7	16.1	0.0	6.5	12.9	0.0	0.0	0.0
	30代	67	17	10	9	6	5	9	8	3	0	2	1
			25.4	14.9	13.4	9.0	7.5	13.4	11.9	4.5	0.0	3.0	1.5
	40代	131	33	22	19	9	5	12	10	5	4	4	2
			25.2	16.8	14.5	6.9	3.8	9.2	7.6	3.8	3.1	3.1	1.5
	50代	98	17	16	19	9	17	10	5	2	1	1	1
			17.3	16.3	19.4	9.2	17.3	10.2	5.1	2.0	1.0	1.0	1.0
	60代	58	9	8	4	7	2	0	3	3	1	1	3
		15.5	13.8	6.9	12.1	3.4	0.0	5.2	5.2	1.7	1.7	5.2	
70代	25	3	5	2	2	0	3	3	1	2	0	0	
		12.0	20.0	8.0	8.0	0.0	12.0	12.0	4.0	8.0	0.0	0.0	
80代以上	3	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
		66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
無回答	3	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	

◎各年代別の回答理由

20代以下
担任1人あたりの負担の軽減。何かあった際のトラブル対応の1つとしてクラス替えができる。
新採用、若年の育成。
学年主任に、何かと相談できるのがありがたいです。
若手は近くに相談できる教員(先輩)がいる方が心強いから。
様々な考えをもった子とかかわる機会が持てるといいと思うから。
担任同士が協力できる。仕事の分担ができる。他クラスと競いながら子どもたちが高め合うことができる。
対抗意識、ライバル視、競争心が芽生えて活力になる。仲間意識が強くなる。
友だち作りの面で苦手な子といなくても好きな子と一緒にクラスだったら関わらなくてもよくて気が楽だと思うから。
クラスの競争心が高まる。
小学校はこれから中学、高校と進む中の1番最初に経験する教育の場だと思うのでゆとりを持って学習して欲しいなと思いました。(学習面でも環境面でも)
各クラスでそれぞれの良さが育つと思うので学年で見るといろんな良さを持ち合わせた子が育っていくのではないかなと思う。お互いの良さを認め合える子が育つ。
クラス編成するときに子どものバランスを考えられるため。
学校祭など楽しいから。
少ないとクラス行事にやる気など芽生えないから。
複数学級にすることで1人1人と向き合えると思ったから。
クラス対抗リレーとかが出来るから。
1クラスで人数が多いと先生の目が行き届かなかったり大変な面も多いと思う。複数クラスで1クラス少人数の方が先生と親しみやすかったり、クラス対抗が出来たりメリットが多いと思う。
運動会等は人数が多い方が楽しめる。
少人数制の方が先生たちの目が届いて安心なイメージ。
30代
周囲とコミュニケーション、関わる力がこれから先必要とされる中で、多様な選択肢を提供・経験する必要があると考えるから。
クラスごとによる競争心ができ、学習向上につながると思う。
行事等をするにも活気が出る。
たくさんのクラスになることは反対ですが2クラスくらい(今の下庄小学校)の人数がとても理想的だなと思うから。
自分の経験上、クラス替えは刺激になった。クラス替えをしない経験はしていないので、ずっと1クラスの良さも知らない。
1クラス20名くらいの人数で複数クラスあると良い。
人間関係の修復が難しい状況となった場合、クラス替えがないのは不安。
1学年1学級でも良く、複式学級でも良いが学校内の先生の数が少なくなり、不安である。生徒も先生も少ないと学校の維持が大変かと思う。
1学年の学級数より、学級児童数の方が重要だと考えます。なので1と2を選びました。

少人数のクラスがいい。
各学級の団結力が出てくる。多い方が子供たちは楽しい。
教員同士の連携。クラス替えができる。
同学年での様々な交流が図れる方がよい。ただ、多すぎることは弊害が出ると思うので、2～3学級程度がよい。
単学級よりもおもしろい活動ができる。
・様々な活動をするとき、やはり他のクラスがあった方がいいと思うから ・教員としても話・相談できる相手がいるといいと思うから。
1学年1学級では小学校6年間、人間関係が固定されてつらい児童もいると思う。複数学級だと、その学年で役割分担をして仕事ができる。
異なる価値観を持つ生徒同士の交流が子供の成長につながると思うため。
外国では20人前後が教育の理解力が良いと言われています。学校を好きになったり学習にも前向きになるようなのでクラス数より、クラス中の人数を見て欲しい。教員数にお金をかけられるのであればそうしても良いと思う。
頑張りあえるライバルがいる方が良いと思う。クラス替えが出来る。(合わない子がいても)
2学級以上あると競争が生まれて良い刺激になりそう。
クラス替えなど必要かと思う。
クラス替えがあった方が良さそう。
どちらにもメリット、デメリットはあると思うので。
人間関係を育成していくため豊かな心を育成していくため、ある程度的人数で競い合うことも大切だと思います。
クラス替えなど出来た方がよい。
生徒が多い方が学校は楽しい。
多くの情報が得られるし、逃げ場が増える。
1学級だとクラス替えがないまま6年過ごすことになるため、何かあった時(いじめ等)の対応が難しくなると思うので。(池田中のように)メリット、デメリットを考える必要はあると思います。ずっと同じでも個人的には絆が深まっていいと思いますが。
自分も学習してきた1学年2～3クラスがいろいろな子どもを数人の先生で指導するのが良いと思う。1学年1学級だと学力の差が出るのではないかと。先生の目が全員に行き届くのか。
1学級でも良いと思うが2学級以上あった方がクラス替えもあり、いろんな経験が出来ると思うから。
1クラスで友だちの仲が深まるのもいいが。
子ども同士の関わりで1クラスより2クラスあった方がいいかなと思ったから。何かあったら(いじめとか)心配である。
子どもにとっての逃げ道が必要かな。
様々な人と関われるため。
学級での問題や仲間関係の再構築の場があってもいいと思う。
いろいろな友だちと関わったり、クラスとしての活動(運動会など)も充実しそうだから。
園では個人1人1人のことをしっかり見て下さっているのが目が行き届くようにして欲しいです。
できる限りたくさんの友だちと触れ合って欲しいから。
よく知った顔と知らない顔が1学年にあった方が社会性があるから。
複式なのでちゃんと授業が成り立っているのか。
1学級は寂しい。
人数によっては複数クラスが良い。複数クラスある方がクラス対抗が出来たりしてクラスの団結が出来る。
クラス対抗は各クラスの団結力が高まると思います。
大勢の中で競争しながら学んだ方が子供の成長につながると思うから。
マンネリが懸念される。合同授業を時々するときのドキドキ感があるから。
クラスが固定されると友人関係で辛くなってもクラス替えが救いになると思う。
たくさん子どもがいた方がよい。今の現状で大丈夫ではないか。
6年間、同じ環境よりも新しい環境にも対応していく力を身につけさせたいから。
行事(運動会等)においてクラス分けがないと難しい。
少人数の方が手厚くみて頂けると思うため。
複数クラスあった方がクラスごとの個性も出てきて多様性があると思う。
40代
クラス替えができる。
現在子供たちの様子を見て、クラス替えなど環境の変化に対応した子の成長が良くみえる。

6年間同一の学級では生徒間に序列が出来たり、クラス替えが出来ない事。
クラス替えや多人数の中で生活することでいろいろな刺激があって良い。
少人数の良さもちろんあるが、小学生のうちから、いろいろな児童と関わり、集団生活を体験する必要があると感じている。
競争、話し合い、色々な意見を体験できる。
人間関係が固定されないのが、多くの人とふれ合い学びあえる。うまくいけば安定し、深くつながる。一人一役二役で自己存在が高まると思うから。
たくさんいた方が盛り上がる。
スポーツをする子供たちは自分の学校だけでメンバーがそろわず不便な思いをしているのではないか。子供たちの友人関係としては超少人数ならば逆に家族的で良いが、基本的にはクラス替えなどしてリセットされることは必要と思う。
クラス替えができることで子どもたちが色々な人と（子ども、先生）関わることができることいいと思う
いろんな考え方があっていい。いろんな環境の家庭がある。
クラス替えができる。先生の目が届く。
人数が多すぎても知らない人が増えるだけだから。
クラス替えはできた方がいい。
学校行事等を行う時に活発な活動が難しい。
多いにこしたことはない。
運動会にしろ何にしろ、1学年1クラスではちょっと寂しい。適度な競争、意欲は必要。
1クラスあたりの人数がゆとりあるようになる方がいい。同学年に違うクラスがあることがライバルチームがあるようでいい。
それぞれに長所、短所があるのでどれでも違いはないと思います。
2クラスあった方が比べられる。
そのクラスに居場所がない時につらいから。
1クラス20～30人が好ましい。
クラス対抗の催しなども教育上必要かと思えます。
他の学年に影響されるので複式はできれば避けたい。でも、どんな状況でも子どもは適応している。
切磋琢磨できると良い。いじめがあった時に逃げ道があった方がよい。
友人関係
競い合う仲間がある程度いた方が良くと思う。
息子が6年間同じ学級、同じクラスメイトと過ごしている。とてもいいクラスだが発達段階に応じて新しい環境を与えてあげたいと思う。
良い所、悪い所、それぞれあるかと思いますがいろんなタイプの子と出会えるのはメリット。でも嫌なことがあって逃げ場がない（クラス替え等）のはかわいそうだなと感じています。
人間関係がこじれた時、逃げ場がない。
クラス替えで救われる子（友人関係、先生との相性）がいる。切磋琢磨できる。
昔、自分がそうだったので、それ以外想像できない。
自分がそうだった。（良いイメージ）
自分の頃がそうだったため。
各クラスあった方が競争したり、いろいろな友だちでふれあえる。
人数が少ない方がよいので複数にした方がよい。（分散する）
ある程度たくさん生徒数の中で学校生活を過ごすことで学べることが多いと思います。
多様性があり協同、競争のある学校がよい。
学年の教員の協力、校務の分担、たてわり活動の充実、適正な施設の利用、地域との連携、通学の負担等々、様々な理由での選択です。
1学級に16～28名くらいが、きめ細かに見られるから。1学級でもよい。2学級あればなおよい。クラス替えもできるから。1学級が多すぎるのはよくない。
社会性を身につける上で大人数で学校生活を送ることが大切だと思う。人間関係がうまくいかなかった時にクラス替えができるから。
多くて3学級まで。
2学級以上でもよいが3より多くない方がよい。
落ち着いて学ぶのに1クラスの学校、また、子どもも教職員も2クラス以上の学校両方あってよいと思う。
交流（児童）相談（教師間の）ができる。
人間関係が再構築されるから。
子どもの人間関係がいろいろ増やせる。教員の支え合い、高め合いができる。

クラス替えをできた方がいい。
1学級でもよいと思うが、多様性を経験させようと思うと、2学級以上の交わりが適切な刺激になると思うから。
いろいろな子と出会える。
多様性。
クラス間で相談できる。情報交換。クラス替えができる。PTA活動がやりやすい。
・複数教員で学年の業務を分担できるし、教育方針などを相談して進められる。・これから若い教員が多くなる時代がくる中、1人で（新採用教員などが）学年のことをまとめるのは大変。・子供の人間関係の問題をクラス替えによって解消できる。
クラスで何かあっても人間関係をクラス替えで少しでもリセットできるかもしれないから。
人口が減っていく中で我々大人が経験したことのない時代に突入していく。正直に言って何が良いか分からない。
クラスの雰囲気を変える機会があった方が良くと思う。例えばいじめとか、喧嘩とか。
多様性。
大人になれば大きな社会に出るので小さいうちから多人数の環境になれるべき。
子どもの人数を考えたのクラス編成で1クラスが多すぎなければ良いと思う。
多人数の中で揉まれる事も人格形成に大切と思うのでクラス内の人数がある程度増えるように再編してほしいです。
学校行事（運動会など）が盛り上がるから。
1年生のうちは丁寧にみてもらえるとありがたい。
1学級だけだと友だちの広がりがないから。
1学年で大勢より、2学級の方が良い。
現在30人以上の児童が1クラスとなっています。子どもの質も昔に比べて変わってきています。先生（担任）はもちろん、子ども達も授業を受けるのも大変になってきているので2クラス、少人数にしても良いかと思えます。
同じ仲間以外との交流も大切だと思うので。
クラスが1つだと逃げ道がないように感じるため。
複式でなければ。
いろんなタイプの子と交流できるのは良いことだと思う。
出来るだけたくさん友だちと一緒に学んで欲しい。
小学生はある程度の人数（1クラス30人×2クラス以上）がいた方が良いと思う。
体育大会などクラス対抗ができる。
対抗意識が有って良いのではないかな。
目の届かない児童が出る恐れがある。
人数が少ない方が良いのでは。
友だちをたくさん作れた方が嬉しいが少人数クラスでも上下学年合同でも良いと思う。いろいろな世代と交流出来る。助け合える。
クラスが変わる楽しみ、人間関係づくりができる。
クラス同士で競い合える環境があった方がいいと思うから。
人数が多いと先生とコミュニケーションがとれなさそう。
1学級の中で児童数が多いとゆったりとした授業が受けられない気がするため。
同じ年齢同士の集団生活や授業を体験させたい。
少なすぎても寂しいので。
ある程度の人数で学習した方が良いと考える。
大野地区内含めた再編・逃げ場確保。
たくさんの中で生活すると多くの経験が accrue するから。クラスごとの競争がある方が良いと思う。
クラス替えが必要。同学年でクラス単位で競い合うことも出来る。
互いの勉強になる。
チームワーク、協調性を育む必要があるのではないかな。
クラスが変わって環境が変わることは子どもにとって必要なことだと思う。
学ぶ環境と競争。
50代
複数学級だとクラス替えができる。人間関係の幅を広げるためにも、クラス替えは担任の先生が変わることもしてほしい。
クラス替えの経験をする事で人間関係が固定化されない。
クラス替えができるように複数学級がよい。

同学年でも、他クラスがあることで違ったクラスの雰囲気などが感じられ、いい意味で切磋琢磨していけると思うから。
1 クラスでは逃げ場がない。
子供同士の切磋琢磨、望ましく安心できる人間関係づくりには一学級のみでの固定された時にクラス替えが必要な集団では効果がうすく、救われない子供が出てくるからです。教員がその学級の子たちを受けつぎ、より質の高いものとしていくには人事異動による分断があってはならないと考えます。また2人以上の教員が相互に影響しあうことで、教師としての力量も向上していくからです。
子供に競争心が出てくると思う。
やはり小学校低学年では一定人数、複数クラス、複数の先生のもと、生活することは大事だと思うから。
気がかりな児童が1人でもいると、大人数の中での教育は担任に大きな負担がかかるとともに、質の高い教育活動が保障されない可能性が高くなるからです。小1に限らず、低学年はできるだけ少人数学級でお願いします。
定期的な学級編成替えが必要。人間関係、学力、体力が学級で偏らないように。
クラス同士で刺激しあったり、協力し合ったりできるのが良いかと思います
私自身の経験から、40人近い学級が小学校で5クラス、中学校で6クラスあり社会性が身についた。
これからの子供たちが社会人になるために小さい頃から多くの仲間たちとコミュニケーションをとり、様々な人格に触れることが大切であると思われます。
同学年は多い方がよい。
クラス替え、クラスごとの発表などができない。
2学級以上で切磋琢磨してほしい。
多様な考え方をを持った人との関わりを学ぶ事ができる。クラス替えも、新たな人間関係を生むことが出来る。
卒業までにクラス替えができるから。
人間関係がうまくいかない時、2クラス以上あればクラス替えが利用できる。
人間関係がかたまらないとよい。
児童にとっても、教員にとっても共に学び、生活し、伸びてゆくのに適正規模だと考えます。
活動の幅が広がるため、学校行事
教育効果には一定以上の児童数が必要だと考えている。
競争心が養われると考えるため。大人数の方が友人も多くなり楽しめるから。
クラス替えがないと困る子が出てきます。学校として若い教員を育てるということで1学年1学級より2学級以上の方がスムーズにできる。
担任が複数いた方がよい。
クラス替えなども子どもが経験でき、より多くの人とかかわる、出会うことができる。教員にとっても、同学年での協力や研究を深めるなどよいことが多い。
学級が複数あれば、担任どうし連携して質を高めることができる。しかし、複式学級にはそのよさも多くある。
学級は生活する中での基礎となるものである。1学年にクラス担任をしている者が、互いに相談し合い、高め合えるとよい。
教員の学び合いが教育の質の向上につながっていくから。
2学級程度。1学級のみだと競い合いや切磋琢磨できない。
クラス替えができ切磋琢磨する環境。1学年職員が2名以上がよい。
担任による。経験のある教員なら1学級でもよい。経験があまりない新採用教員ならば学ぶという意味で複数で担任した方がよい。
学級の力を味わわせたい。
若手教員を育てる意味で。
小さいうちからコミュニケーション能力はつけた方がいい。ひとの中でもまれることは大切（トラブルの経験と逃げ道をつくる）。
新しい学力観にとって必要。複式はよくない。
子どもの序列化をさけるため。
同学年の教員同士で相談できる。クラス替えが可能。
1学級でもいいし、2学級でもよいと思う。2学級あることで、子どもたちの活動の幅が広がることもできる。
教員を育てる、教育課程をよりよいものと受け継いでいくという意味で、2学級以上は必要。
複数の方がおもしろい。友達ができる。
学級編成替えや、多様な児童との関わりが人間力や人格形成において成長期の子どもにとって必要であるから。
・教員数が増える→校務分掌の負担が減る　・専門の教科を教えられる教員を配置できる　・研究体制が整う。
少人数では子供同士での切磋琢磨や小さなコミュニティとしての役割から学ぶ事が大きいと思うから。
クラス替えなどで、固定された人間関係を2年に1回程度リセットするのが望ましいから。
2学級あった方が、教員も話し合い、学び合いながらより良い教育につながると思う。
省察のため。

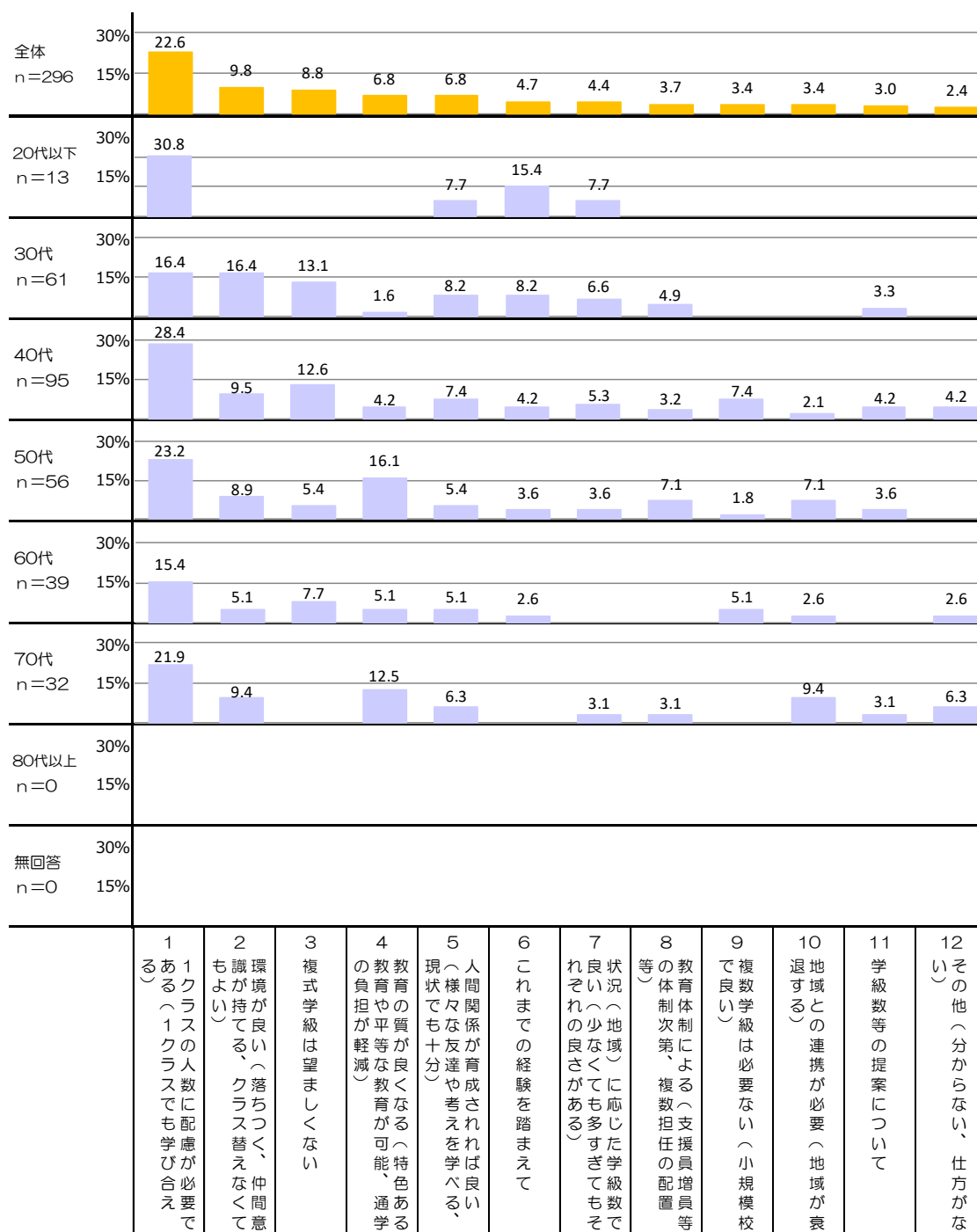
クラス替えは一時的に人間関係をリセットできる。
学級に居場所がない子が行く場所があるとよいと思うから。教員も相談、助け合いができる。
1・2どちらでもOK 特色あるクラスができると思うからです。
学年行事の計画実行、学習指導、生徒指導面など学年を運営するにあたって、複数の担任がいて相談しながら進めていくことができることは大きいと思う。
2学級。クラス替え可、教員同士の伝えあい。
子ども達が競い合う場も必要。
競争、協力し合える関係になる。
1クラスでは競争心が出ないので2クラスはあると良い。
同学年同士の切磋琢磨が欲しい。クラスが一丸となるという教育場面も欲しい。
子どもの育て方が難しい昨今ですので、少人数でじっくり見守れる環境が好ましい。
目が届くようにゆったり人数でみてもらえると良いと思う。
少人数でどの子にも目が行き届けるようにしていただきたいと思った。
競争したり協力したり学びあったり出来るのではないかなと思う。
競い合うことも必要。
1学級では逃げ道がなくなってしまう。
運動会など学校行事が良いものになる。
クラス内で問題があった場合、クラス替えのある方が良い。
クラス替えがあることで人間関係も変わって学ぶ事もある。逃げ場が欲しいと思う。
ある程度の人数がいるのは理想ですが子どもがいない現実では止む得ないが校数を極端に減らすことに不安を感じた。
60代
運動会、合唱コンクール、球技大会等、各クラスで協力しながら、上位を目指す機会が大切。
同じ環境で子供たちを学ばせたい。複式等の学校やクラス数の差で学ぶ事が変化し、差ができていないのではないかな。
クラス替えができる。
いろんな意味で競争ができる。
学級数そのものが特に問題ではない。
人数が少なければ仕方がない。その環境をどう生かすかは、その子一人ひとりにとって違う。何が幸せかは分からない。
複数/複式は望ましくない。
担任同士で相談できる。1年担任は大変だから。
1学級は1学級の良さがあるので1学級でもよいが、いろいろな人がいることを知るのには教職員数も増えるので複数がいいと思う。
学級の特色が分かる。学級同士の伸びが生まれる。でも2学級程度でよい。
児童はたくさんいた方がよい。
クラス替えが出来ていい。
1学年の1クラスを少なくして余裕を持って授業していただきたい。
友達関係を変える、担任が変わる等、変化できる。
1学年1学級でも子どもの数が少なければ仕方ありませんが単純に多い方が活氣的だし協力すれば何でもできる。
人数が多い方が子ども同士の友だちが出来やすい。
同学年で複数の学校があることにより別のクラスで相違点があり、すなわち個性が芽生える。
1学級複数学級は理想ですが。
1学年1学級ならば1学年が10人でも成立する。しかし、これでは学校とは言えない。塾である。
自分は5クラスあって楽しかった。
望ましいから。でも、こだわらない。(1学級でも良い)
学年1名の担任に問題点はあると思う。集団と個の意義、複数学級あることのメリット。
集団での学習が望ましいと考えるから複式学級は解消すべき。
行事をするには最低2学級は必要。
人間関係が多様になる。いろんな考え方をする児童が多くなる。クラス替えができる。
可能なら3～4学級が良いと思う。1～2回クラス替えが出来ると良い。
やはり競争がなければだめだと思います。

各学級の特徴が出ると思うし、団結という気持ちも湧くと思う。また競争心も出ると思う。
大きな学校の方がより教育力がある。
他学校との競争心を育むことが出来る。
仲間が多い方が良い。
競うと言う視点から2学級以上が良いと思う。
1学年の人数はある程度多い方が学校行事（運動会等）に活気がある。
1学級では他学級がないことにより教育的指導など偏りが出ても分からず進んでしまう。
70代
競争、切磋琢磨しながら、教育してもらいたい又、育てほしい。
いじめ等の問題が発生した場合に他のクラスへの転入が可能となる根本的な問題解決も進めると共に対処も必要。
一定の人数で一定の学級数であることで子供の選択肢が増える。
少数人数での勉強が良い。学級が多い方がよい。4クラスぐらいか。
可能な限り子どもは子どもの中で生活していくことが人生の面でも望ましい。
クラスの中には相性の悪い子がいるもの。これを避けるためのクラス替えができるように。
ある程度の競争心があっても良いと思う。
仲間意識や競争意識が生まれる環境が良いと思います。
クラス替えが必要な事案に対応できるから。
多人数の中で学ばせてあげたい。
学校行事をするにも子どもが多い方がいいと思う。友だちと遊ぶ、勉強するにも2学級はあった方が良い。
子どもが育つためには1学級の方がいいのでは。
競争心やスポーツなど複数結成が出来る。
1学年1学級では児童数が多くなると良くない。
小さいながらも競争意識があった方が良い。
学級数はそれほど問題にしなくてもよい。
80代以上
多くの友達と接する機会が必要ベターである。
先生にとっても子どもにとっても良いのでは。
無回答
違う園の子が集まる中、最初から多人数は好ましくない。
1クラスでつめてもゆっくり学ぶことが出来ないと思う。

○問3「2 1学年1学級でもよい」と回答した理由（集約結果）

問3で「1学年1学級でもよい」と回答した、その回答理由を以下の12項目に分類した。全体で理由として多いのは「1クラスの人数に配慮が必要である」であり、特に20代、40代、50代にその傾向が強い。

- 1 1クラスの人数に配慮が必要である（1クラスでも学び合える）
- 2 環境が良い（落ちつく、仲間意識が持てる、クラス替えなくてもよい）
- 3 複式学級は望ましくない
- 4 教育の質が良くなる（特色ある教育や平等な教育が可能、通学の負担が軽減）
- 5 人間関係が育成されれば良い（様々な友達や考えを学べる、現状でも十分）
- 6 これまでの経験を踏まえて
- 7 状況（地域）に応じた学級数で良い（少なくとも多すぎてもそれぞれの良さがある）
- 8 教育体制による（支援員増員等の体制次第、複数担任の配置等）
- 9 複数学級は必要ない（小規模校で良い）
- 10 地域との連携が必要（地域が衰退する）
- 11 学級数等の提案について
- 12 その他（分からない、仕方がない）



(上段：実数、下段：%)

	回答者数 (n)	問4 (問3-2の回答理由)											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
全体	296	84 28.4	65 22.0	54 18.2	36 12.2	35 11.8	34 11.5	33 11.1	18 6.1	8 2.7	8 2.7	7 2.4	9 3.0
年齢別	20代以下	13	4 30.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7	2 15.4	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30代	61	10 16.4	10 16.4	8 13.1	1 1.6	5 8.2	5 8.2	4 6.6	3 4.9	0 0.0	0 0.0	2 3.3
	40代	95	27 28.4	9 9.5	12 12.6	4 4.2	7 7.4	4 4.2	5 5.3	3 3.2	7 7.4	2 2.1	4 4.2
	50代	56	13 23.2	5 8.9	3 5.4	9 16.1	3 5.4	2 3.6	2 3.6	4 7.1	1 1.8	4 7.1	2 3.6
	60代	39	6 15.4	2 5.1	3 7.7	2 5.1	2 5.1	1 2.6	0 0.0	0 0.0	2 5.1	1 2.6	0 0.0
	70代	32	7 21.9	3 9.4	0 0.0	4 12.5	2 6.3	0 0.0	1 3.1	1 3.1	0 0.0	3 9.4	1 3.1
	80代以上	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無回答	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

◎各年代別の回答理由

20代以下
極端に人数が多いのもよくないと思いますが、現在の人数(30名程度)を維持した方がクラスメートも多く、友達作りができるのでよいと思います。
全体の人数によるが少ない人数なら1クラスでもよいと思う。
1学級20~30人いれば1学年1学級でもよい。
1学年20~30人いれば子ども同士の交流も図れる。
1学級でも十分学びあえる。
自分がそうだったが特に問題なかったから。
私自身が小規模学校で1学年1学級の時が1番楽しかったから。
30代
1人もしくは、支援員を入れればしっかり見れるから。
1学級でも他学年との交流がたくさんあれば良い。
人数に合わせた学級数
自分自身が小規模小学校(1学級)だったが、つながりが強いなどメリットを感じたから。
クラス替えがあることでも多様な児童との触れ合い、交流はできるが、人数減で1学級になったとしても、それは他校との交流で代替可能ではないかと考えるため、ICTが発達している昨今の状況も鑑みるに直接関係を築く以外にも交流は可能である。
学校で学ぶべき内容が増える中、複式学級でその学びの機会、時間が半減することは大きなハンディになると考えるため。
富田小がすばらしい環境だと思うから、1学級でも大丈夫だと感じている。
グループ活動等を考えると最低でも11~20名程度の1学級は必要だと思う。
1クラス20名くらいの人数で複数クラスあると良い。
子どもの1時間で勉強している内容が複式だとしっかり教えてもらえないのではないかと不安がある。
複式学級は避けたい。その時の学年で学ぶべき事があるから。
1学年の学級数より、学級児童数の方が重要だと考えます。なので1と2を選びました。
複式の学級で行っていますが、先生の目が行き届いていないように思います。(人数が少ないのに)
手厚い教育ができた方がよいから。
複式となると、授業の時間が割合として少なくなり、きびしい。
1人1人の子どもに目が届くので、1学級でもよいと思います。
複式は、子どもも教師もかわいそうです。複式の教授方法なんて教わりません。
指導が届きやすい？
外国では20人前後が教育の理解力が良いと言われています。学校を好きになったり学習にも前向きになるようなのでクラス数より、クラス中の人数を見て欲しい。教員数にお金をかけられるのであればそうしても良いと思う。
あまりにも少なすぎても多すぎても子どもの学習面でも生活面でも不安。
複数学級の良さはよく分からないが複式だと学年が違い、学習内容も変わってくるので1学年1学級がいい。
私自身が1学年1学級で20人だったので、それが私にはとても良かったから。担任の先生とも距離感が近かった思い出がある。

児童数に応じて。
複式学級は学力がつくのか心配。
クラス替えがないといい。
温かい環境の中で子どもを見ていただけるため。
6年間でクラスの友だちと仲を深めて欲しい。クラスの誰とでも仲良くなれば理想。クラス替えは無くても良い。(それによって不安になったりすることもあると思うので。)
小さい頃から集団行動に慣れることが大切だと考える。
1学級10~20人いるならば、いろんな子どもたちと過ごし、いろんな考えや関係にふれることが出来ると思う。
自分がそれで不自由を感じたことがない。クラス替えがなくても席替えで十分。
複式だと1人1人に目が向くのが不安。
私が2学級以上、30人規模の学校に通った経験と現在子どもが複式学級ですがどちらにもメリット、デメリットはあると思います。最低でも1学級くらいあるといいのかなと思いました。
自分が1学級だったから。
小学生は組織構築の練習でも良いと思う。
人数が少ないなら無理して2クラスにしなくても良いと思う。
小学校は少人数で見てあげて欲しい。
自分の経験上。
多すぎても目が行き届かないし、少なすぎるのも子どもがかわいそう。
少人数のクラスなら「細かく目が行き届く」「質問がしやすい」「学習能力や理解度を把握してもらえらる」
会に参加するまでは2クラスある方が互いを意識して切磋琢磨して学校生活が送れるから良いのではないかと考えていたが、出てからは1クラスでもしっかり学習できるし、意識して生活できるだろうと思ったので1学級でも良いと思う。
先生、友達との相性があると思います。(少なすぎると合わなかった場合、お互いに逃げ場がなく気になり続けるのでは) 団結するには集団が小さすぎるとは張り合いがないのでは。友だちから学ぶこと、多くあると思い、その機会が確保されて欲しいので。
40代
子供は子供から学ぶことが多い。だからと言って多ければ多い程良い訳はないし、先生が見れる範囲でなければ意味がない。
1学級でも2以上の学級数でもよい。
学級の定員は文部科学省、県教育委員会は20~35人(1クラス)と指示しており、尊重します。
複式学級では先生の負担が上がると思う。レベルも落ちるのではないかな?
一校が200人未満くらいが先生の目も行き届き、1人1人が大切にできるのではないかと考えます。クラス替えがなくても、ストレスのない学校では、ひどいじめはないと思います。先生、生徒が安心できる小学校が一番大切だと思います。人数の多い学校では保護者、地域も無関心になる。自分がしなくても誰かがするという考え。
規模によってはやむなし。ただし複式学級は無理がある。
先生の目がいきとどくから。生徒数が多くても十分な交流がとれなければいけないのと同じだから。
低学年の活動、縦割りの活動で支障ない事もある。近隣市町の小中学校と合同企画をすればよい。
複式は子どもにとっても先生にとっても十分ではないような気がする。学級数は分かりませんが25人程度が理想だと感じました。
丁寧に見ていただける。人間関係が深まる。
横(同学年)のつながりも大事だが、縦(上下級生)のつながりも大事にしてほしい。
あまり多いのは不安がある。
たくさんいても覚えられないが少なすぎると活動に制限がでてしまうから。
少子化なので1学級でいいと思う。
複式はいろいろ問題がありますが複数にこだわる必要はないように思うから。
自分がそうだった。
複式学級の時には授業に集中していない時があるように見られたので1学年1学級程度が望ましいと思います。小学生のうち。
1学級20人前後いればクラスが複数なくても良いと思う。学校生活の上で問題はないと思う。(自身の経験より)
現状で十分に教育を受けているように感じる。
複数でも問題ないですがというレベルです。
親、教員、地域の人々の目が行き届く人数だと思うから。
今の子どもが置かれている状況は1学級ですが仲が良く、問題があるとは思っていません。
先生の目が届く。
地域が先にあるので人数だけで考えるのが妥当か分からない。特別たくさんクラスが必要とは思わない。
少ない人数で勉強ができる。

目の届くととても良い規模だと思うから。
自分が快適であったから。
今の現状がとてもよいから。
複式は望ましくないが必ずしも複数クラスはなくてもよい。
複式学級でなければいいと思います。
小学校は小規模学校でも良いと思う。1学年で1クラス20～30名までなら良い。
1クラスが20人いるならば1学級でもよい。
多すぎるのはあまりよくないと思う。
基本的な生活習慣、集団（社会）で生活するきまりをきちんとつけさせてほしいから。
1学級に16～28名くらいが、きめ細かに見られるから。1学級でもよい。2学級あればなおよい。クラス替えもできるから。1学級が多すぎるのはよくない。
多くて3学級まで。
2学級以上でもよいが3より多くない方がよい。
落ち着いて学ぶのに1クラスの学校、また、子どもも教職員も2クラス以上の学校両方あってよいと思う。
子ども同士が高め合える環境があれば十分。
クラス替え等の事務仕事がない。
何らかの教育効果は生み出せると思う。（2学級以上なくても。ただし、複式は可能なら解消していくとよい。）
人口が減っていく中で我々大人が経験したことのない時代に突入していく。正直に言って何が良いか分からない。
1学年1学級以上あれば人数的に20人程度で丁度良い。
1人1人をよく見てもらうことが出来ると思うから。クラス替えがない方が良いので。
自分が1クラスだったので不満はありません。
子どもの人数を考えてのクラス編成で1クラスが多すぎなければ良いと思う。
特に理由はありませんが、その時（年）に応じた学級数で良いと思います。
なかなか少子化で難しいと思う。
複式でなければ。
ある程度的人数がいるのであれば複数学級が望ましいが人数が少ないのであれば1学級でも良い。
学級数も大事だが多様な学びは学校内だけでは無理だと思うから。
小学校はゆったりと授業も受けたり、友だちと関わり、先生との信頼関係を築いていって欲しい。
人数の関係で仕方ないこともあると思う。
複式学級だけ抵抗があります。
小学校は少人数の集団でも小学生の時期に培う活動が出来ると思うので少人数で良いと思う。
複式学級は良くないと思う。境目がないのはメリハリがつかないと思う。
少人数が良い。
同じ年の子と勉強など共にした方がよい。
地域とのつながり、自分の身の回りの環境から学ぶのが小学校の時期だと思います。そこを重視すると、おのずと1学年1学級もあって当然だと思います。ただ少なすぎるのが逆効果になる場合もありますので複式は避けたいです。
ちょうど良い。
教員の目が届きやすい。
現在複式だが特に困ることはないです。それが学級数が増えてもあまり変わらないと思います。
教員の目の行き届いた教育整備。
子どもが3人とも富田小でお世話になった。健やかに育ちました。自分は1クラス40人程で1学年4学級の学校だったが他の生徒の名前はほとんど覚えていない。子ども達は全員名前を言えた。（別学年の生徒も）それだけでもすごいと思う。
児童生徒の個性を大切にクラス編成を望む。
50代
教科のレベルが合わせられ、指導等がし易くなる。
複式以外であればどのような数であってもよい。欲を言えば1学年1学級でも複数の教員の目でクラス運営、学年運営ができればもっと良いと思う。
複数学級がクラス替えができる事も望ましいと思うが、1学級だった妻が1クラスでよかったと言っているから。
1学級は1学級の、複数学級の良さが有ると思うので、その良さを生かせるとういと思う。
何よりも落ち着いた環境、目の行き届くことが大切

1 学級でも 20 人以上子供がいれば有意義な学びあいができる。
集団で活動するには 10~20 人前後がより効果的だと思うから。1 学級でもよい。
通学による負担は軽い方がよい。
世界の標準は 100 人以下をスタンダードにしているので。
地域、地区の考え方にもよる。
あまり関係ない。
現状 1 クラス 20 人程度であれば 1 学級で
少人数でも競争できるといいと思う。
2 学級でクラス替えがあれば良いと思う。1 学級でも十分である。
先生が生徒 1 人 1 人を見れると思う。
子どもたちの仲間意識が持てていいと思う。
少人数を好む子どももいると思うのでニーズに応えられるような学校があってもよいと思う。
1 学級の人数が 20 人以上であれば、深い学びに向けての授業展開ができると考えるから。
担任による。経験のある教員なら 1 学級でもいい。経験があまりない新採用教員ならば学ぶという意味で複数で担任した方がいい。
複式はない方がいい。通学時間は小さい子にとってどうか考えるべき。
小学生は地域で育てる。20 人以上にならないように編成する。
地域に小学校は必要。
1 学級でもいいし、2 学級でもよいと思う。2 学級あることで、子どもたちの活動の幅が広がることもできる。
1 学年 1 学級で子どもの学力を十分つけることができる。
きめ細やかな教育に取り組みやすい。
1 学級の適正人数が保証されるのなら、1 学級でも問題はない。
しっかりみる、複数担任でみる。
学級は 1 つでもいいので学校をなくさないでほしい。
1・2 どちらでも OK 特色あるクラスができると思うからです。
子どもが少なくなれば仕方がないと思うが、複式学級は出来れば避けてほしいかなと思う。
小学校はきめ細やかに指導していただくことも大切だと思うから。
学級よりも 1 学級の児童数を重視。
2 学級以上が必要と思うのはクラス替えの必要性であり、1 年生ではそれ程必要と思わないが人数の問題もあり、状況に応じた対応としてはと思う。
少人数でも個性を生かせば伸ばしていい人間に育つと思ったから。
私も小さい学校で育ったのでこれくらいがいいと思います。
1 学級でもなんの問題もない。
60 代
私自身が小学生時代 6 年間 1 クラス、担任の先生は 2 年ごとに変わったので。クラスの子からいじわるもされましたが、行きかえり歩きながら、夕日や田や風にいやされながら毎日楽しく小学校へ通いました。
少ないほど目が届くことが多く利益がある。
小さい年齢の間は少人数でゆとりを持って育てていただきたい。
少子化の影響から最低限必要と考えた。
地域の人と協同で子どもを育てるという教育理念を考えれば、大きい学校、効率優先で考えていくべきでない。
集団での学習が望ましいと考えるから複式学級は解消すべき。
子どもたちとの接する時間を多くする。
現状 30 名以下。
人口減少、少子化現象で仕方ないかと思う。
別に子どもたちは 1 つの教室に入るのだから 1 学級でも良いと思う。
児童数が少ない地区についてはやむをえない。少人数の児童だと先生の目が届いて、よく教育を受けられる。先生の負担も少ない。
複式学級だと一方が学習で、一方が自習といった形になりますので、この件に関しては望ましくないと思います。
複数学級にするために統合する必要があるとは思えない。
70 代

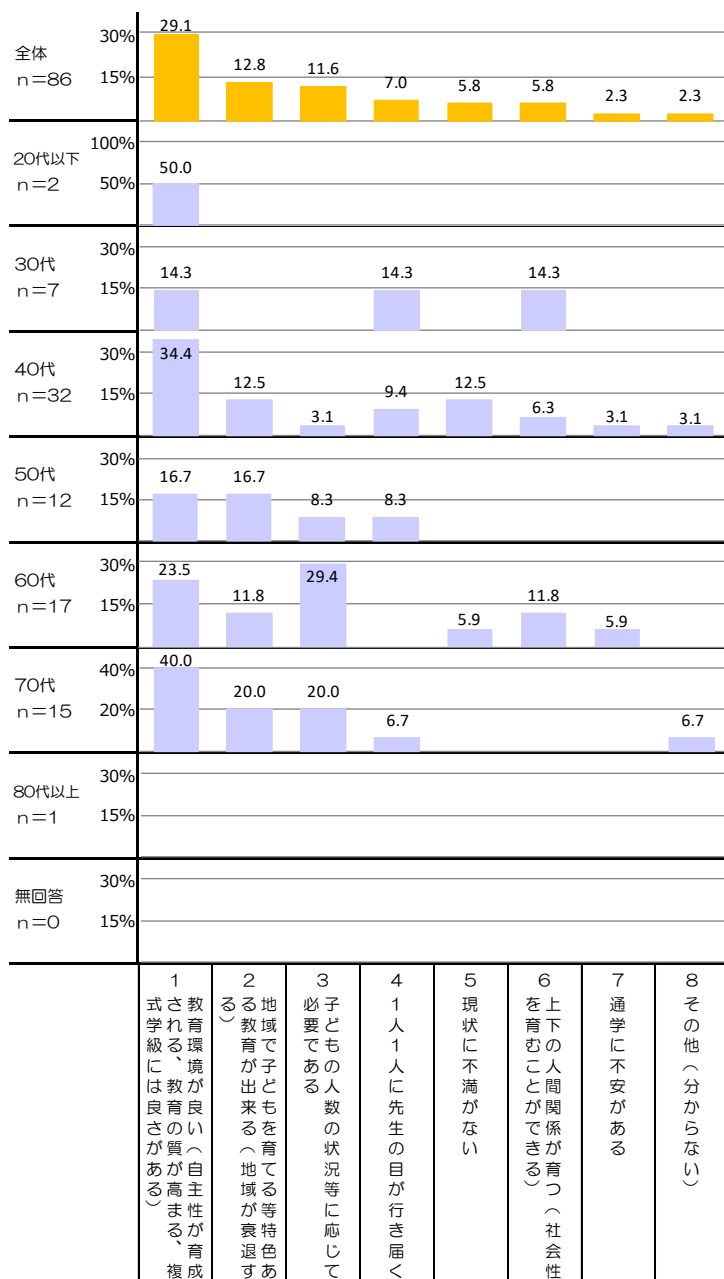
基礎基本の学力、よりよい人間関係の育成がしっかりと育成されることが大切と考えるため。
最も重要なことは「生徒数」ではなく、いかなる環境にあっても学ぼうという意欲である。
小学校と地域とは密に接することが大切、たとえ1学級となっても学校を地域から無くさないことが必要である。
家庭のあり方と同じではないか。
多人数だと先生の目が届かない。
組分けは無くても仲間のきずなが強まり、本人が落ち着いて学習できると思う。
学校教育の本来の目的は人づくり。人間形成の礎を身に付け、育むのが基盤というか最も大切で、切磋琢磨、比較する学級の中でどうかという問題よりも絶対的な人格形成の必要な部分の成長だと思うから。
小学校は地域の中心であり、学校が少なくなると地域の核がなくなる。
少人数での指導も大切。
それぞれの特色ある学校があっても良い。
1学年1学級以上と考えます。
全員に目が行き届くから。
複数学級が望ましいが人数が少ないから仕方がない。
上庄小は残して欲しい。
学級数は地域の結果である。
定数の固定化より教育環境や内容などの変化で子どもの幸せを。
特色ある学校、山村留学、小規模特認校とか。
少人数教育が大事。
主体的な学習が出来る。
なるべく少人数で教員と近い関係が良い。
少子化で児童が少ない。通学の弁を考えると2校は少なすぎ、もう少し校数を増やせればと思う。
学級数はそれほど問題にしないでよい。
特色ある教育が出来ればよい。
キメ細かい教育ができるのでは。競争力は（生徒間の）低下すると思うが、人間的なやさしさとか連帯感は生まれる。

○問3「3 複式学級（2つ以上の学年を1つに編成した学級）があってもよい」と回答した理由
（集約結果）

問3で「複式学級があってもよい」と回答した、その回答理由を以下の8項目に分類した。全体で理由として多いのは「教育環境が良い」であり、特に20代、40代、70代にその傾向が強い。60代では「子どもの人数の状況等に応じて必要である」の理由が多い。

- 1 教育環境が良い（自主性が育成される、教育の質が高まる、複式学級には良さがある）
- 2 地域で子どもを育てる等特色ある教育が出来る（地域が衰退する）
- 3 子ども的人数の状況等に応じて必要である
- 4 1人1人に先生が目が行き届く
- 5 現状に不満がない
- 6 上下の人間関係が育つ（社会性を育むことができる）
- 7 通学に不安がある
- 8 その他（分からない）

（上段：実数、下段：％）



	回答者数 (n)	問4（問3-3の回答理由）							
		1	2	3	4	5	6	7	8
全体	86	25	11	10	6	5	5	2	2
		29.1	12.8	11.6	7.0	5.8	5.8	2.3	2.3
年齢別	20代以下	2	1	0	0	0	0	0	0
			50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	7	1	0	0	1	0	1	0
			14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0
	40代	32	11	4	1	3	4	2	1
			34.4	12.5	3.1	9.4	12.5	6.3	3.1
	50代	12	2	2	1	1	0	0	0
			16.7	16.7	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0
60代	17	4	2	5	0	1	2	1	
		23.5	11.8	29.4	0.0	5.9	11.8	5.9	
70代	15	6	3	3	1	0	0	1	
		40.0	20.0	20.0	6.7	0.0	0.0	6.7	
80代以上	1	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

◎各年代別の回答理由

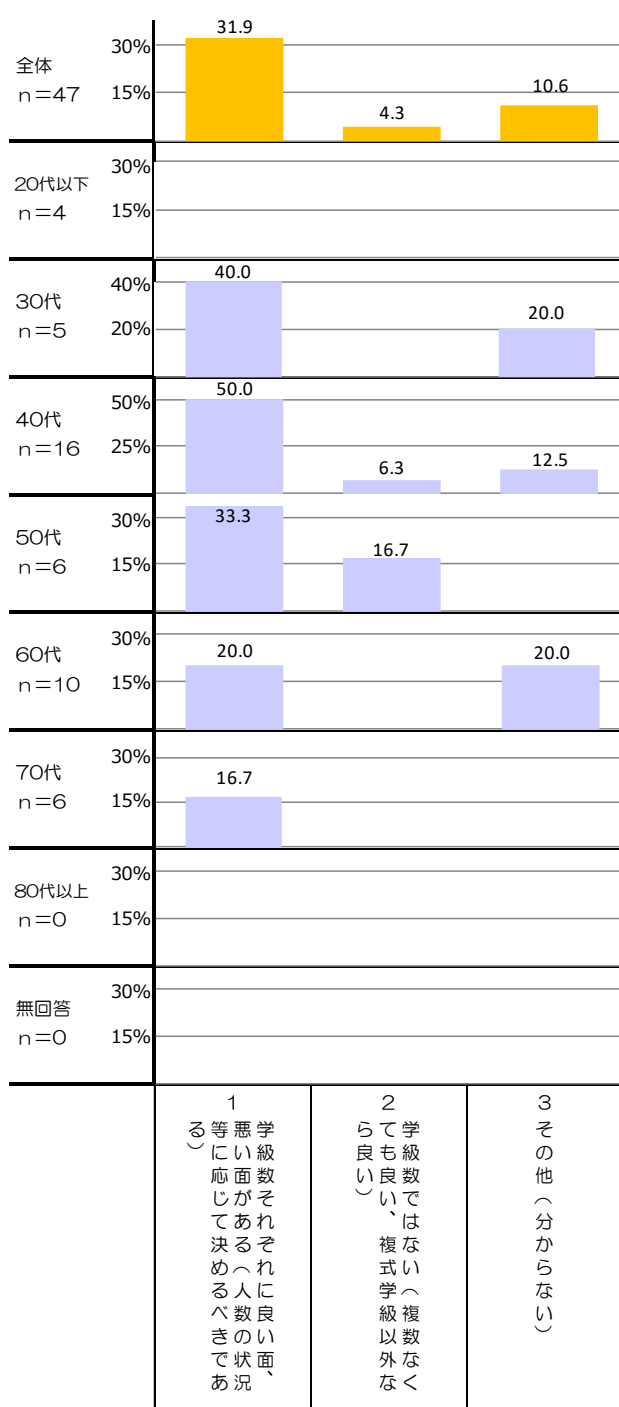
20代以下
異年齢の交流が刺激になるから。少人数の場合、少なすぎるのも寂しいため。
30代
複式学級があるとお互いのいい刺激になったり学び合うことが多いと思うため。
異年齢の子どもがお互いに協力して学習できることもあるので。
外国では20人前後が教育の理解力が良いと言われています。学校を好きになったり学習にも前向きになるようなのでクラス数より、クラス中の人数を見て欲しい。教員数にお金をかけられるのであればそうしても良いと思う。
40代
特に学力が劣ることはない。いっその自主学習の認識が強くなる。
理想は「1」であるが、大野市の現状を考えた時現実的には「3」。
小学校は、通学距離が長くないことを優先すべきと考えるため。
きめ細かな教育が期待できる為。
横の広がりだけではなく縦(年齢別)のつながりも大切なことだと思うから。年齢に応じた付き合い方、対応についても、いっしょに考え学ぶ機会の提供は社会性を育むうえでもとても重要なことだと思います。
小学校がなくなるとその地区の人口がますます減るから複式学級でも残ってほしい。
私の同級生は教員ですが複式の方が子ども同士の学びの中で考える力が育つとあえて複式の教員を希望しました。1学級でもよい、複式があってもよいという考え方は大野らしさを育てる教育とは逆行していると思います。大きいこと、多いことが善なら福井市やさらに都会の方がよいに決まっている。地域の良さを吸収できる規模にしてほしい。
乾側小の教育に充分満足しているので。
上級生が下級生を見るなど教える立場に立つ経験も良いのではないかな。
1人1人に先生の目が行き届くから。
第1部の説明をうかがっても、再編の必要性に結び付くのは、経費に関する部分だけでした。「未来の社会を生きる子供たち」、「新学習指導要領が目指すもの」、「大野市の学校教育」について説明を受けても、「規模に関係なくできることではないか」、または、「小規模校の方が取り組みやすいのではないか」と感じました。また、教育先進国のフィンランドでは学校全体で児童数100人未満が多く、複式学級も多いと聞いています。場合によっては、高学年は複式学級でも良いのではないかと思います。(現実には下の子どもほど少なくなるのでしょけれど)経費・財源以外の面で、規模のメリットを感じません。(定数以上に教員を配置することも財源面で困難な状況でしょけれど)
1人1人の児童生徒に目が行き届く10人程度のクラスが良い。
今の現状に不満はありません。
現状で満足しているため児童・先生の工夫次第で何でも改善できると思うため。
人口が減っていく中で我々大人が経験したことのない時代に突入していく。正直に言って何が良いかわからない。
少子高齢化が進む中で兄弟、姉妹のいない子どもが増えてくる。自身の経験の中で社会性を身につける子ども時代の生活の中で兄弟、姉妹がいるのといないのでは社会に出てからの行動に違いがあると感じたから。
複式でも教育上問題ないと思う。それより住んでいる所の近くで通うことが出来ることの方が大事だと思う。
少人数でも教室1人ではないから。
育つもの、教えあうもの、得るものは大きい。
複式学級で困ったことが全くないから。多分、大人数で得られる経験よりも役立つ経験をしているから。
学力については劣ることがない。小学生についてはクッションがちょうど良い。
複数学級が必ずしも良いとは限らない。少人数や複式にも良い事があると思う。各々一長一短。
現在複式だが特に困ることはないです。それが学級数が増えてもあまり変わらないと思います。
全て同じ規模にするのは無理だと思います。
児童生徒の個性を大切にクラス編成を望む。
50代
小規模校の良さも乾側小学校の保護者の方からお聞きしております。地域密着の再編計画を望みます。
地域に育てられる、自分で通える近い学校が第1である小規模校のメリットも大きい。
学級が複数あれば、担任どうし連携して質を高めることができる。しかし、複式学級にはそのよさも多くある。
これから子ども達が少なくなっていく中、たとえ学年が違う子がクラスにいてもある程度の人数は1つの空間にいた方が良いと思うから。
学校の規模による。
60代
違う学年の生徒達が互いに助け合って学習している姿を見ているから。
児童数の減少により、1学年1学級では、運営上無理が生じてくる。
学校(学級数・人数)のあり方だけが問題ではない。
現在、和泉小中学校にあっては複式学級であり、それでも児童生徒は何不自由なく学校生活を楽しんでいると思うから。

人数が少ないときは複式が良いと思う。
現在の小学生は幼児期に育つ環境が異なり、小集団での人間関係、同世代の関係の中で育っている。
地域、通学距離等の事情によって違うので一概には言えない。
地域の人と協同で子どもを育てるという教育理念を考えれば、大きい学校、効率優先で考えていくべきでない。
自分自身も複式学級だったが、都合？が悪いと思ったことがないが、上の学年 下の学年の人には、ちょっとイヤがられた感はある。ただそのおかげで上の人 下の人とも仲よくなれてよかったと思っている。
地域に沿った学級が望ましいため。
子どもたちの人数、先生の人数など考えるとそれもあって良いと思います。
70代
・自主性、自立性の育成 ・相互援助 ・まわりへの気くばり
少人数教育がベスト
義務教育の任務は9年間で教育の基礎を身に付ける事。民主主義の主人公が育つ大切な時期。
小規模校でも良い。
地区の子どもたちが少ないので複式学級にして学校を残したい。
出来れば1学年1学級が良いとは思いますが、やむを得ない場合もあるのでいいかなと思います。
特色ある学校、山村留学、小規模特認校とか。
少人数教育が大事。
生徒の減少等でやむを得ない場合。
和泉小のような小規模校は既に複式としている。
学級数が多いメリットと学年1学級、複式学級のデメリットを考えた時、どう考えるかは人間の生き方の問題、そこに経済性は不要。
主体的な学習が出来る。
なるべく少人数で教員と近い関係が良い。
特色ある教育が出来ればいい。

○問3「4 分からない」と回答した理由（集約結果）

問3で「分からない」と回答した、その回答理由を以下の3項目に分類した。全体で理由として多いのは「学級数それぞれに良い面、悪い面がある」であり、特に30代～70代にその傾向が強い。

- 1 学級数それぞれに良い面、悪い面がある（人数の状況等に応じて決めるべきである）
- 2 学級数ではない（複数なくても良い、複式学級以外なら良い）
- 3 その他（分からない）



(上段：実数、下段：%)

	回答者数 (n)	問4（問3-4の回答理由）			
		1	2	3	
全体	47	15	2	5	
		31.9	4.3	10.6	
年齢別	20代以下	4	0	0	0
			0.0	0.0	0.0
	30代	5	2	0	1
			40.0	0.0	20.0
	40代	16	8	1	2
			50.0	6.3	12.5
	50代	6	2	1	0
			33.3	16.7	0.0
	60代	10	2	0	2
		20.0	0.0	20.0	
70代	6	1	0	0	
		16.7	0.0	0.0	
80代以上	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	
無回答	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	

1 等悪学 (る)にい級 応面数 じてがそ れであ る人れ へにに べきの 状況 であ る	2 らも学 (る)良級 い、数 複は 式不 学 級 以 外 な く	3 そ の 他 (分 か ら な い)
--	--	---

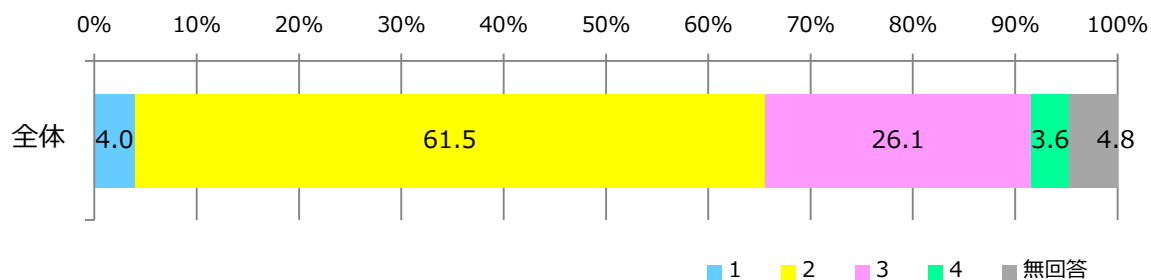
◎各年代別の回答理由

30代
どれにも良い面、そうでない面がある。
どちらにもメリット、デメリットはあると思うので。
1学年1学級でも良いと思っていたが教員の力量に差がある事への不安。複数学級だと同じ学年の担任同士で相談できたりすると聞き、分からなくなりました。
40代
母数(子供の数)は決まっているので、適切な学級数、一クラスあたりの児童・生徒数等を決めたり考えたりするのではなく、子供たちの生活環境の中において、最も適切な学びの環境を真剣に議論する中で、学級数等が見えてくるものと考えます。それが見出せた段階で、その時に選択し得る選択肢の中から最良のパターンを考えるものと思います。学校数、エリアのみに限らず、今日の話にもあったように多様な教育環境を求め、フレキシブルな議論をお願いします。
正解なんてないから。
どの学級数にもそれぞれ良さがあると思うから。
それぞれメリット、デメリットがある。
それぞれの地区によるものだと思います。
どの学級もメリット、デメリットがあるかと。
人口が減っていく中で我々大人が経験したことのない時代に突入していく。正直に言って何が良いか分からない。
メリット、デメリットがあると思うがそれが分からない。
複式以外ならどちらでも良い。
1学年1学級や複式学級は経験がないので比較のしようがない。それぞれの良さ悪しがある中で答えようがない。
それぞれメリット、デメリットがあり、どちらが良いか分かりません。
50代
学級数というより1学級の人数ではないのかなと思います。
単学級から1学年3学級までの規模の学校を経験させて頂いたが、いずれもよい面があるから。
子どもはどんな環境でも対応、順応できると思う。
60代
具体的なことですので今の時点では分かりません。
人数によって変わる。
現在1クラス何人か分からないから。
生徒数によって変わると思う。学級数によって学校が無くなったり増えたりするのはおかしい。
70代
望ましいと言われても答えられないが学級数や学級人数はその学校に通う学級数、学級人数が望ましいものとなる。学級数や学級人数が第一の基本条件ではないのどと考える。人の住む地域を第一に整えていく。

問5 小学校の1学級の児童数は、どのくらいが望ましいと考えますか。【単一回答】

- 1 31人以上
- 2 21～30人
- 3 11～20人
- 4 10人以下

全体では1学級の児童数を「21～30人」が望ましいと61.5%が考えている。年代別では20代以下から60代までにおいて6割以上が「21～30人」を望ましいと考えている。「11～20人」が望ましいとの考えは、どの年代もほぼ同じ割合となっている。



(上段：実数、下段：%)

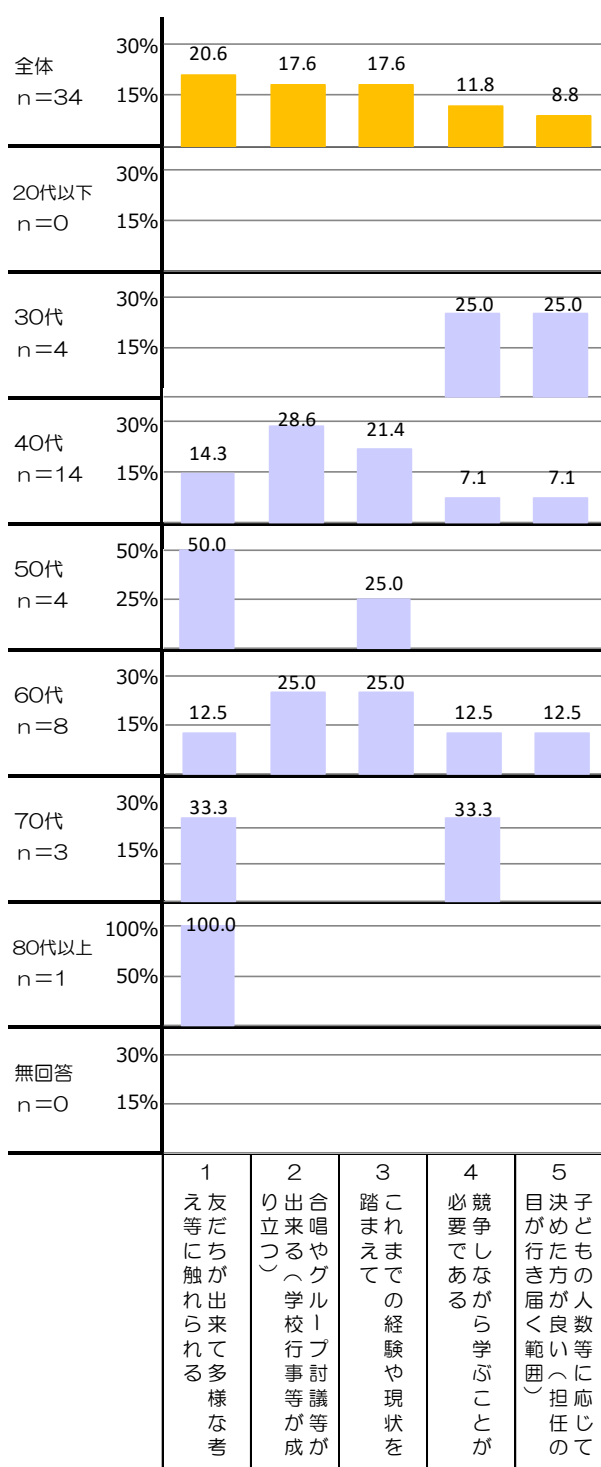
	回答者数 (n)	問5回答					
		1	2	3	4	無回答	
全体	858	34	528	224	31	41	
	100.0	4.0	61.5	26.1	3.6	4.8	
年齢別	20代以下	48	0	34	12	2	0
		100.0	0.0	70.8	25.0	4.2	0.0
	30代	141	4	92	39	3	3
		100.0	2.8	65.2	27.7	2.1	2.1
	40代	282	14	174	69	12	13
		100.0	5.0	61.7	24.5	4.3	4.6
	50代	175	4	113	46	5	7
		100.0	2.3	64.6	26.3	2.9	4.0
	60代	126	8	77	33	3	5
		100.0	6.3	61.1	26.2	2.4	4.0
70代	78	3	35	22	6	12	
	100.0	3.8	44.9	28.2	7.7	15.4	
80代以上	5	1	2	1	0	1	
	100.0	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0	
無回答	3	0	1	2	0	0	
	100.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	

問6 問5で回答された理由について【記述回答】

○問5「1 3人以上」と回答した理由（集約結果）

問5で「31人以上」と回答した、その回答理由を以下の5項目に分類した。全体で理由として多いのは「友だちが出来て多様な考え等に触れられる」であり、特に50代と70代、80代以上にその傾向が強い。40代では「合唱やグループ討議等が出来る」の理由が多い。

- 1 友だちが出来て多様な考え等に触れられる
- 2 合唱やグループ討議等が出来る（学校行事等が成り立つ）
- 3 これまでの経験や現状を踏まえて
- 4 競争しながら学ぶことが必要である
- 5 子どもの人数等に応じて決めた方がよい（担任の目が行き届く範囲）



(上段：実数、下段：%)

		回答者数 (n)	問6 (問5-1の回答理由)				
			1	2	3	4	5
全 体		34	7 20.6	6 17.6	6 17.6	4 11.8	3 8.8
年 齢 別	20代以下	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30代	4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0
	40代	14	2 14.3	4 28.6	3 21.4	1 7.1	1 7.1
	50代	4	2 50.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
	60代	8	1 12.5	2 25.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5
	70代	3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0
	80代以上	1	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無回答	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

- | | | | | |
|---------------------|----------------------------|-----------------|------------------|----------------------------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 友だちが出来て多様な考え等に触れられる | 合唱やグループ討議等が出来る(学校行事等が成り立つ) | これまでの経験や現状を踏まえて | 競争しながら学ぶことが必要である | 子どもが行き届く範囲(担任の目が届く範囲)に応じて決めた方がよい |

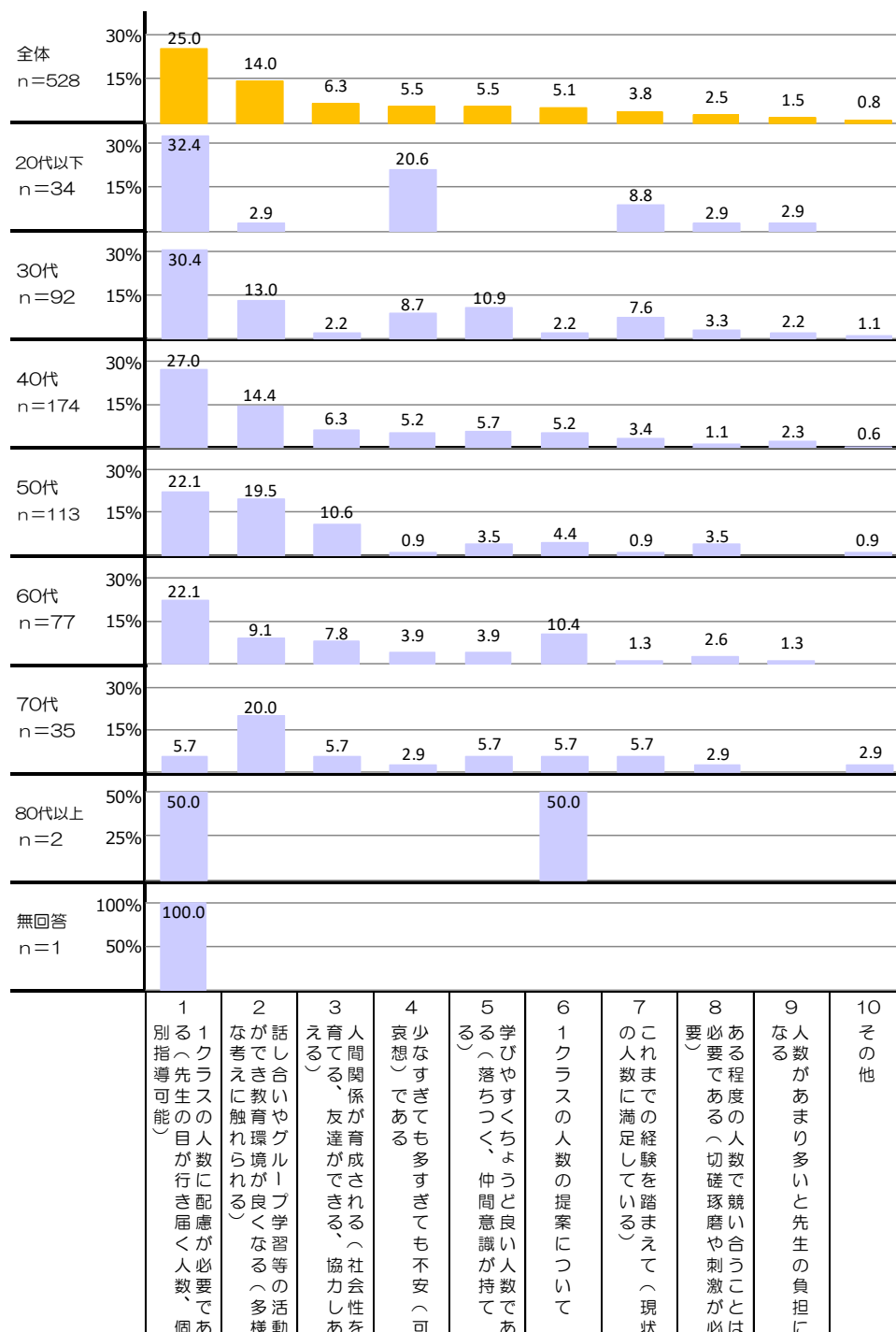
◎各年代別の回答理由

30代
多いと先生の目が届かないのではと思う。
大勢の中で競争しながら学んだ方が子どもの成長につながると思うから。
40代
自分の時は40人くらいだったので、30人以下は少ない気がする。昔と違って発達障害の子も少なくないようだが、支援員の方もいるので、なるべくたくさん人間がいた方が良いと思う。
少なくとも1クラスで体育の授業や合唱くらいはできるように。
なんとなくです。目立つには少し頑張りが必要かなと。
ある程度の人数がいないと行事が成り立たないし、子どもたちの中にも様々な考え方や意見があるということを理解するため。
昔、自分がそうだったので、それ以外想像できない。
それぞれメリット、デメリットがある。
授業可能な規模でのMAXが良い。
多人数の中で揉まれる事も人格形成に大切と思うのでクラス内の人数がある程度増えるように再編してほしいです。
長男の授業を見て。
集団で学ぶ人数は低学年と高学年で違うと思います。低学年は21～30人、高学年は31人以上。
友だちができる、いろいろな話が出るから。
学年で人数を変えれば良いのでは。低学年は少人数ですとか。2、3人で1クラスの担任をするなど。
50代
多様な考え方を交換しながら成長していくため、なるべく多い人数がよい。
私自身の経験から、40人近い学級が小学校で5クラス、中学校で6クラスあり社会性が身についた。
問4の回答と同様、多くの人数の中でもまれ、人と触れ合いながら育つことで、厳しい社会やグローバルな時代への対応ができると思われまます。
60代
グループ討議、合唱、合奏等、グループ毎に協力し合うことが重要。
理想の人数で、現実的には厳しいと考えますが、可能な限り多くの児童クラス編成が望ましい。
多くの中でもまれる方が良い。
50人近くいて楽しかった。
仲間が多い方が良い。
自分の子ども時代を振り返ってです。10人でも20人でも体制が許せば構わないと思う。
70代
可能な限り子どもは子どもの中で生活していくことが人生の面でも望ましい。
競争意識が必要。
80代以上
人数が少ないと友から学ぶ機会、場が少なくなる

○問5「21～30人」と回答した理由（集約結果）

問5で「21～30人」と回答した、その回答理由を以下の10項目に分類した。全体で理由として多いのは「1クラスの人数に配慮が必要である」であり、特に70代を除くすべての年代にその傾向が強い。70代では「話し合いやグループ学習等の活動ができ教育環境が良くなる」の理由が多い。

- 1 1クラスの人数に配慮が必要である（先生の目が行き届く人数、個別指導可能）
- 2 話し合いやグループ学習等の活動ができ教育環境が良くなる（多様な考えに触れられる）
- 3 人間関係が育成される（社会性を育てる、友達ができる、協力しあえる）
- 4 少なすぎても多すぎても不安（可哀想）である
- 5 学びやすくちょうど良い人数である（落ちつく、仲間意識が持てる）
- 6 1クラスの人数の提案について
- 7 これまでの経験を踏まえて（現状の人数に満足している）
- 8 ある程度の人数で競い合うことは必要である（切磋琢磨や刺激が必要である）
- 9 人数があまり多いと先生の負担になる
- 10 その他



(上段：実数、下段：%)

	回答者数 (n)	問6 (問5-2の回答理由)									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全体	528	132 25.0	74 14.0	33 6.3	29 5.5	29 5.5	27 5.1	20 3.8	13 2.5	8 1.5	4 0.8
年齢別	20代以下	34 32.4	1 2.9	0 0.0	7 20.6	0 0.0	0 0.0	3 8.8	1 2.9	1 2.9	0 0.0
	30代	92 30.4	12 13.0	2 2.2	8 8.7	10 10.9	2 2.2	7 7.6	3 3.3	2 2.2	1 1.1
	40代	174 27.0	25 14.4	11 6.3	9 5.2	10 5.7	9 5.2	6 3.4	2 1.1	4 2.3	1 0.6
	50代	113 22.1	22 19.5	12 10.6	1 0.9	4 3.5	5 4.4	1 0.9	4 3.5	0 0.0	1 0.9
	60代	77 22.1	7 9.1	6 7.8	3 3.9	3 3.9	8 10.4	1 1.3	2 2.6	1 1.3	0 0.0
	70代	35 5.7	7 20.0	2 5.7	1 2.9	2 5.7	2 5.7	2 5.7	1 2.9	0 0.0	1 2.9
	80代以上	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無回答	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

◎各年代別の回答理由

20代以下
実際、私がおその環境の中で充実した学校生活を送ることができていたため、多すぎても少なすぎてもかわいそうだと思います。
担任の負担軽減。一人一人に合った個別指導を作る時間のため。
多すぎず、少なすぎず。
個別対応が行える限界だと思うから。
意見に広がりがあるから (授業での)。
30人以上では、担任1人では細やかな指導が難しいと思うから。
グループ学習を設定しやすい。目が行き届く上限は30人では？
担任が1人1人の児童をしっかり見ることが出来る。子供同士の関わりも程よく密にできる。子供の学びやすい環境。
1人の教員が子供全体を見渡すのに適切な人数だと思ったから。
多様な考えが生まれる。30人以上だと多すぎてサポートもうすくなってしまう。
少なすぎても活動が寂しくなり多すぎると1人1人に目配りがおろそかになりそうだから。
少なすぎると何も出来ないと思うが多すぎてもまとまらないと思う。
多すぎると悩みが相談できないから。
多すぎず少なすぎず。
多くもなく少なくもない人数で。
あまり多いと先生の目が届かなくなる。
自分たちのクラスがこの人数でちょうど良かった。
少ないのも多いのも子どもの間で友だち関係に不安を感じるから。
自分がその人数で過ごしたから。
1クラスで人数が多いと先生の目が行き届かなかったり大変な面も多いと思う。複数クラスで1クラス少人数の方が先生と親しみやすかったり、クラス対抗が出来たりメリットが多いと思う。プラス多すぎず、少なすぎずの人数だと思う。
多すぎても少なすぎても良くないと思う。
30代
現在の子供の1クラスの人数だから。
人数が多すぎると教員の負担増にもつながり、発達障害をかかえる児童が増えている状況も考慮すると、丁度良い人数とは何かという議論が必要である。(人数が少なすぎるとグループ学習やアクティブラーニングに支障が出る恐れがある)
低学年、高学年でバラつきがあっても良い事、学校に配置される職員数によりますが、できる範囲で細かく見守っていただける人数が望ましい為
周囲とコミュニケーション、関わる力がこれから先必要とされる中で、多様な選択肢を提供・経験する必要があると考えるから。
多いと授業についていけない子供が増えると思います。少ないと体育の授業で、例えばサッカーが出来なくなるなどあるので、21~30人がいいと思います。
担任の先生が目配りできる人数が望ましいから
再編後小規模校でも20人以上のクラスであれば複数の学級がなくてもある程度多様性があるクラスになると考えるため。
そのぐらいがちょうど良いのではないかと思います。
一番ちょうどいい人数。目が行き届く人数。少なすぎてもよくない。

先生がちゃんと1人1人を見てもらえる人数がそのくらいまでかと思うから。
現状満足です。
先生も目の行き届く範囲かと思うから。
担任の目配りがきいて、かつ、学級活動をする上で良い人数と思うから。複数のグループ分けが出来るから。
自分が思うちょうどいい人数。自分の体験を含む。
先生と生徒の距離感が近く、より良い関係が生まれる。
多過ぎは先生方の目が届かなくなる。また少なすぎは子どもたちが団体行動をしなくなったり、学級内での競争や1人1人の社会性がなくなってしまうのでほどよい人数で。
団体スポーツや運動会はある程度的人数がいないと成立しにくい。(大人数の緊張感も必要)
4人班を4つ以上。でも30までいると見られない。
多すぎず、少なすぎず、教員も目を行き届けやすいから。
目が行き届く人数。また学び合える人数。体育の授業で単学級で成り立つ人数。
グループが作れて多様な意見が出し合えそう。
ちょうどいい(活気など)。
グループ活動をするにしても、20人~30人くらいが適当だと思います。きめ細やかな指導ということを考えても、多すぎない人数がいいと思います。
子どもたちをまとめられる先生の能力もあると思う。自主性も社会に出て大切だと思う。協調性だけ重視しても駄目だと思う。
少なすぎず先生方も目が届く人数かなと思います。
少なすぎず多すぎずの人数が良いと思う。
多すぎず少なすぎずで担任の先生も把握しやすいのでは。
多すぎず少なすぎず。
自分の世代の頃よりやや少なく。
人間関係を育成していくため豊かな心を育成していくため、ある程度的人数で競い合うことも大切だと思います。
40人程までは許容されているが30人程度の方が先生の目が行き届くのではないかな。
クラスの中である程度の競い合いがあると良いと感じるため。
目や手が届く距離の関係を保てると思う。
先生の目が届く。
個の持つものにもよりますが30人以上だと落ちつきがなくなるイメージがあります。担任の先生の力量も含めて決めて欲しいです。
多すぎず、少なすぎず、1~2名で見守れる数だと思うので。
大人数になると先生の目が届かないのでは。
あまり少ないと活動の幅もせまいのではと思いますし、多いと1人1人に目を向けてもらえないのではと思うから。
先生の目が届く人数だと思ったから。
自分の時がそのくらいでちょうど良かった気がするから。
1学級10~20人いるならば、いろんな子どもたちと過ごし、いろんな考えや関係にふれることが出来ると思う。
先生が1人1人見られるように。
実際の我が子のクラス環境がのびのびと担任の目が子どもみんなに届いていると感じたから。
先生が1人1人を把握でき、かつ、いろんな子との関わりを考えるとこのくらい的人数がちょうどよさそう。
多いと先生の目が届かないのではと思う。
園では個人1人1人のことをしっかり見て下さっているので目が行き届くようにして欲しいです。
先生が1人1人に目が届く程度的人数かなと思うので。
多すぎると1人1人に目が届きにくいのが不安。
1年生で30人以上いると多く感じる。ザワザワする。
多すぎず、少なすぎず。
個人的に20人くらいの子どものいると色々な考えがあるなあとか、いろんな人がいるなあと感じるような気がしています。
小学校は少人数で見上げて欲しい。
少なすぎると雰囲気寂しく感じる。
多すぎず、少なすぎない方が良い。
自分の経験で先生に見てもらえているという感覚を持てたため。
少人数のクラスなら「細かく目が行き届く」「質問がしやすい」「学習能力や理解度を把握してもらえる」
特に1年生の間は多人数だと落ち着きが無く大変だと思うから。
目の行き届く人数として30人位がちょうどいいのでは。

20人以下は少ないと思うから。
多すぎると1人1人に目が届きにくくなる。
11～20人では少なすぎると思います。20～25人が良いと思います。担任+必要に応じ1～3人ほどのサポート教員が配置されるといいと思います。
40代
グループワークができる。
25人前後が望ましいと思っている。ある程度の価値観の違いが生まれるのに少なすぎず、また先生が見れる範囲はこのくらい的人数では?
現在の子供たちに身につけさせたいことを学ぶ場としてふさわしい人数だと考えるから。
20名を下回ると男女のバランスも障りがあり、学校単位で補いきれなくなる。
男女別で各10名以上の児童数が好ましいと思う。少人数では男女比が偏ることがある。
自分もその位的人数で学校生活を過ごしてきてその人数が適正だと思う。
国(文部科学省)、県教育委員会の指示を尊重してほしい。
多すぎると、生徒1人1人への目配りがしづらと思う。少なすぎると向上心が低下するのではないかな?
20人では男子10人女子10人になってしまい、少々心もとない気がするから。
ペア活動、グループ活動⇄全体学習を深めていくためには、ある程度的人数が必要。また、合唱やスポーツなども、2,3グループ(パート)に分けられるだけ的人数がほしい。
先生方がしっかり子供たちを見れる人数ではないかな。
自らの経験から。
多すぎず少なすぎず。
子供達の状態が様々であり、一人の先生だけでは目が行き届かないと思う。指導者(支援員も含め)が2～3人いれば1でもよい。また少人数でも(教職員が多ければ)他校と関われる機会が多くあれば、人間関係力は育成できると思います。
規模によっては2の人数以下でもやむなし。
協働できる。
現代学校において先生が統制のとれる数の限界だと思うため。
学力定着のため。
多い方が合う子を見つけやすいかも。
先生の目が届く。
グループ活動で最適である。
多すぎるよりも少ない方が子どもが発言する経験が多くとれるので授業への集中力が良いと思う。現高校生を見ていると少人数で育った生徒が勉強面では活躍している。
教師の目が行き届かないため。
先生の目が届きやすい。
子ども1人1人を見てほしい。
団体行動するにはベストな人数だと思います。
多すぎない方が自己発揮しやすい。
20人前後がいいのかな?多すぎず少なすぎない人数ではないかなと思う。
自分が教師なら31人以上は気付かないところがたくさん出てくると思うから。学校全体で100人程度が活動しててもいいなと富田小学校で子どもがお世話になったので強く感じた。
先生の目が届く人数かなと。
1クラスあたりの人数がゆとりあるようになる方がいい。
あまり多いと教員の負担増かなと思うので。
先生が見られる範囲でちょうどいいと思う。
1人1人を見て欲しい。
先生が全ての生徒に目を向けられる。
少なくとも1クラスで体育の授業や合唱くらいはできるように。
先生の負担。
31人を超えると先生の目も行き届かないように思う。10人以下になると体育、音楽等の授業が難しいと思う。
多様な生徒と関わってほしい。
先生の目が届く人数が望ましいから。生徒のことを聞いて分からないでは困るので。
先生の目が行き届く範囲が良いと思います。31人以上は厳しいかなと。
先生の目が届きやすいと思う。
大人数でも少人数でも良い所があるので何人が良いとは言えないのでは。

先生の負担がかかりすぎないように。
話し合ったり、グループなどで多様な意見を出したりするには、ある程度の人数が必要。
先生がみんなに目が行くと思う。
目が行き届くと思います。
先生にもよく見ていただけるし、友達同士、協力し合える環境ではないかと思います。
3人以上だと担任の負担が大きと思うから。(男女比も関係すると思う。)
ある程度的人数は友人関係、競争心の醸成のため必要と思うが30人を超えるとまとまりがなくなるように思う。(特に低学年)
多すぎず、少なすぎず、いいと思います。
昔、自分がそうだったので、それ以外想像できない。
それぞれメリット、デメリットがある。
先生が受け持てるであろう、なるべく多い人数。
先生の目がきめ細かく届くぐらいの人数が望ましいと思います。
行き届いた心の通う教育が出来る。クラス全員が発表できる人数が21～30名だと考える。
海外並みの編制で目が行きやすく多様な意見を出しやすい人数。
大野市の児童数 $1200 \div 4 = 300$ $300 \div 6 = 50$ 1学年50人、1学級25人、最高です。中学校は2校、4クラス どうですか。異動はどうお考えですか。大野市の教員の半数は、福井市へ行くのですか(勝山も再編です) 子どものいる学校へは行けません。
きめ細かに見られるから。
集団活動を行うのに適切だと思う。
多様な個別な支援を必要とする児童が増えている中で30人以上は多い。
実際、いろんなクラスを見ていて思う。(目が行き届く、一人一人の個性を大切にできる)
学び合いができる。多様な意見が出る。
多様性について学べるから。
5人×5～6グループでグループ活動しやすい。
話し合い活動がしやすい人数、教員の目が行き届く人数だと思います。
20人前後。班活動…1班3～4人×6班 班活動はしたいです。
様々な体験、経験ができる。
様々な考え方に触れる機会。多すぎず、少なすぎず。
・多様な意見を交流し合うには20人以上は必要。でも30人を超えると、意見を活発に発言する子の陰にかくれて何も言わない子が出てくる。 ・児童一人一人をきめ細かく見ることができる。
グループ活動ができる、授業で色々な意見が出て、活発な議論が期待できそうだから。
意見が言い合える適当な人数と思う。
ゆったり見てもらえるから。
30人以上は多いかなと思います。1人1人に目が行き届きにくい。
自分の経験から。
長男の授業を見て。
多すぎても目が行き届きにくいし、少ないと張り合いがない。
先生の目が行き届く人数がいい。
少数で先生と1対1で勉強できる環境だと思う。
子どもの人数も減少してきているので、それくらいが良いかと思う。
1人の先生が見られる人数の限界かと。
あんまり少なすぎてもグループなど人間関係が決まってしまうがちになりそう。
1人1人にしっかり目が行くから。また集団での活動も十分できるから。
ギリギリ、先生が目の行き届く人数だと思います。
30人以上だと先生の目が行きにくい。20人以下だと同性の友だちが10人以下になり少なく感じます。
集団で学ぶ人数は低学年と高学年で違うと思います。低学年は21～30人、高学年は31人以上。
少ない人数では子ども社会形成が不十分であると考えるが、多すぎると派閥が生まれ、いじめの原因ともなりかねないと思うから。
ある程度、人数がないと友だちを見つけにくい。
小学校はゆったりと授業も受けたり、友だちと関わり、先生との信頼関係を築いていって欲しい。
あまり多すぎると目が行かない気がします。
多すぎず、少なすぎず、先生の目も1人1人に届くように。
30人以上の人数になると先生の目が行き届くか心配です。子どもが1年生ですが小学生になり、少人数から大人数になり「先生が怒る」とか聞くことがあります。先生に余裕がないのがよく分かるので。

先生の目が行き届く人数で。
少人数で先生の目が行き渡り苦手な子が置いて行かれないようにして欲しい。障害がある子も一緒に入れるような雰囲気。
昔、「30人学級」と聞いたから。
今のこども園のクラスと同じぐらいの人数が望ましいから。
少なすぎると物事がしにくい。
少人数制の方が目が行き届くので良いと思う。
先生の目が行き届く範囲でもあり、グループワークも出来る。
教室の大きさにそれ以上は狭い。補助の先生がいたとしてもこれ以上は無理だと思います。
1人の担任の先生では30人くらいが良いのではないかと。複数担任にできるならもう少し多くても。
男女各10人前後は必要。
ちょうど良い。
少なくとも20人の集団での学び、教育が必要。
学年で人数を変えれば良いのでは。低学年は少人数でするか。2、3人で1クラスの担任をするなど。
福井県の少人数学級の推進。
目配りが可能となる。
男女各10名程度は必要だと思うから。
子ども達がクラス活動、授業を受ける等を想像したときにこのくらいが良いのではないかとするため。
教員が目配りできる人数にすべき。
50代
担任の先生方の目が行き届く人数がよい。少なすぎると学級の運営ができないと考えられる。
少しでも大人数の中で競い合い、分かち合える集団生活は、社会人になってから生かされる。
1人の担任がきめ細かく指導できるから。
勉強にとっては少なければ少ないほど良いと思うが気の合う友人を作るという点では20人程はいた方がいいと思う。
先生が1人で指導がいきわたる範囲だと思う。
自らの経験から。
特に低学年の時は、18～25人くらいまででいていいに見てもらえるといいと思う。もっと少なくとも、大人数ではできない経験、役割ができるよさがある。
大人数だと先生が1人1人見守ってもらえるのか。
20人いれば4人グループで5班の活動ができる。
教科の学習を進める際に適切な人数だと考える。
市内の保育園、こども園の年長児数と大体同じくらいが良いのではないかと思います
ある程度全員がなじめる人数かと思う。
少なすぎず多すぎない数が良いと思うから。
クラスの人数としてそれくらいが適当だと思う。
24人、男女同数がベストです。いろんなグループバリエーションが可能だからです。
多様な考え方を持った人との関わりを学ぶ事ができる。クラス替えも、新たな人間関係を生むことが出来る。
30人を超えると教員の目が届きにくい。20人を下回ると多様な意見交流ができにくいから。
一定の規模があり、先生の目が届くから。
根拠はないが人間関係構築のためにはそのくらいが必要だと思う。
勉強するうえで1人ごとに見てもらえると思う。
先生が生徒1人1人を見られると思う。
競争心が養われると考えるため。大人数の方が友人も多くなり楽しめるから。
子どもたち1人1人に先生の目が届く人数だと思う。
話し合い、鍛えあいという意味で適切だと考えます。
学び合いができる。
話し合い活動、グループ学習など色々な多様な活動ができ、学習が深まる。友人関係もちょうどよい。
1学級の人数が20人以上であれば、深い学びに向けての授業展開ができると考えるから。
子どもたちの学び合いと多様な考えに触れるため。
少々少なくとも、個別指導できる。
30人以上では個々に対応するのが難しい。

30人を超えると多い。大野の良さは、少人数で目の行き届く教育だと思うので18～24人くらいが丁度いい。これより少ないと学び合いが難しい。
集団のルールが学べるように。
クラス替えができて人間関係に変化をつけられることは大切。
学力をつけるため、きめ細やかな指導のため。
行き届いた集団教育。
体育や音楽など集団で学習する授業もあるし、他の教科でも多様な意見を聞くことができる。
20人程度が望ましい。数人ごとのグループがいくつかできると、アクティブラーニングも可能。
一人一人に基礎学力をつけていくには最低30人までとを感じる。
一番教育効果が高いと思われる。
磨き合える人数だと思われる。
各教科で例示されている実技を指導していく上で最適な人数だから。学級運営や保護者対応していく上で最適な人数だから。
私の考えるベストは24人です。これはいろんなグループ化ができるからです。(3人、2人、4人、6人) 体育でサッカーができる。
グループ活動などをするには、最低限に必要な人数だと思うから
1クラス内で話し合えるために、20人はいるといいなと思います。特に1年生は20人くらい、6年生は30人くらいでもいいかなと思いました。
集団ならではと。
多様な人間関係をつくれる。
一人一人に目が届く人数であると思うから。
個別対応が必要なお子さんが増えているように思います。30人以上だとかなり難しいのではないかなと思うから。
良好な人間関係を作ったり、社会性を育てたり、協働的に学び合える環境等を考えるとある程度人数が必要。だが、学力の向上、生徒指導面を考えると30人以上になると難しい。25人程度が適当だと思う。
1人1人の子どもを見て欲しい。
多すぎると子ども1人1人に目が届かないと思う。
競争、協力、切磋琢磨し合うちょうど良い人数。
人数は少なめで、ゆったりとした中で1人1人見ていただきたい。
学級として成り立つ人数が欲しい。先生が落ちこぼれを作らず、きめ細かい指導が行き届く人数にして欲しい。
子どもの育て方が難しい昨今ですので、少人数でじっくり見守れる環境が好ましい。
低学年と高学年では違うと思う。
子どもに目が届く人数かと思います。また色々な活動も楽しむには丁度いい人数かとも思います。
教職員の目が届きやすく、また生徒同士まとまりやすいのではないかなと思う。
十分に目が届く人数だと思うので。
少人数でどの子にも目が行き届けるようにしていただきたいと思った。
競争したり協力したり学びあったり出来るのではないかなと思う。
21～25人程が集団として活動しやすいと思う。人数的にも個々と関わり易い。
男女比で考えると、この位(21～30人)と思う。
いろんな子がいる。
先生が全員に目が行き届く人数が良いと思う。人数が何人より先生、学校の教育のスキルによるものだと思う。
いろんな考えが出てきて学校が面白くなると思う。
ある程度の人数がいるのは理想ですが子どもがいない現実では止むを得ないが校数を極端に減らすことに不安を感じた。
60代
適当な人数とは、グループ活動が出来たり、係活動・当番などが出来たりして良い。
グループができる。
多くもなく少なくもなく一覽内の平均?
望ましいかどうかはその構成人数をどう生かすかによる。人数だけの問題ではない。
30人以下の人数なら何人でも。でも中学校は1クラス30人以上が良いと思います。何人でも小学校時代こそ心豊かにする時期だと思うので、担任とも中学校に比べて、子供たちという時間は長いので、十分対応できますが多いのは時間、体力面と無理がかかる。
1学年30人以下の方が先生の目が届くと思うから。
25人くらいまでだと全員に目配りしていけると思う。
あまり少ないと個人が目立ちすぎてつらい。いろんな友達ができることがよい。
人数に合わせて1学級で出来ると良いと思う。
目が届き安心できる。

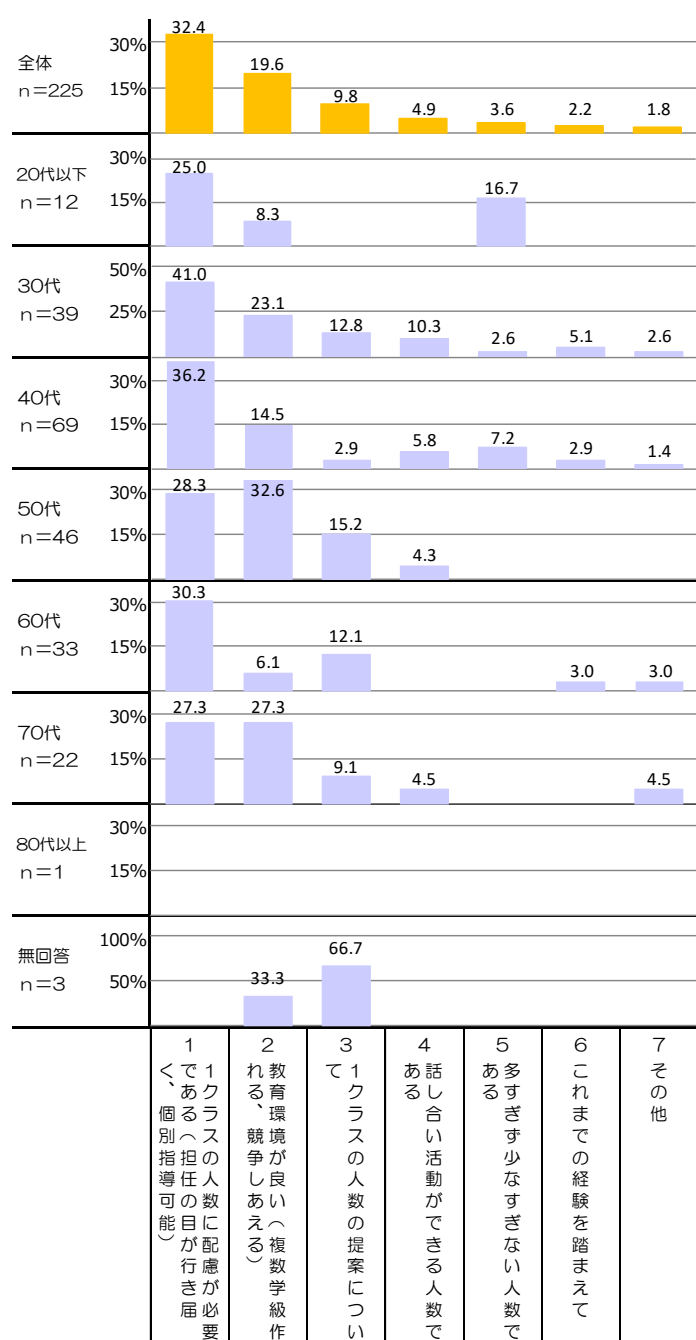
少なすぎず多すぎず21～30人が丁度良い。
多くの人数の集団での子どもの活動も必要かと思います。
個々への対応ができ、集団も作れる。
20人前後、20人位が集団としていい関係づくりができる。
目が行き届く。
教員1人で30人くらいまでが把握限度。
21～30人は理想です。
小学校の教育内容を考えてみて、21～30人位かと。
グループ討議の人数とグループ数を考えた。
学びやすい人数。
人は人に育てられる。人間とは人と人との間で人となる。
教師の目が行き届く人数として、集団としての人数として、21～30人が適切でないか。
少なすぎても社会性を育成するには困難。多すぎるとは1人1人に教師の目が届きにくくなる。小学校は20～25人くらい。
子どもの数が多いと先生の目が届かない。
私も32名で1学級だった。
先生の指導の出来る人数がどの位が良いか分からないが20人位がいいかなと思います。
グループ学習が1班(4～5人)で5～6班編成できる。多人数の中で揉まれるのが良い。
多すぎず少なすぎから。(社会性を養う。教師の目が届く)
児童数が少ない地区についてはやむをえない。少人数の児童だと先生の目が届いて、よく教育を受けられる。先生の負担も少ない。
1クラス30人ぐらいい環境においてもいい形に、学習においても学びやすいのではと思います。
スポーツ又は行事等で都合が良いのでは。意見がいろいろ出てくるのでは。
目配りできる。団体で行動できる。必ず21～30人とは思わない。
あまり多すぎると児童1人1人に先生の目が届かないのではないかなと思う。
人格育てようとの事である。(心の中の不安定要素取り除く)
21～30人が望ましいと思います。
少ないと協力性等またライバル心が薄れるから。
小学生の間くらいは担当教師が目が行き届くのは21～30人の人数だと細かいところを見れると思います。
先生と子どもの関係に適していると思う。
大野らしくのびのびと自信のある子を育てて欲しい。
多数よりある程度少数が良いと思う。
多い人数だと先生が1人1人見られないのではないかな。
70代
より幅広い人格や個性に接しながら学びを進めることができる。
仲間作り、話せる子供、楽しく通学できる友達作るのには良いと思います。
一クラスの中に幾分集団的要素も必要かなと思う。
グループ活動、班別編成がし易い。
30人学級が定着している。
特に理由はないが、多すぎるのはちょっと難しいというか、21～30人がほぼ適切かなと思うが、学校によってはその数に至らない場合もあるので、人数が第一とは考えていない。
目が届く範囲の人数と思う。また、競争心も生まれると考える。
私たちの代では50人近くだったので先生も大変だったと思う。
集団活動が取り入れられる人数。
いろんな理由から担任が指導しにくい子どもが増えてきているから。
20人以上が良いと思う。
30人以上は無理。
担任がいろいろとするには30人以下が望ましい。目が届く。
子どもの成長がすごいと思う。
人数はあまり多くない方がいいのでは。私たちの時は多すぎて大変だった。
以前は40人程度だったが20～30人が良い指導が出来る。
学びやすい。

少数精鋭（多すぎず、少なすぎず）が良いかと。
望ましい集団という意味。たとえ10人以下でも児童が生き生き学習生活できるなら良い。
80代以上
先生の立場から良いのでは。
30人くらいが良いと思います。
無回答
先生の目が届くのは子どもたちの人数が少ない方がよいと思います。

○問5「3 11～20人」と回答した理由（集約結果）

問5で「11～20人」と回答した、その回答理由を以下の7項目に分類した。全体で理由として多いのは「1クラスの人数に配慮が必要である」であり、80代以上を除くすべての年代にその傾向が強い。50代では「教育環境が良い」の理由も多い。

- 1 1クラスの人数に配慮が必要である（先生の目が行き届く、個別指導可能）
- 2 教育環境が良い（複数学級作れる、競争しあえる）
- 3 1クラスの人数の提案について
- 4 話し合い活動ができる人数である
- 5 多すぎず少なすぎない人数である
- 6 これまでの経験を踏まえて
- 7 その他



（上段：実数、下段：％）

	回答者数 (n)	問6（問5-3の回答理由）						
		1	2	3	4	5	6	7
全体	225	73	44	22	11	8	5	4
		32.4	19.6	9.8	4.9	3.6	2.2	1.8
年齢別	20代以下	12	3	1	0	0	2	0
			25.0	8.3	0.0	0.0	16.7	0.0
	30代	39	16	9	5	4	1	2
			41.0	23.1	12.8	10.3	2.6	5.1
	40代	69	25	10	2	4	5	2
			36.2	14.5	2.9	5.8	7.2	2.9
	50代	46	13	15	7	2	0	0
			28.3	32.6	15.2	4.3	0.0	0.0
	60代	33	10	2	4	0	0	1
		30.3	6.1	12.1	0.0	0.0	3.0	
70代	22	6	6	2	1	0	0	
		27.3	27.3	9.1	4.5	0.0	0.0	
80代以上	1	0	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
無回答	3	0	1	2	0	0	0	
		0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	

◎各年代別の回答理由

20代以下
先生の目が届く範囲がいいと思う。
大人数だとはじめが心配になる。なるべくゆとりを持って教員が1対1で関わってくれるような環境にして欲しい。
少なすぎず多すぎずの人数そうだから。
無理なく全員に目が行き届くようにあってほしいから。
多すぎない方が勉強も分かりやすく1人1人しっかりと理解が出来る。
多すぎず少なすぎず先生方にも負担が掛からない程度の人数。
30代
きめ細やかな教育ができる。
グループ活動等を考えると最低でも11～20名程度の1学級は必要だと思う。
20人がベスト、1人1人に目が届く人数だと思う。
先生1人の目が届く範囲内かな。
10人以下は寂しいと思うが複式は嫌だ。ただ、分からない時で少人数だと放っておかれず理解しやすい。
自分が思うちょうどいい人数。自分の体験を含む。
クラス内で先生の目が行き届くと思う。教室内と広さとのバランスが良い。でも30人は多い。15から25人が良い。
現在15人のクラスに子どもがいます。クラス人数としては少ないと思ったのですが先生の目が細く行き届き満足しています。特に学校生活に慣れていく低学年に少人数のクラスはとても良いと思います。
1人1人に目が届きやすいように(個別の対応が手厚く)少人数が望ましい。
自分自身、少人数の学級だったため、20人、30人がよく分からない。(特に小学校)
目が届きやすい人数だと思う。
グループワーク可で、先生の目が届く。
手厚い教育ができた方がよいから。
学力の保障。
やはり少人数の方が児童一人ひとりをきめ細やかに見ることができる。30以上は多い。
子どもたちをまとめられる先生の能力もあると思う。自主性も社会に出て大切だと思う。協調性だけ重視しても駄目だと思う。
先生がまとめやすいから。
先生が子どもたちを見るのにちょうど良い。
班が何個出来る様。
大人数だと発言の機会が少ない気がします。
大人数よりも少人数で授業をして欲しい。一斉教育の時代ではないので友だちの意見を聞きやすい、自分の意見を言いやすい環境であって欲しい。
先生(担任)の目が全体に行き渡るかなと思う。
学習の基礎を学ぶ6年間は出来るだけ少人数で丁寧にみて欲しいからです。
多すぎず少なすぎずの数。
少人数すぎるとグループ活動や団体競技などができないため、可能な20名以下くらいがいいと思いました。
よく知った顔と知らない顔が1学年にあった方が社会性があるから。
少ない人数が理想です。
目が届くかなと思う。
少人数のクラスなら「細かく目が行き届く」「質問がしやすい」「学習能力や理解度を把握してもらえる」
競争したり協力したり学びあったり出来るのではないかなと思う。
20人ぐらいの方が自分の意見を言いやすいと思うから。
少人数の方が手厚くみて頂けると思うため。
11～20人では少なすぎると思います。20～25人が良いと思います。担任+必要に応じ1～3人ほどのサポート教員が配置されるといいと思います。
40代
十分に先生の目が届く。1人1役以上の担当にすることが出来る。
色々でよいと思う。統一できない。
先生の目が行き届くから
ある言語を教える講師をしています。受講生ひとりひとりの習熟度をしっかりと把握して、なおひとりひとりの受講生としっかりとかわりながら、学びを進めていくためには、個人的には20人が限界だと感じています。10人くらいの集団が、共に学び、育つ集団としては適しているように、個人的に経験に則して感じます。

多すぎるよりも少ない方が子どもが発言する経験が多くとれるので授業への集中力が良いと思う。現高校生を見ていても少人数で育った生徒が勉強面では活躍している、
目が行き届く限界の人数と思われるので。
20人前後がいいのかな？多すぎず少なすぎない人数ではないかと思う。
多すぎるとちゃんと見てもらえない。
多すぎると生徒1人1人に目が届かないと思う。20人以内くらいなら低学年の時から自分で発言する力がついていくのではないか。
仲間の意見を取り入れつつ自分も主張できる人数だと考えます。
なんとなく。
複式と単式の良さから言えば、人数ととしてはその辺りが適切だと感じる。
1人1人に先生の目が行き届くから。
大人数でも少人数でも良い所があるので何人が良いとは言えないのでは。
私個人は、2年間分校で学んだ後に、本校へ4年間通いました。本校では1クラス37名、1学年2学級がありました。「人数が多いといろんな意見が聞けるなあ」と思ったことはありませんでした。むしろ、異年齢の児童との交流の機会は圧倒的に減り、色んなことができ、面倒を見てくれる憧れの上級生は、むしろ近寄りたが、怖い存在になってしまいました。余程、社交的でもない限り、児童数が多くても気の合う数人と集うだけだと思います。児童数が多いと競争意識は高まるかもしれません。しかし、大人になって思えば、競争すべき相手は、常に昨日の自分であり、少しずつでも自分のペースで成長する意識を育むことが、いつまでも、どこでも伸びる人材育成に重要だと思います。自分のポジションを確認するなら、全国模試などを上手に使えないでしょうか。
目が行き届くと思うから。
それぞれメリット、デメリットがある。
人数が少ない方が手厚くみてもらえるから。
1人1人の児童生徒に目が行き届く10人程度のクラスが良い。
最低でも20人はいた方が1人1人の負担が掛からない。
多いと先生の目が届かないのでは。
グループワークができて、担任1人の目が届きやすい。
よく目がゆきとどくため。
小学校低学年はこれからもさらに手が必要となる児童が増えそうだから。大野っ子の現状の教室を今、見てほしい。どんな児童がいるのか、学習の様子はどうか。現状をまず把握していただいて、好み、楽しさではなく本当によりよく、行き届く教育について考えてほしい。
多すぎず少なすぎず先生が1人1人の子どもに目が行き届く人数だと思います。
多すぎるとまとまりがない。
じっくり向き合ってじっくり手をかけて子どもと先生の距離が近い方がよい。
少人数の方が目が行き届くのではないか。
人数が少ない方が手厚くみていただけるから。
たくさん的人数より少ない人数の方が先生の目も行き渡ると思うから。
たくさん生徒がいると勉強を教えてもらえない。
現在が少人数なので手厚くみて頂ける感じがする。人数が多くなると不安。
先生がよく目が届く人数というと11～20人かなと思う。
上の子のクラスが20人でちょうど良い具合だと思ったので。
子ども間でしつけ等に差があるように思う。多人数になると先生の目が行き届かない恐れがある。
1人の先生が現実的に見られるのは11～20人ぐらいだと思うから。
ゆったりとした中で学べると思う。
多いと良いこと、少なくても良いことはあるが多過ぎは好ましくないと思う。
最も話し合い活動が活発に出来ると言われる3～5人のグループが4～6つ出来るから。
目が届く、見てもらっているという安心感で授業が受けられると思う。
軍隊式の教育をする時代はもう終わりました。(詰め込み式)自ら学ぶ意欲の基礎を大切に育むためには少人数で個性を大切にすると良いと思います。
教員の目が届きやすい。
多すぎず少なすぎずがいい。子どもも積極的に学習に臨めるのではないか。
学年で人数を変えれば良いのでは。低学年は少人数でするか。2、3人で1クラスの担任をするなど。
先生の目が届くから。友だちとのコミュニケーションがとれる。
50代
少人数クラスにすることで、複数学級が作れると思うから。個人個人の事を見ていけると思う。
20人前後だと、先生によく見てもらえる。とにかく、ほめてあげて欲しいです。

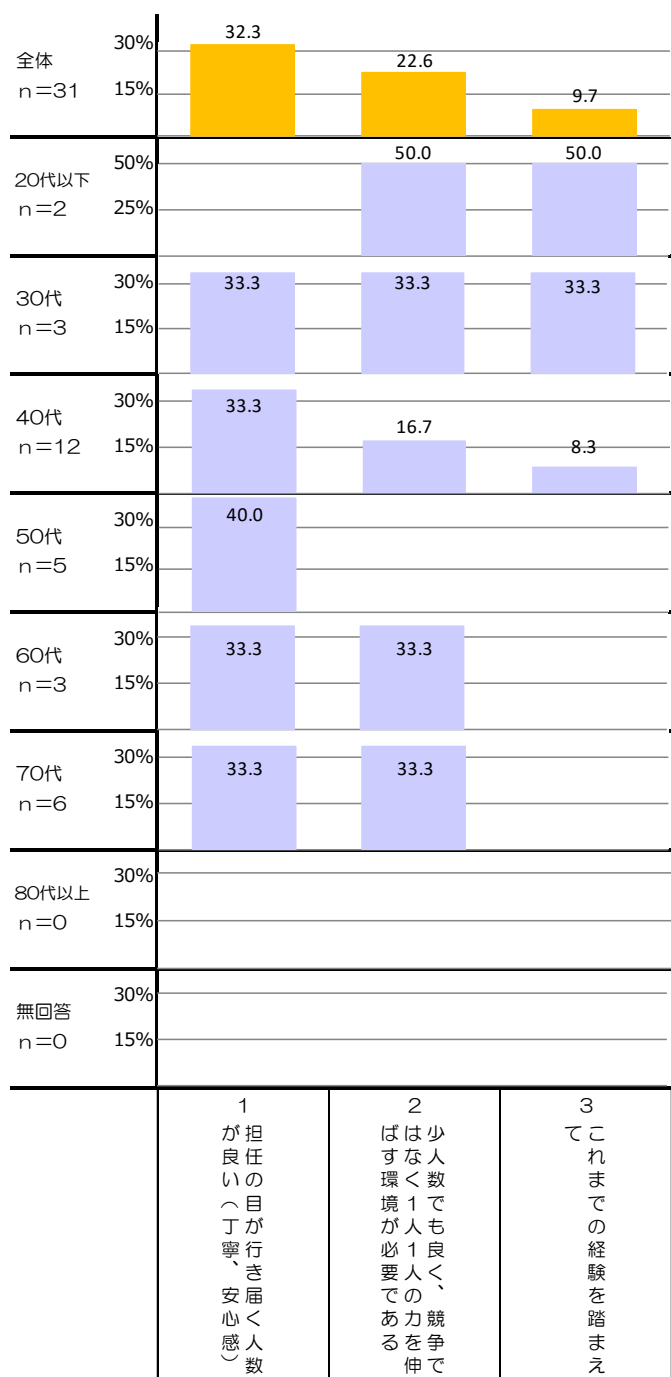
発達障害の子供マルトリートメントを受けてきた子がクラスに存在します。一人残らずに力をつけていくには20名前後がよかろうと感じます。30名前後ならば副担任をつけチームティーチングができるとよいと考えます。
今の学校では、教員の対応できる人数を超えている。少人数でじっくりと一人一人に関わる環境が大切
すべての児童に目が届く人数。
集団で活動するには10~20名前後がより効果的だと思うから。1学級でもよい。
少ない方がいいと思います
多様な問題に対応したり、いろいろな教育活動を進めるために、10人以上が確保されれば、かなりの活動ができる考えるため。
少ない方が手や目が届く。
21以上は、低学年は厳しいが、15~18以下は少なすぎて成り立ちにくい。
先生の目が行き届きやすい
話し合い活動や友達との人間関係を考えると20人くらいがよい。ただし学習面で支援員がついてほしい。
1学級20人、学年40人位が短学級でも合同1学級でも学びやすいと考える。
少々少なくても、個別指導できる。
30人を超えると多い。大野の良さは、少人数で目の行き届く教育だと思うので18~24人くらいが丁度いい。これより少ないと学び合いが難しい。
24人まで。これを超えると事務処理が大変。
多様な子に対応するために。
1学年1学級であっても20人程度いれば、十分、練り合いのある授業、教育活動が保障できる。
丁寧な教育ができる。
多様性を認め、特別な支援を必要とする子どもに対してきめ細かな教育を進めるためには学級編成の基準をさらに下げるべきである。
個に応じた教育がやりやすい。
話し合いや活動でいろいろな立場を経験でき、目が届きやすい人数だから。
グループ指導も個人指導もできる。
(基礎)学力や(基礎)的な社会性を身に付けるのに適正と考える。
低学年時は少数のクラスで先生の目が行き届いた方が望ましいと思う。
低学年と高学年では違うと思う。
今日も授業を見てきましたが20人以上ではまとめることが難しいと思います。特に低学年。
児童1人1人に目を行き届かせるためには20人が限度かと思う。
個性を生かすには少人数クラスの方が絶対いいと思いますので、どうか上庄小、中は残していただきたいと思います。
自分の子のクラスは5人でした。1つ上の学年と下の学年は10人位でその様子を見てみるとやはり10~20人位の方がいいと思います。
目が行き届く。
理想は20人くらいだと思うが10人以上1クラスにいれば、授業においてもいろいろな意見が出ると思う。また何かを取組むにしても友だちと助け合っていくにはある程度の人数が必要。
60代
教師が生徒を見られる人数。
小学校の場合は30人は少し多すぎるのではと思う。
担任の教師が一人ひとりの学力及び個性等を把握しきめ細かな指導が出来る。
効率が良いから。
基本は学力の保持。
自分が小さい頃から育ってきた環境を考えると20名前後が良いと思います。
15人対1人もしくは10人対1人が望ましい。チームワーク、コミュニケーションが作りやすい。
先生が目の届く人数。
少子化の影響から最低限必要と考えた。先生が目に行き届く人数として少数が良いと考えた。
少子化時代だから少人数による充実した教育環境を整えれば良い。
20人以上は小学生では先生が大変と思う。この頃は子どもの知能の程度がバラバラ。また子どもの生活態度も私たちの子どもの頃と比べて一律ではないので指導が難しいと思う。
低学年としての意見。
先生が子ども1人1人を確実にフォロー出来る人数だと思う。
20人で6学年ぐらいが望ましいのでは。
先生の目がみんなに行きとどくのではないかと思う。 孫が20人くらいの学級(東小学校)で2クラスで楽しそうだがいじわるな子がいるので学校へ行きたくないと言われるとかわいそうだと思ってしまう。
教育として目が届く範囲だと思うから。

人数が多いと全員に目が行き届かないと思う。
児童数が多いと教員の目が届きにくいのではないかと。
70代
理想は③ですがそれ以下でも結構。
少人数教育。
欲を言えばもっと少数でも子供は育つ。20人以下でも決して「まずい」とは言えない。まずは大野の現状でいかに子育てするかが大切。
教師の目、手が行き届く限度か
少人数で丁寧に教えていただきたい。
少人数の方が、教師の目も行き届き、友達関係もよくなると思う
1人1人の指導が多く出来る。
20～30人が望ましいが20人以下でも可。
少人数での指導の大切さを思う。
少人数の方が目が届きやすい。
小規模校もありと考えます。徐々に対応を進めていただきたい。
少人数教育が大事。
21～30人が理想であるが少人数でも十分な教育ができるのではないかと。
互いに刺激し合い、より多くの意見、体験を最善とするかは将来の子どもの生涯に不可欠ではないと思う。
なるべく少人数で教員と近い関係が良い。
担任の目の届く範囲での人数。よく指導が出来るのでは。
無回答
1人1人のいい所を見てもらい、伸ばしてもらうには少人数で始め、のちは高学年に増えてもいいと思う。
20人で6学年ぐらいが望ましいのでは。
少人数で学ぶことが良い。全員にゆっくり教えられると思う。

○問5「4 10人以下」と回答した理由（集約結果）

問5で「10人以下」と回答した、その回答理由を以下の3項目に分類した。全体で理由として多いのは「担任の目が行き届く人数が良い」であり、30代から70代においてその傾向が強い。

- 1 担任の目が行き届く人数が良い（丁寧、安心感）
- 2 少人数でも良く、競争ではなく1人1人の力を伸ばす環境が必要である
- 3 これまでの経験を踏まえて



(上段：実数、下段：%)

	回答者数 (n)	問6 (問5-4の回答理由)		
		1	2	3
全体	31	10 32.3	7 22.6	2 6.5
年齢別	20代以下	2 0.0	1 50.0	1 50.0
	30代	3 33.3	1 33.3	1 33.3
	40代	12 33.3	2 16.7	1 8.3
	50代	5 40.0	0 0.0	0 0.0
	60代	3 33.3	1 33.3	1 33.3
	70代	6 33.3	2 33.3	2 33.3
	80代以上	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0

◎各年代別の回答理由

20代以下

少人数だと皆、仲良しでした。

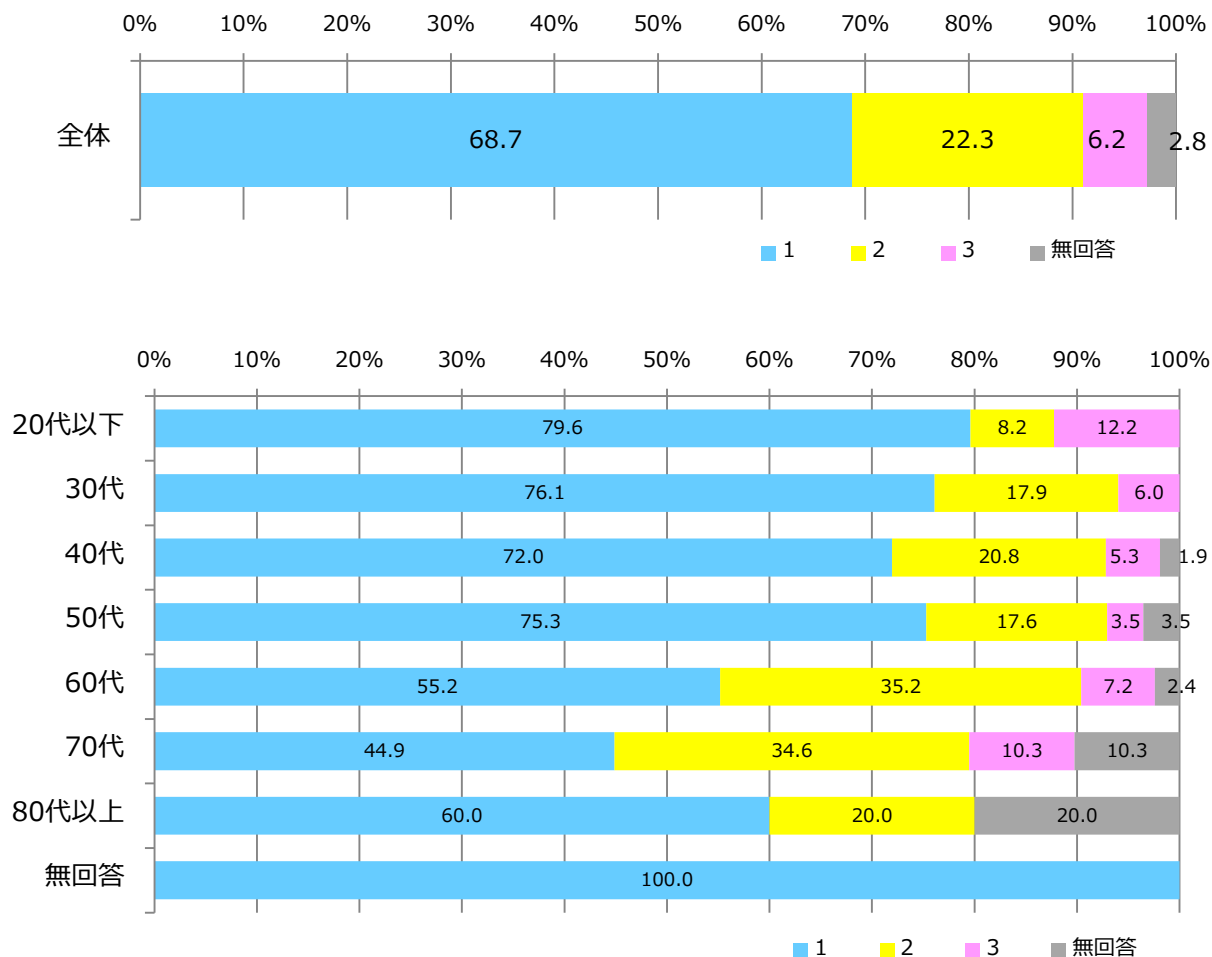
幼稚園でのこともあるかもしれないですが少数の方がそれぞれ意見をみんなが出し合えて話を聞いていないなどがなくて、みんなが1つのことに向き合えていいのかなって思いました。

30代
学習面において、細やかに丁寧に教えて頂けると思うため。特に小学生の間は学習の仕方の基礎を作る時期なので他児と競争してどうではなく、1人1人の力を伸ばしていく環境を整えてほしいため。
自分自身、少人数の学級だったため、20人、30人がよく分からない。(特に小学校)
学習の基礎を学ぶ6年間は出来るだけ少人数で丁寧にみて欲しいからです。
40代
それぞれメリット、デメリットがある。
先生が目が届く人数かと。
A Iや複数の支援員がつかなら20人でもいいかと思うが教員1人でしっかり個に応じて指導を行うには10人が限界だと考える。
児童数に拘わらずに。
授業など、より先生と深く関われるから。
先生によくみていただけるから。
多いと良いこと、少なくても良いことはあるが多過ぎは好ましくないと思う。
50代
小規模校でも良い。一人一人の生徒に目が届きますし、いじめや不登校も少なくなると思います。
最初の人間関係を作るのに多いと困難で問題も起きやすい。児童と教職員の距離、ふれあいも増える。安心感も増える。
60代
先生が目が届く人数がベストと思う。10人以下でも良いと思う。
70代
行き届く教育を基本に。
少人数でも良い。
少人数学級で行き届く教育が望まれるのではないか。
なるべく少人数で教員と近い関係が良い。

問7 中学校の1学年の学級数は、どのくらいが望ましいと考えますか。【単一回答】

- 1 1学年複数学級（2学級以上）が望ましい
- 2 1学年1学級でもよい
- 3 分からない

全体では「1学年複数学級が望ましい」が68.7%と考えている。年代別では若い世代ほど複数学級が望ましいと考えている。



(上段：実数、下段：%)

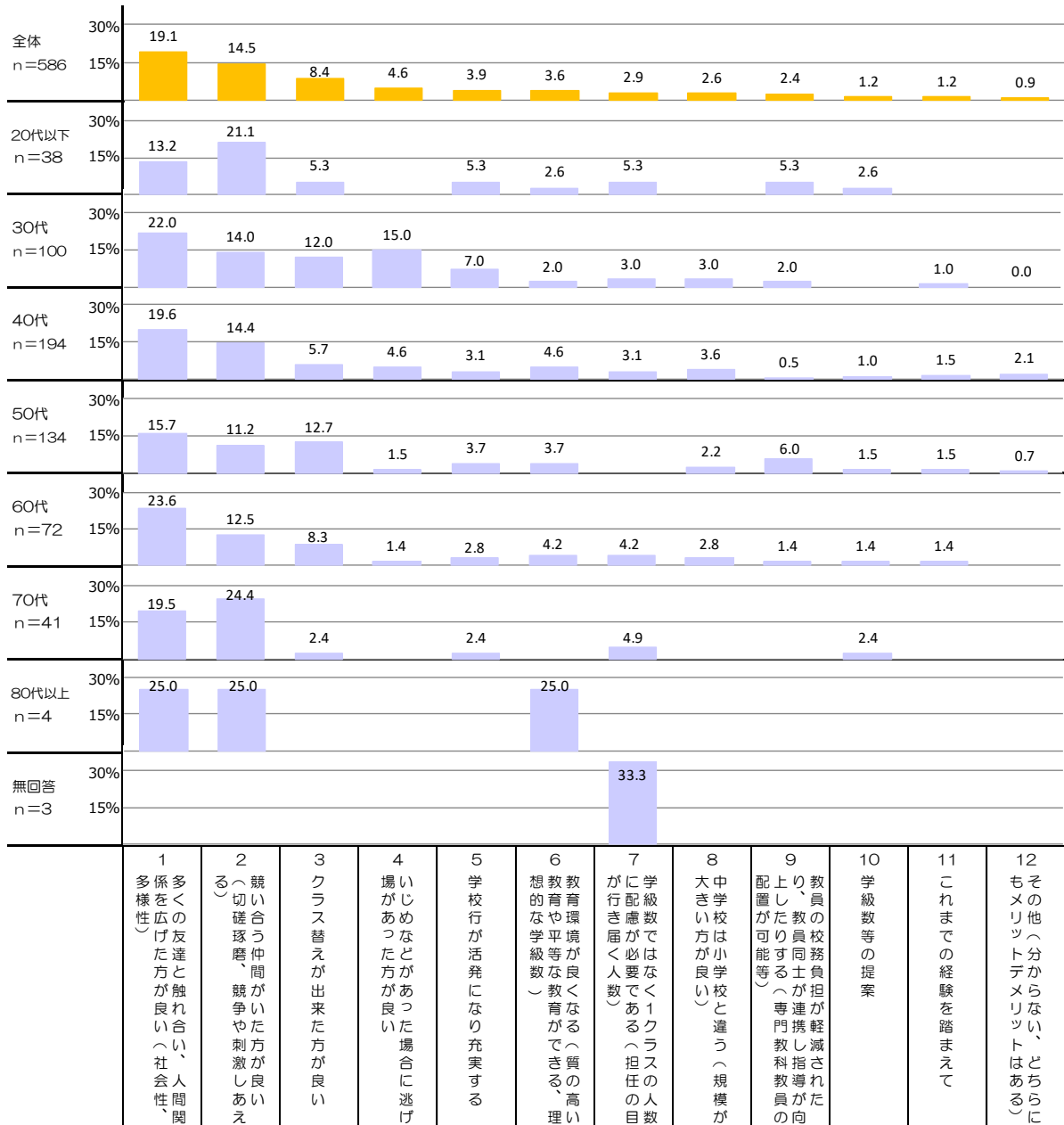
	回答者数 (n)	問7回答				
		1	2	3	無回答	
全体	828	569	185	51	23	
	100.0	68.7	22.3	6.2	2.8	
年齢別	20代以下	49	39	4	6	0
	100.0	79.6	8.2	12.2	0.0	
	30代	134	102	24	8	0
	100.0	76.1	17.9	6.0	0.0	
	40代	264	190	55	14	5
	100.0	72.0	20.8	5.3	1.9	
	50代	170	128	30	6	6
	100.0	75.3	17.6	3.5	3.5	
	60代	125	69	44	9	3
100.0	55.2	35.2	7.2	2.4		
70代	78	35	27	8	8	
100.0	44.9	34.6	10.3	10.3		
80代以上	5	3	1	0	1	
100.0	60.0	20.0	0.0	20.0		
無回答	3	3	0	0	0	
100.0	100.0	0.0	0.0	0.0		

問8 問7で回答された理由について【記述回答】

○問7「1 1学年複数学級（2学級以上）が望ましい」と回答した理由（集約結果）

問7で「1学年複数学級（2学級以上）が望ましい」と回答した、その回答理由を以下の12項目に分類した。全体で理由として多いのは「多くの友達と触れ合い、人間関係を広げた方がよい」であり、小学校と同様であった。30代、40代にその傾向が強いのも小学校と同様であった。20代や70代では「競い合う仲間がいた方がよい」が理由として多い。

- 1 多くの友達と触れ合い、人間関係を広げた方がよい（社会性、多様性）
- 2 競い合う仲間がいた方がよい（切磋琢磨、競争や刺激しあえる）
- 3 クラス替えが出来た方がよい
- 4 いじめなどがあった場合に逃げ場があった方がよい
- 5 学校行事が活発になり充実する
- 6 教育環境が良くなる（質の高い教育や平等な教育ができる、理想的な学級数）
- 7 学級数ではなく1クラスの人数に配慮が必要である（担任の目が行き届く人数）
- 8 中学校は小学校と違う（規模が大きい方がよい）
- 9 教員の校務負担が軽減されたり、教員同士が連携し指導が向上したりする（専門教科教員の配置が可能等）
- 10 学級数等の提案
- 11 これまでの経験を踏まえて
- 12 その他（分からない、どちらにもメリットデメリットはある）



(上段：実数、下段：%)

	回答者数 (n)	問8 (問7-1の回答理由)											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
全体	586	112 19.1	85 14.5	49 8.4	27 4.6	23 3.9	21 3.6	17 2.9	15 2.6	14 2.4	7 1.2	7 6.3	5 5.9
年齢別	20代以下	38	5 13.2	8 21.1	2 5.3	0 0.0	2 5.3	1 2.6	2 5.3	0 0.0	2 5.3	1 2.6	0 0.0
	30代	100	22 22.0	14 14.0	12 12.0	15 15.0	7 7.0	2 2.0	3 3.0	3 3.0	2 2.0	0 0.0	1 1.0
	40代	194	38 19.6	28 14.4	11 5.7	9 4.6	6 3.1	9 4.6	6 3.1	7 3.6	1 0.5	2 1.0	3 1.5
	50代	134	21 15.7	15 11.2	17 12.7	2 1.5	5 3.7	5 3.7	0 0.0	3 2.2	8 6.0	2 1.5	2 1.5
	60代	72	17 23.6	9 12.5	6 8.3	1 1.4	2 2.8	3 4.2	3 4.2	2 2.8	1 1.4	1 1.4	1 1.4
	70代	41	8 19.5	10 24.4	1 2.4	0 0.0	1 2.4	0 0.0	2 4.9	0 0.0	0 0.0	1 2.4	0 0.0
	80代以上	4	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無回答	3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

◎各年代別の回答理由

20代以下
少ない人数なら1クラスでもいいと思う。多いなら2クラス。
【問4と同じ】担任1人あたりの負担の軽減。何かあった際のトラブル対応の1つとしてクラス替えができる。
競争、高め合いができる。
クラス替えで新しい人間関係が生まれるから。
【問4と同じ】様々な考えをもった子とかわる機会が持てるといいと思うから。
人間関係を育む場として2学級以上必要。
【問4と同じ】担任同士が協力できる。仕事の分担ができる。他クラスと競いながら子どもたちが高め合うことができる。
部活動のチーム編成、存続が関わってくると思うので2クラス以上あった方がよいと思うから。
【問4と同じ】対抗意識、ライバル視、競争心が芽生えて活力になる。仲間意識が強くなる。
クラスの競争心。
文化祭や体育祭などクラスで競うことができるのが良い。
様々な小学生が集まってくるため。
他のクラスの交流もあって楽しい。
【問4と同じ】複数学級にすることで1人1人と向き合えると思ったから。
クラス対抗の行事が出来るから。
【問4と同じ】1クラスで人数が多いと先生の目が行き届かなかったり大変な面も多いと思う。複数クラスで1クラス少人数の方が先生と親しみやすかったり、クラス対抗が出来たりメリットが多いと思う。
多すぎても少なすぎても良くないと思う。
授業内容についていけるかや行事も考えた時に複数あった方が楽しめそうと思ったから。
30代
部活など選択肢が狭くなるから。
【問4と同じ】周囲とコミュニケーション、関わる力がこれから先必要とされる中で、多様な選択肢を提供・経験する必要があると考えるから。
【問4と同じ】クラスごとによる競争心ができ、学習向上につながると思う。
クラブ活動の選択ができる規模の学校が望ましいと言える点、ある程度の競争ができる環境が必要と考えるため。
行事等をするにも活気が出る。
社会に出て行くための準備期間。たくさんの中でいろんな経験、知恵をつけてほしい。
もし、いじめやなにかあった時に対応しやすいと思うから。
自分の経験でしか分かりませんが充実しました。でも、それ以外の良さを知らないだけです。
学習面のことを考えると1学級の人数は少なくしてクラスを増やすようにしてほしい。(体育大会のことなどを考えて)
いじめ、人間関係を考えるとクラス替え可能な学級数が必要だと思う。
クラス替え等で人との関わりに変化を与えられる。クラス対抗等のイベントが出来ると良い。
気の合わない子と3年間同じクラスはきついかと思うから。

学級対抗などの学校行事ができるから。
中学校では高校を見据えて大人数で切磋琢磨してほしい。
中学校では小学校より大きな規模で集団での生活を送ってほしいです。
【問4と同じ】各学級ごとの団結力がでてくる。多い方が子供たちは楽しい。
競い合い高め合うこと、広い「社会」を知ること大切。
多様な活動ができる。クラス替えもできる。
小中9年間、ずっと同じクラスメイトというのは、子どもにとってデメリットが大きいから。
【問4と同じ】同学年での様々な交流が図れる方がよい。ただ、多すぎることは弊害が出ると思うので、2～3学級程度がよい。
担任の連携がとれる。競い合える。クラス替えができる。
【問4と同じ】単学級よりもおもしろい活動ができる。
【問4と同じ】1学年1学級では小学校6年間、人間関係が固定されてつらい児童もいると思う。複数学級だと、その学年で役割分担をして仕事ができる。
クラス替えが出来る。競え合える。
分かれていた方が運動会とか楽しそう。
クラス替えがあった方が人間関係がうまくいくような気がする。
1学級では寂しいです。
多様性を見て学べると思うので。
中学ではクラスが2つ以上あった方が交友関係も広がるし、もし仲間外れにされた時良い。
部活を選ぶ幅が増える。
【問4と同じ】人間関係を育成していくため豊かな心を育成していくため、ある程度の人数で競い合うことも大切だと思います。
複数あった方が楽しい。
【問4と同じ】多くの情報が得られるし、逃げ場が増える。
高校等の進路に向けて高めあえる環境であればどの形でもいいです。
中学生になった頃にはライバルではないけれど2つ以上のクラスがあった方が良いと思うから。切磋琢磨できる環境だと思います。
学力の差が出ると思う。1人1人の個性が埋もれるのでは。
【問4と同じ】1学級でも良いと思うが2学級以上あった方がクラス替えもあり、いろんな経験が出来ると思うから。
何かあった時に2クラスあった方がいいと思うから。
【問4と同じ】子どもにとっての逃げ道が必要かな。
人間関係で何かあった時、クラス替えがあると良い。
学級での問題や仲間関係の再構築の場があってもいいと思う。
中学の時期は思春期など複雑な年齢だと思います。1クラスだと友だち関係が固定されるのでクラス替えなども経験させてあげるといいのかなと思いました。
より大きな集団での生活を身につけて欲しい。
【問4と同じ】できる限りたくさんさんの友だちと触れ合って欲しいから。
【問4と同じ】よく知った顔と知らない顔が1学年にあった方が社会性があるから。
少ない人数で見て欲しい。
自分が中学校の時にクラス替えがなくてとても苦痛でした。思春期ですし、一度崩れた関係を取り戻すのは難しいことがある。
切磋琢磨するために、いろんな人がいた方が良い。
なるべく多くの人の中でもまれることも必要だと感じます。
自分が中学校の時に部活動をもっと選びたかった。
【問4と同じ】大勢の中で競争しながら学んだ方が子どもの成長につながると思うから。
マンネリが懸念される。合同授業を時々するときのドキドキ感があるから。もし、いじめなどがあった時の対応がしやすい。
【問4と同じ】クラスが固定されると友人関係で辛くなってもクラス替えが救いになると思う。
学級数があることでクラス対抗など各クラスのまとまりや競争心、一体感が強くなるメリットがあるから。
難しい年頃なので友人関係での揉め事などがあった時に複数の方がいいのかなと思う。
中学生は何かと難しい時期なのでクラス替えが必要だと思う。
体育祭やクラス対抗のものがあると良いと思うから。
小学校より、さらに心も大きくなると思うので。
40代
人間関係、コミュニケーションを育むため。部活動ができるように。
中学は学級数だけでなく、部活動の選択、専門教科の先生の手配も考えると、中学校は規模も必要と考えます。

【問4と同じ】現在の子供たちの様子を見て支障がない。クラス替えで子供たちの気持ちに良い変化がでている。
最低でも2クラスは必要。
自信を成熟させる為、中学校では多くの交流が必要と思う。
【問4と同じ】クラス替えや多人数の中で生活することでいろいろな刺激があって良い。
【問4と同じ】色々でよいと思う。統一できない。
小学校で自信持って、中学校でそれを活かした人数での活動が必要と思う
多様な考え、意見を引き出し、いろいろな人との関わりの中で学びを深めていくためには、ある程度の人数が必要であるとする。
【問4と同じ】競争、話し合い、色々な意見を体験できる。
切磋琢磨。
中学校は小学校と違ってある程度の規模は必要だと思います。
たくさんいた方が盛り上がる。
中学からは勉強や部活動が活発になるのでなるべく学校内でも競争のできる環境が良い。特に部活動は人数がいないと活動そのものがない。
競争心の育成も必要だし、部活動の為にも人数が必要だから。
【問4と同じ】クラス替えができることで子どもたちが色々な人と（子ども、先生）関わることができることいいと思う。
【問4と同じ】いろんな考え方があっていい。いろんな環境の家庭がある。
【問4と同じ】クラス替えができる。先生の目が届く。
中学校は他校とも（他者）入ってほしいが多すぎても良いことはないと思う。
学習、学校行事における刺激がなくなり、子どもたちの「力」が伸びていかないから。
部活やスポーツの事である程度人数がいた方が成り立つから。生徒の人数がいないと専門の教科の先生がいらないから。
刺激が多く、様々な人間関係が築ける。また学べる。
多くても2～3クラスじゃないと知らない人だらけになるのでは？
多いにこしたことはない。
適度な競争、競争意欲は必要。
【問4と同じ】それぞれに長所、短所があるのでどれでも違いはないと思います。
上の子が中学校に行ってから人間関係への選択肢が増え、小学校の時より頑張っている。デメリットもあるが今のところ乗り越えている。
部活動と教科の専門性を確保するため。
クラス対抗の催しなども教育上必要かと思います。
なんとなく。
中学校ではクラスがいくつかあった方が良い。いい意味で刺激や対抗心が芽生え、学校生活がより楽しくなると感じる。（自身の経験より）
競争心が芽生える。
他の地域の人々と交わる必要があると思うし、競争心、コミュニケーション力をつけるためにも様々な人との交流が必要となると思う。
【問4と同じ】切磋琢磨してほしい。いじめがあったときに逃げ道があると良い。
部活等、ある程度人数がいた方がいいと思う。
【問4と同じ】競い合う仲間がある程度いた方がいいと思う。
環境の変化はあった方が望ましい。
クラス替えが出来るため。
部活動の面で一番それを感じます。
【問4と同じ】人間関係がこじれた時、逃げ場がない。
中学校では勉強、運動の面で、ある程度競争する環境が必要と思うため。
目が行き届くと思うから。偏った人間関係でいるのは思春期の子はつらいかと思う。いろいろな子に触れ、切磋琢磨してほしい。
【問4と同じ】昔、自分がそうだったので、それ以外想像できない。
自分が属する以外のコミュニティが身近にある必要性。
人数を分散させた方がよい。
【問4と同じ】ある程度たくさん生徒数の中で学校生活を過ごすことで学べることが多いと思います。
部活動などある程度の学校規模でないと生徒一人一人の希望をかなえられない。
【問4と同じ】多様性があり協同、競争のある学校がよい。
2校がよいと思います。
人間関係が、クラス替えによって変えられるとよい。
【問4と同じ】社会性を身につける上で大人数で学校生活を送ることが大切だと思う。人間関係がうまくいかなかった時にクラス替

えできるから。
人間形成でもいろいろな子とふれ合えると思うから。
子ども同士が切磋琢磨できる環境が必要だと思います。
いろんな人と出会える。
生徒・教員同士の高め合いにつながる。
クラス替えをできた方がよい。
切磋琢磨していくには1クラスは少ないと思います。
お互い切磋琢磨しあえる。
【問4と同じ】・複数教員で学年の業務を分担できるし、教育方針などを相談して進められる。・これから若い教員が多くなる時代がくる中、1人で(新採用教員などが)学年のことをまとめるのは大変。・子供の人間関係の問題をクラス替えによって解消できる。
【問4と同じ】クラスで何かあっても人間関係をクラス替えで少しでもリセットできるかもしれないから。
部活動ができる人数はいた方がよいと思う。
中学生は社会へ進出する第一歩の時期だと思うため、ある程度人数がいる方がよいと思う。
各クラスの声が出てくるのでクラス同士で刺激し合ったりできるので。
子どもがそうだったが、良い子は良いが気の合う子が少ないと苦労すると思う。
中学校は賑やかさも必要でありながら、30人程度のクラス編成で先生の目がしっかり行き届くことが必要だと思うから。
【問4と同じ】大人になれば大きな社会に出るので小さいうちから多人数の環境になれるべき。
集団が大きすぎず小さすぎるのは避けて欲しいと思う。
【問4と同じ】学校行事(運動会など)が盛り上がるから。
各クラスの特色を出し合って行えることもあると思うから。
複数学級の方が先生と子ども達と接することが出来ると思う。
【問4と同じ】同じ仲間以外との交流も大切だと思うので。
【問4と同じ】クラスが1つだと逃げ道がないように感じるため。
小学校より大きな集団であって欲しい。
【問4と同じ】いろんなタイプの子と交流できるのは良いことだと思う。
部活動やスポーツをする上で出来るだけ多様な選択肢があった方がよいと思うから。
チームになって学習したり、競ったりするのにたくさんいた方がよい。部活動もたくさん種類が出来る。
【問4と同じ】体育大会などクラス対抗ができる。
外国では飛び級もあるので、一概に学年にじぼられる必要はないと思う。
【問4と同じ】自身が子どもの頃、複数学級だったから。
ずっと同じメンバーは辛さもある。
社会に出て行く準備を始めていく上で同年代でもいろいろな子ども、変な奴がいると分かる環境が良いと思うため。
部活動が大変だから。
社会へ出る準備のために多人数で切磋琢磨して欲しい。部活動や家庭科の充実を図って欲しいです。思春期がどんな大人になるかを決める気がします。
少ないよりは多い方がよいと思うから。
【問4と同じ】1学級の中で児童数が多いとゆったりとした授業が受けられない気がするため。
【問4と同じ】ある程度的人数で学習した方がよいと考える。
部活動の確保、教科担任の確保。
中学校ではコミュニティ、人間関係を育てる必要がある。
【問4と同じ】たくさんの中で生活すると多くの経験が accrue するから。クラスごとの競争がある方がよいと思う。
【問4と同じ】ちょうど良い。
他校を交えたテスト等、全体で競争できる機会があっても。
【問4と同じ】クラス替えが必要。同学年でクラス単位で競い合うことも出来る。
部活動の選択が広がる。
学校内順位とクラス内順位との競争。
運動会や球技大会が盛り上がるため。
50代
【問4と同じ】複数学級だとクラス替えができる。人間関係の幅を広げるためにも、クラス替えは担任の先生が変わることもしてほしい。
複数学級+主任で指導できるとよい。
クラス替えができるように複数学級がよい

中学校ではいろいろな教育場面があり、より個別対応が必要だと思うから
いろいろな点でクラス替えができた方がいいと思う。
クラスで団結(協調性をつけ)して、クラスで競い合うことも中学では大事だと思う。
多感な思春期にはクラス替えが可能な学級編成が必要だと思います。
子供に競争心が出てくると思う。
自らの経験から。
1 学級でもよいが大きくなってたくさんの人の中で、どうやって過ごすといいか考えるためには複数学級も大切だと思う。
中学生はある程度の集団(個性)との関わりが大切。
大人数の1 学級よりも、少人数の2 学級の方が教育的効果が高い。一人一役が可能になる少人数の複数学級を希望します。
小学校よりも大きな集団が必要だと思うから。
【問4と同じ】定期的な学級編成替えが必要。人間関係、学力、体力が学級で偏らないように。
社会性を育てるために、ある程度の規模は必要である
【問4と同じ】私自身の経験から、40 人近い学級が小学校で5 クラス、中学校で6 クラスあり社会性が身についた。
【問4と同じ】同学年は多い方が良い。
クラス替え、クラブ活動、文化祭、体育祭などの教育の場の充実に必要
【問4と同じ】2 学級以上で切磋琢磨してほしい。
【問4と同じ】多様な考え方をを持った人との関わりを学ぶ事ができる。クラス替えも、新たな人間関係を生むことができる。
専門教科の教員が配置でき、多様な部活動も可能になると考えるから。
いろいろな人がいて、意見を交わし、互いに認め、自分の思いを伝えられる。そのためには、ある程度の人数、クラスが必要。
活動の幅が広がるから、部活動、体育祭、文化祭、合唱など
ある程度の競争意識や部活の成立にはかなりの人数が必要である。
大人数の中で教育を受けることが望ましいと考えるため。
競争心が生まれると思うから。
【問4と同じ】クラス替えがないと困る子が出てきます。学校として若い教員を育てるといことで1 学年1 学級より2 学級以上の方がスムーズにできる。
【問4と同じ】担任が複数いるとよい。
【問4と同じ】クラス替えなども子どもが経験でき、より多くの人とかかわる、出会うことができる。教員にとっても、同学年での協力や研究を深めるなどよいことが多い。
クラス替えをしたり、クラスの特色を出すために、複数クラスあった方がよいから
クラス替えや担任が変わるなども必要。
【問4と同じ】学級は生活する中での基礎となるものである。1 学年にクラス担任をしている者が、互いに相談し合い、高め合えるとよい。
学級替えや少人数など多様な形態が可能だから。
【問4と同じ】クラス替えができ切磋琢磨する環境。1 学年職員が2 名以上がよい。5 クラス以上
クラス替えができる方がいい。思春期に入って人間関係も難しくなってくる中でリセットできる機会になる。できるだけ色々な人との人間関係が結べるように。
学級の団結力等を。
【問4と同じ】通学時間は小さい子にとってどうか考えるべき。
磨き合い。
【問6と同じ】クラス替えができて人間関係に変化をつけられることは大切。
クラス替えも必要になる事がある。
中学校ではある程度学級数が多い方が、ダイナミックな活動ができる。
【問4と同じ】子どもの序列化をさけるため。
同教科の教員が複数いることが重要。
クラス対抗の行事や、クラス団結する取り組みなどがあると、学校の雰囲気生徒同士のつながりなどできると思う。
【問4と同じ】教員を育てる、教育課程をよりよいものと受け継いでいくという意味で、2 学級以上は必要。
学級間の競い合う場面は学級の団結力を育む。
ある程度の人数がいないと学校行事や部活動を運営していく上で支障がある。
複数の学級で意見交換したり、競い合ったりできるから。
2 学級あった方が子どももクラス替えもありいいと思う。
若手、生徒とベテランのバランスや人材育成。
競い合い。
【問4と同じ】学年行事の計画実行、学習指導、生徒指導面など学年を運営するにあたって、複数の担任がいて相談しながら進めていくことができることは大きいと思う。
クラス力のアップが欲しい。

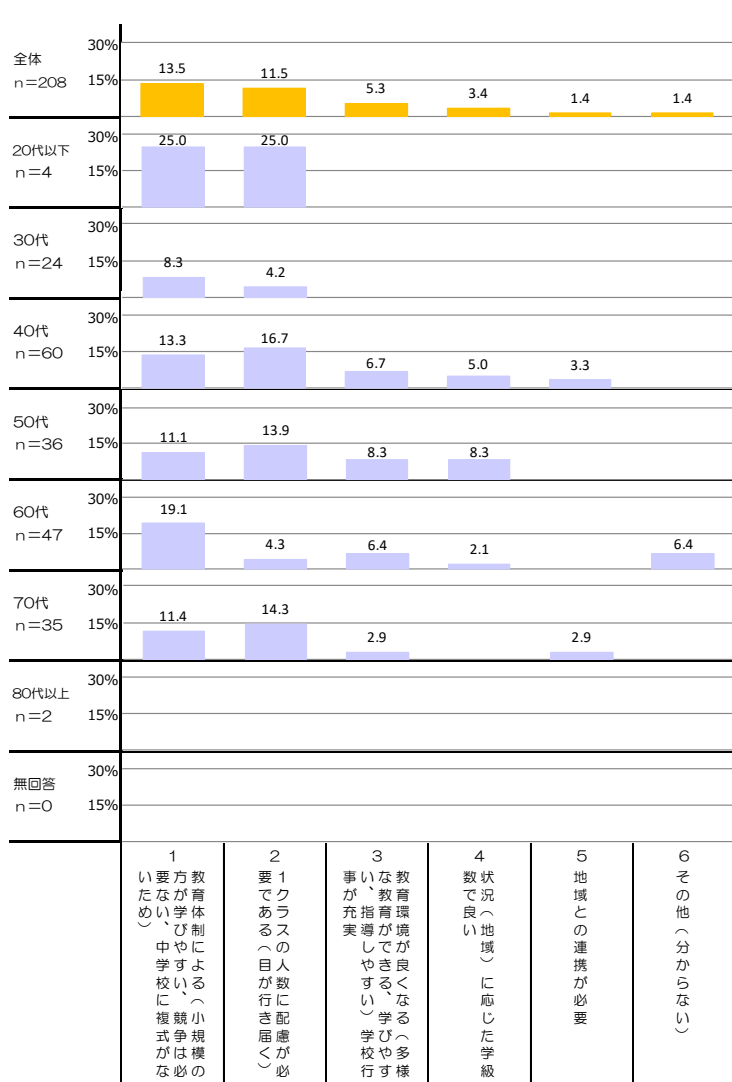
【問4と同じ】小学校同様、競争心などあると良いので2クラスあると良い。
のびのびと。
【問4と同じ】子どもが少なくなれば仕方がないと思うが、複式学級は出来れば避けてほしいかなと思う。
【問4と同じ】クラス内で問題があった場合、クラス替えのある方が良い。
体育祭や文化祭など小学校の時にはなかった生徒主体の行事があるため。いい意見で競い合うということも必要だと思うから。
60代
【問4と同じ】運動会、合唱コンクール、球技大会等、各クラスで協力しながら、上位を目指す機会が大切。
学年で複数クラスあると互いに良い意味での競争がある。
クラス替えができる。
中学校は小規模より、大きい方(中規模以上)がいいと考えています。
文科省のいう適正規模にとられる必要はない。
1学級制では子供の成長に限界が出てくる。
中学生になると大人との関係(教師)よりも生徒同士関係が密接になるので、いろんな同年代の人と知り合いになれた方が人生の中学校生活が楽しくなるのでは。教師の人数も多くなり、いろいろな大人とも接することができる。
切磋琢磨、クラス替えができる。
進学した時に初めて沢山の人とかかわるよりは、慣れておくことも大切かと思う。
【問4と同じ】学級の特徴が分かる。学級同士の伸びが生まれる。但し5学級程度がよいと思う。
勉強、スポーツ共にクラスごとで競い合ったりした方が良い。
子どもの逃げ場所が作れる。
部活動が出来るように。
中学校ともなると社会性、協調性を学ぶ環境の方が良い。
クラス数があった方が望ましい。
中学生になると大きい集団の中で自立しながら多くの仲間と学んでほしい。部活などにも有効。
中学校では社会性を育てる良い機会であるし、人間性がうまくいかないときはクラス替えも必要だと考える。
多い方が人間関係を作りやすい。
切磋琢磨できる編成。
多くの人と接する中で人は成長すると考える。
9クラスあったから。
多様なスポーツ(部活)が出来るように。
いろいろな人と知り合える。
【問4と同じ】学年1名の担任に問題点はあると思う。集団と個の意義、複数学級あることのメリット。
ある程度的人数で協調し競う中で成長していくことが大切だと思うから。
行事をするには最低2学級は必要。
現状30名以下。
中学生はクラブ等の関係。
学習においてもスポーツ面においても、ある程度の競争心が生まれる。学級編成賀替えが必要で大切である。
【問4と同じ】可能なら3~4学級が良いと思う。1~2回クラス替えが出来ると良い。
多くの人と接することになれるため。
【問4と同じ】各学級の特徴が出ると思うし、団結という気持ちも湧くと思う。また競争心も出ると思う。
教育長の掲げる「自尊感情」の点からも中学ともなると自尊心・自立性からしても多くの生徒の中でもらえるのが良いと思う。
クラス替えの利点があると思う。
【問4と同じ】仲間が多い方が良い。
【問4と同じ】競うと言う視点から2学級以上が良いと思う。
少ないとクラブ活動に支障が出る。
70代
競い合うことも成長に必要と考える
皆で学ぶ、又、お互いに競争心を育て上級学校又は他県に出て行った際にけこめるように心身共教育できれば…
規模が大きくなるほど、見えなくなる事が多くなるのでは
生徒さんの固定観念を打破させる
【問4と同じ】一定の人数で一定の学級数であることで子供の選択肢が増える。
【問4と同じ】少数人数での勉強が良い。学級が多い方がよい。4クラスぐらいか。
中学校になると体力もつくし競争意識も必要。
【問4と同じ】可能な限り子どもは子どもの中で生活していくことが人生の面でも望ましい。

クラス替えのワクワク感も必要。
【問4と同じ】ある程度の競争心があっても良いと思う。
対抗意識が必要と思う。
多様な生徒を受け入れて欲しい。
集団活動のため、部活が実施できることも必要。
学級対抗や色別対抗での教育効果が期待できるから。
中学になれば競争心が出るから。
中学校は部活の問題もあり、2学級以上の確保可能で再編は仕方ない。しかし2校は欲しい。
中学では競争という意識が芽生えるし必要です。そのためには、ある程度人数が多い方が良い。
スポーツクラブなど複数が良い。競争心の増幅。
対抗意識が必要と思う。
中学ではある程度競争意識が必要。1学級でのお山の対象でいるより、複数学級の原点を目指す教育も必要と考える。
80代以上
学びあいの場が大切
先生が教育しやすいのでは。
無回答
【問4と同じ】1クラスでつめてもゆっくり学ぶことが出来ないと思う。

○問7「2 1学年1学級でもよい」と回答した理由（集約結果）

問7で「1学年1学級でもよい」と回答した、その回答理由を以下の6項目に分類した。全体で理由として多いのは「教育体制による」であり、20代と60代にその傾向が強い。40代や50代、70代では、「1クラスの人数に配慮が必要である」の理由が多い。

- 1 教育体制による（小規模の方が学びやすい、競争は必要ない、中学校に複式がないため）
- 2 1クラスの人数に配慮が必要である（目が行き届く）
- 3 教育環境が良くなる（多様な教育ができる、学びやすい、指導しやすい）学校行事が充実
- 4 状況（地域）に応じた学級数で良い
- 5 地域との連携が必要
- 6 その他（分からない）



	回答者数 (n)	問8 (問7-2の回答理由)					
		1	2	3	4	5	6
全体	208	28	24	11	7	3	3
年齢別	20代以下	4	1	1	0	0	0
	30代	24	2	1	0	0	0
	40代	60	8	10	4	3	2
	50代	36	4	5	3	3	0
	60代	47	9	2	3	1	0
	70代	35	4	5	1	0	1
	80代以上	2	0	0	0	0	0
	無回答	0	0	0	0	0	0
			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

- | | | | | | |
|-------------------------|--------------------------|----------------------------|------------------|-----------|------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 必要な教育体制による（中学校に複式がないため） | 1クラスの人数に配慮が必要である（目が行き届く） | 多様な教育環境が良くなる（学びやすい）学校行事が充実 | 状況（地域）に応じた学級数で良い | 地域との連携が必要 | その他（分からない） |

◎各年代別の回答理由

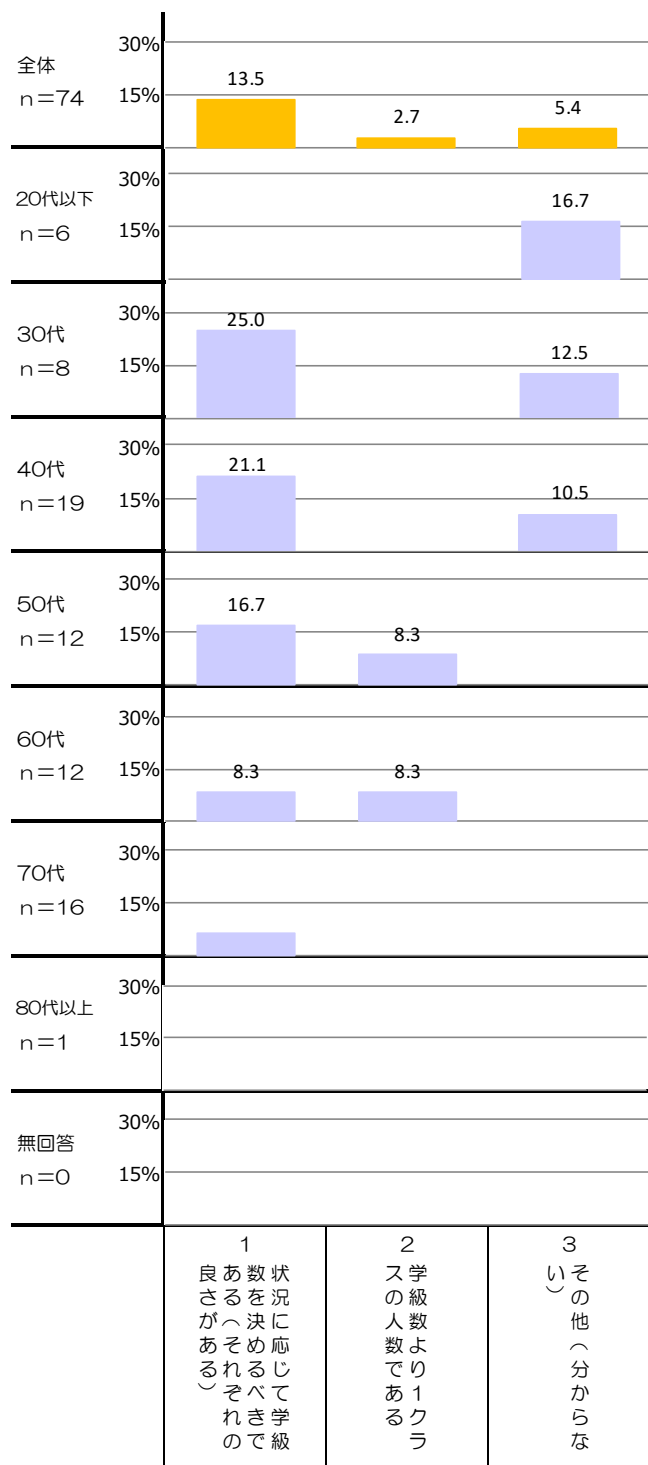
20代以下
【問4と同じ】極端に人数が多いのもよくないと思いますが、現在の人数(30名程度)を維持した方がクラスメートも多く、友達作りができるのでよいと思います。
1学級でも学べるし不便さはない。
30代
学級数が少ない学校でも学力の高い生徒はいるし、学級数が多く荒れている学校もあるため、一概に人数の過多で判断するのは難しいが、成長環境がかつてと今とで異なっている状況も踏まえて議論を進めていく必要がある(今後、教師の年齢構成も大きく変わる)
【問4と同じ】6年間でクラスの友だちと仲を深めて欲しい。クラスの誰とでも仲良くなれば理想。クラス替えは無くても良い。(それによって不安になったりすることもあると思うので。)
【問4と同じ】自分がそれで不自由を感じたことがない。クラス替えがなくても席替えで十分。
40代
【問4と同じ】色々でよいと思う。統一できない。
少人数学級が適切だと思う。
1校にまとめるのではなく、複数学校があったほうが、学校間の向上心(競争力)がつくのでは
きめ細かな教育が期待できる為
【問4と同じ】低学年の活動、縦割りの活動で支障ない事もある。近隣市町の小中学校と合同企画をすればよい。
私は教育のプロではないので根拠はないです。しかし高校の娘たちは普通に育っていますので問題ないと思ってます。
複数を維持するために学校を1つにするなら1学級でも少しでも近くに学校があった方がよい。
複数でも問題ないですがというレベルです。
経費・財源以外の面で、規模のメリットを感じません。(定数以上に教員を配置することが困難なのは、財源面が理由と理解しているの。財源以外に小規模校で教員数を増やすのが難しい理由がある場合には、教えていただけると考えが変わるかもしれません。)
部活の選択肢の少なさなどは可哀想だとは思いますが、教員の負担軽減も含めて、部活動や大会のあり方は、全国規模で改革されていくべきだと感じています。
学級数だけで望ましいことを言えない。
全ての生徒の顔がお互いにわかる数がよい。
我が子だけのことで答えると子どもが現状で満足しているため。
大野市が望むきめ細やかな自信をつけさせる指導のため。
先生が目の届く範囲なら、学級数は問わない。(いくつでもよい)
【問4と同じ】何らかの教育効果は生み出せると思う。(2学級以上なくても。ただし、複式は可能なら解消していくとよい。)
その時の人数に応じて。
【問4と同じ】少人数で良い。
小学生の時より勉強に集中していかなくてはいけないから。
複式である必要はない。顔が分かる方がよい。
【問6と同じ】望む形も大切であると思うが、あるべき形とは限らない。地域と学校の関わりを含めて、形を造っていく方がよい。
授業は生徒が少なくても問題ない。国体スポーツをやりたい生徒はスポーツクラブなどを利用できるのであまり問題ないと思います。
授業によって複式になればよい。
教員の目配り出来る環境整備。
先生の目が届く。
生徒のコミュニケーションがとれる人数にすべき。
50代
小規模校の方が子供達には学びやすい。
同学年同士で同レベルの教育を同じスピードで進めるべき。以後の教育への制度改革等の弊害が出ない。
いろいろな立場、仕事で子供は育つことができる。
生徒一人ひとりの役割や出番(生徒会、行事)が持てる。教職員の目もゆきとどく
【問4と同じ】世界の標準は100人以下をスタンダードにしているので。
あまり関係ない。
多くの人数が苦手な子どももいると思うのでそのようなニーズにも答えた方がよい。
【問4と同じ】1学年1学級で子どもの学力を十分つけることができる。
機動性の高い教育活動が可能。
【問4と同じ】学級よりも1学級の児童数を重視。
校長先生が1人1人の子どものことを知っているという学校規模が1番望ましいと思うからです。
学校の規模による。

地域の状況によってクラス数も生徒数も変わって当たり前で数で調整すべきではないと思う。
60代
問8 (問7回答2理由) / 1学級でよい
多様な勉強が出来る状況。通学(自分)出来る
中学校は複数ある方が良い。
効率が良い。
中学校で複式学級が福井県ではその制度をとっていないため。
学びの本来の基は主体的な問いである。
【問4と同じ】少子化の影響から最低限必要と考えた。
本当は2クラス以上が望ましいが子どもが少ないのだから仕方がない。
【問4と同じ】別に子どもたちは1つの教室に入るのだから1学級でも良いと思う。
【問4と同じ】複式学級だと一方が学習で、一方が自習といった形になりますので、この件に関しては望ましくないとします。
スポーツ又は行事等で都合が良いのでは。意見がいろいろ出てくるのでは。
クラス替えがなく3年間親しく出来て生涯を通じた友人関係が築ける。反対の面もあるので何とも言えないが個人的には誰とでも親しくなってほしい。
中学の複式はないので。
学級数が多いより学校数が多い方が競いあえる。
【問4と同じ】キメ細かい教育ができるのでは。競争力は(生徒間の)低下すると思うが、人間的なやさしさとか連帯感は生まれる。目が届く(いじめの問題)
【問4と同じ】地域に沿った学級が望ましいため。
【問4と同じ】1学級では他学級がないことにより教育的指導など偏りが出ても分からず進んでしまう。
70代
学級数がどうであるかは子供たちの発達とは関係ない。
学校教育に競争主義が入らないことが良いと思う。
数で競争心をあおるのではなく少数だからこそ支えあう力を養える(和泉小中のケースなど大切にすべき)
中学校が市内に1校で比較できない特徴の乏しい状態にすべきでない。地理的にもっとも大きな大野市には複数の中学配置は欠くことのできないことである。
遠方の中学校へ通うより、たとえ一学級でも地域に守られ愛される学校なら一学級でもよい
特にこだわらない。
【問4と同じ】少人数教育が大事。
中学校を考える時に部活の数、専門教員の数がよく問題となるがそれは完全に解決しないし、その方向に進むことがベストだろうか。
学びやすい。
学級数はそれほど問題ではない。1学級でも充実した学習生活であるなら良い。

○問7「3 分からない」と回答した理由（集約結果）

問7で「分からない」と回答した、その回答理由を以下の3項目に分類した。全体で理由として多いのは「状況に応じて学級数を定めるべきである」であり、特に30代～50代にその傾向が強い。

- 1 状況に応じて学級数を定めるべきである（それぞれの良さがある）
- 2 学級数より1クラスの人数である
- 3 その他（分からない）



(上段：実数、下段：%)

	回答者数 (n)	問8 (問7-3の回答理由)		
		1	2	3
全体	74	10 13.5	2 2.7	4 5.4
年齢別	20代以下	6 0.0	0 0.0	1 16.7
	30代	8 25.0	0 0.0	1 12.5
	40代	19 21.1	0 0.0	2 10.5
	50代	12 16.7	1 8.3	0 0.0
	60代	12 8.3	1 8.3	0 0.0
	70代	16 6.3	0 0.0	0 0.0
	80代以上	1 0.0	0 0.0	0 0.0
	無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0

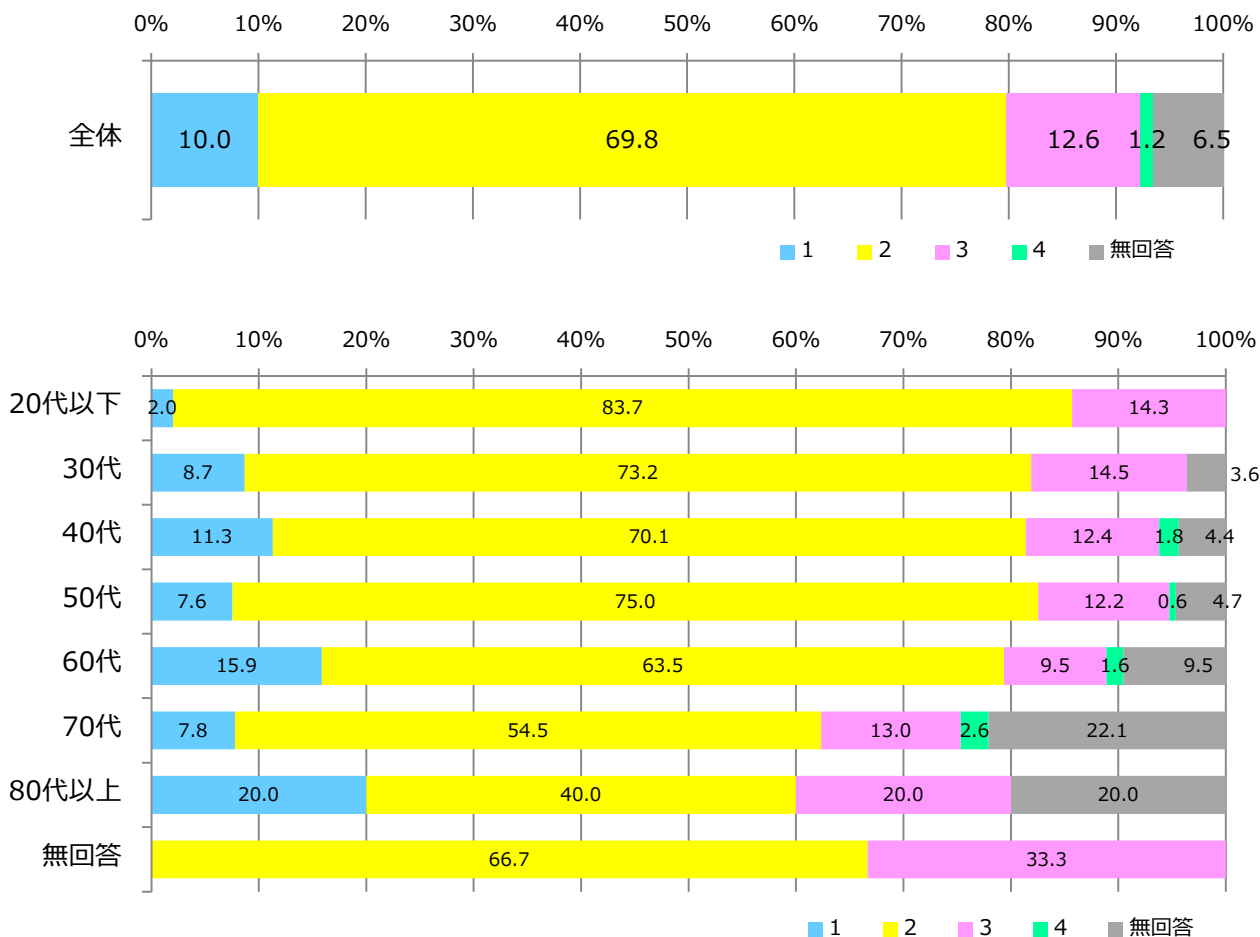
◎各年代別の回答理由

20代以下
中学校にいったことがないから。
30代
どれが良いか、なってみないと分からない。
人数による。
生徒数に応じて。
40代
【問4と同じ】色々でよいと思う。統一できない。
【問4と同じ】それぞれメリット、デメリットがある。
何人が良いか決められないです。
自分の子どもがまだ小さいので分かりません。
【問4と同じ】1学年1学級や複式学級は経験がないので比較のしようがない。それぞれの良さ悪しがある中で答えようがない。
どんな形の学校になるかによって変わると思います。
50代
【問4と同じ】学級数というより1学級の人数ではないのかなと思います。
上庄中学校はとても落ち着いて勉強、部活に取り組んでいると聞いています。1学年1学級でも問題はないのかなと思うから。反面幼から中まで同じ集団というのはどうなのかなとも思うから。
【問4と同じ】子どもはどんな環境でも対応、順応できると思う。
60代
1クラス何人が分からない。
【問4と同じ】生徒数によって変わると思う。学級数によって学校が無くなったり増えたりするのはおかしい。
70代
どれが望ましいと言われても決められないけれど、不幸や不都合や災害や多種多様の難問が出てきたら、その都度懸命に対応していくのが日常の仕事。だから油断大敵の生活が必要。

問9 中学校の1学級の生徒数は、どのくらいが望ましいと考えますか。【単一回答】

- 1 31人以上
- 2 21~30人
- 3 11~20人
- 4 10人以下

全体では1学級の生徒数を「21~30人」が望ましいと69.8%が考えている。年代別では20代以下が8割以上、30代から50代が7割以上で「21~30人」を望ましいと考えている。



(上段: 実数、下段: %)

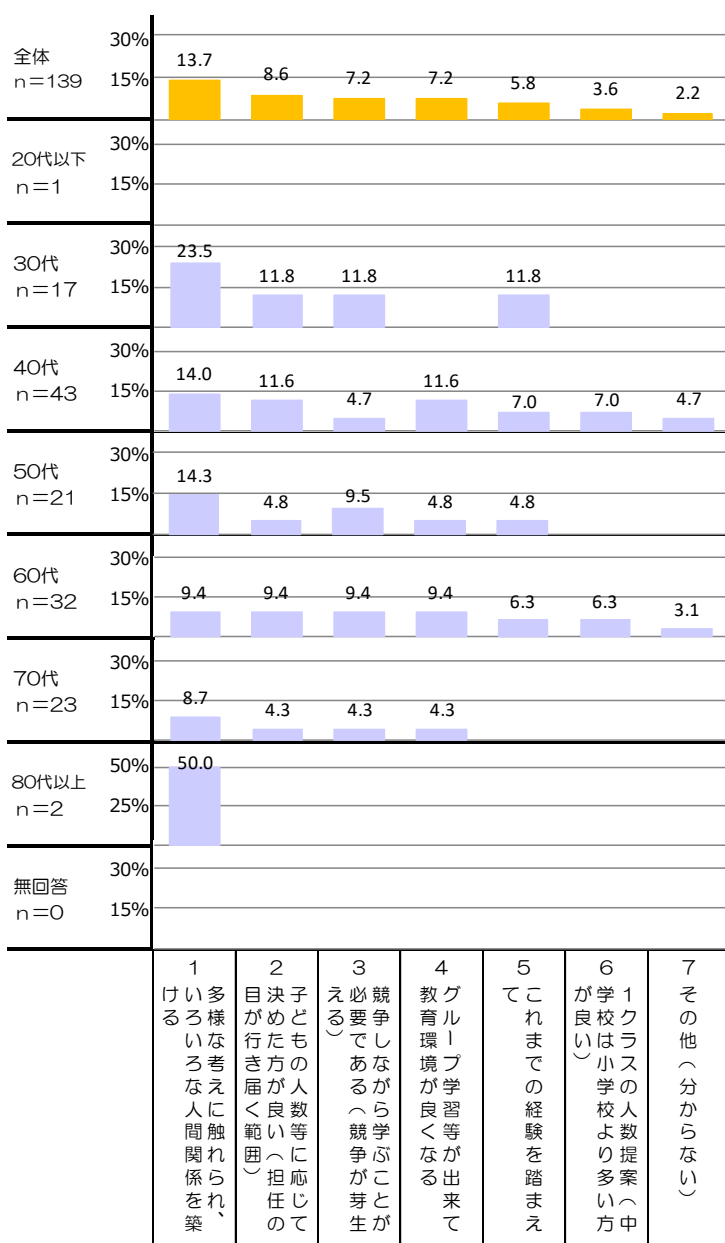
	回答者数 (n)	問9回答					
		1	2	3	4	無回答	
全体	844	84	589	106	10	55	
	100.0	10.0	69.8	12.6	1.2	6.5	
年齢別	20代以下	49	1	41	7	0	0
	100.0	2.0	83.7	14.3	0.0	0.0	
	30代	138	12	101	20	0	5
	100.0	8.7	73.2	14.5	0.0	3.6	
	40代	274	31	192	34	5	12
	100.0	11.3	70.1	12.4	1.8	4.4	
	50代	172	13	129	21	1	8
	100.0	7.6	75.0	12.2	0.6	4.7	
	60代	126	20	80	12	2	12
	100.0	15.9	63.5	9.5	1.6	9.5	
70代	77	6	42	10	2	17	
100.0	7.8	54.5	13.0	2.6	22.1		
80代以上	5	1	2	1	0	1	
100.0	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0		
無回答	3	0	2	1	0	0	
100.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0		

問10 問9で回答された理由について【記述回答】

○問9「1 31人以上」と回答した理由（集約結果）

問9で「31人以上」と回答した、その回答理由を以下の7項目に分類した。全体で理由として多いのは「多様な考えに触れられ、いろいろな人間関係を築ける」であり、特に30代と80代以上にその傾向が強い。

- 1 多様な考えに触れられ、いろいろな人間関係を築ける
- 2 子ども的人数等に応じて決めた方がよい（担任の目が行き届く範囲）
- 3 競争しながら学ぶことが必要である（競争が芽生える）
- 4 グループ学習等が出来る教育環境が良くなる
- 5 これまでの経験を踏まえて
- 6 1クラスの人数提案（中学校は小学校より多い方が良い）
- 7 その他（分からない）



(上段：実数、下段：%)

	回答者数 (n)	問10 (問9-1の回答理由)						
		1	2	3	4	5	6	7
全体	139	19	12	10	10	8	5	3
		13.7	8.6	7.2	7.2	5.8	3.6	2.2
年齢別	20代以下	1	0	0	0	0	0	0
			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	17	4	2	2	0	2	0
			23.5	11.8	11.8	0.0	11.8	0.0
	40代	43	6	5	2	5	3	3
			14.0	11.6	4.7	11.6	7.0	7.0
	50代	21	3	1	2	1	1	0
			14.3	4.8	9.5	4.8	4.8	0.0
	60代	32	3	3	3	3	2	2
		9.4	9.4	9.4	9.4	6.3	6.3	
70代	23	2	1	1	1	0	0	
		8.7	4.3	4.3	4.3	0.0	0.0	
80代以上	2	1	0	0	0	0	0	
		50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

◎各年代別の回答理由

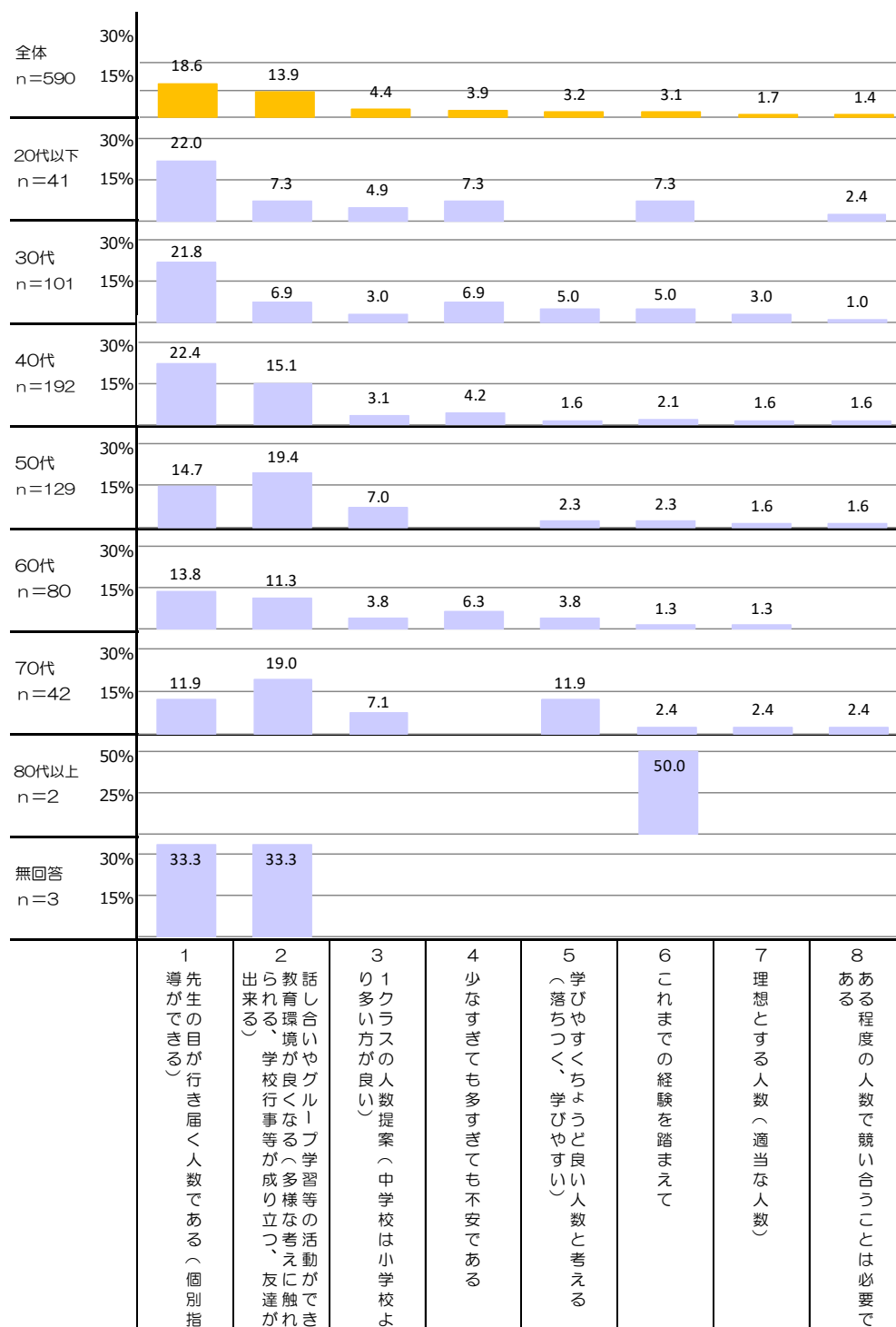
30代
競争意識も芽生えると思うから。
自分の経験でしか分かりませんが充実していました。でも、それ以外の良さを知らないだけです。
中学校では社会へ出る過程でもう少し大きな集団で生活するのがよいのではないかと思います。
多過ぎは先生方の目が届かなくなる。また少なすぎは子どもたちが団体行動をしなくなったり、学級内での競争や1人1人の社会性がなくなってしまうのでほどよい人数で。ただし中学生なので多少多くてもよい、
いろいろな人間関係が築ける。
小⇒中⇒高⇒大と少しずつ広い世界を見れたら十分。
【問8と同じ】より大きな集団での生活を身につけて欲しい。
【問6と同じ】大勢の中で競争しながら学んだ方が子どもの成長につながると思うから。
中学になると3人以上でも良いと思う。自分自身の時がそうだったので。
40代
多感な時期であり、クラス内、学級ごとの競争が求められる。その一方で、クラス替えや他校配置など、配慮(居場所確保)が必要。
1学年100名以上は必要。
【問6と同じ】色々でよいと思う。統一できない。
【問6と同じ】自分の時は40人くらいだったので、30人以下は少ない気がする。昔と違って発達障害の子も少なくないようだが、支援員の方もいるので、なるべくたくさんの方が良いと思う。
少なくとも1クラスで体育の授業や合唱くらいはできるように。
ある程度の人数がいた方がいろんな意見が出ると思う。
今の現状がベストな気がします。
自分は4人だったが特に問題を感じなかった。少なくともよいとは思う。
昔、自分がそうだったので、それ以外想像できない。
それぞれメリット、デメリットがある。
それぞれの地区・環境により変わると思います。
分からない。現状に不満はありません。
小学校と同じく望ましい人数が分かりません。
授業可能な規模でのMAXが良い。
クラブ活動のためにも、ある程度人数が必要なので再編が必要と思います。
【問6と同じ】子どもの人数も減少してきているので、それくらいが良いかと思う。
中学生にもなれば自分で何でも出来るから。
先生の負担が大ききようだったら21~30人がいいですが、31人以上いると勉強もスポーツも張り合いがあるかなと思ったため。
グループになって学習することが多くなるから。
友だちが多い方が良い。気が合う子を見つけられる。
【問6と同じ】15人以上40人以下の範囲、コミュニティが形成される規模。
【問6と同じ】友だちができる、いろいろな話が出るから。
【問6と同じ】望む形も大切であると思うが、あるべき形とは限らない。地域と学校の関わりを含めて、形を造っていく方が良い。
50代
【問6と同じ】多様な考え方を交換しながら成長していくため、なるべく多い人数がよい。
2または3.生徒の環境によって2,3を指示します。理想は2だが、生徒の質によっては3の方が望ましい場合もある。
【問6と同じ】私自身の経験から、40人近い学級が小学校で5クラス、中学校で6クラスあり社会性が身についた。
競争心が養われると考えるため。多人数の方が友人も多くなり楽しめるから。
生徒の切磋琢磨ができる。
教育活動がスムーズにできるために必要だと思うから。
子どもが居るなら多勢の方が多くの経験が出来ると思う。
60代
【問6と同じ】グループ討議、合唱、合奏等、グループ毎に協力し合うことが重要。
数にはとらわれない。
できる限り多くの人数で。
クラスで何か問題が起きた時に4の少人数ではつきつめると解決できない。そして立ち直るのに大変さがあるのでは。多人数の方が寛容になるのでは。
小学校と違って多い方が良い。

【問6と同じ】多くの中でもまれる方が良い。
【問6と同じ】答えられない。
切磋琢磨できる編成。
40人以上いたから。
【問6と同じ】少子化の影響から最低限必要と考えた。先生が目届く人数として少数が良いと考えた。
ちょうど学習的にもいいんじゃないかと思います。
団体で、より大きな行動が出来る。
大勢の中で生活・勉強した方が良い。
【問6と同じ】仲間が多い方が良い。
【問6と同じ】自分の子ども時代を振り返ってです。10人でも20人でも体制が許せば構わないと思う。
70代
多くの人と議論したり相談しながら勉学に励める。
【問6と同じ】可能な限り子どもは子どもの中で生活していくことが人生の面でも望ましい。
色々な学校をどのように活動させるかをもっと考えるべき。子どもを育てるのに一番良い案でやるべき。
【問6と同じ】競争意識が必要。
少ないほど良い。
80代以上
子供は子供から学ぶ事が多いことを考えると人数が多い方がよい。

○問9「21～30人」と回答した理由（集約結果）

問9で「21～30人」と回答した、その回答理由を以下の8項目に分類した。全体で理由として多いのは「先生の目が行き届く人数である」であり、20代から40代にその傾向が強い。50代と70代では「話し合いやグループ学習等の活動ができ教育環境が良くなる」の理由が多い。

- 1 先生の目が行き届く人数である（個別指導ができる）
- 2 話し合いやグループ学習等の活動ができ教育環境が良くなる（多様な考えに触れられる、学校行事等が成り立つ、友達ができる）
- 3 1クラスの人数提案（中学校は小学校より多い方が良い）
- 4 少なすぎても多すぎても不安である
- 5 学びやすくちょうど良い人数と考える（落ちつく、学びやすい）
- 6 これまでの経験を踏まえて
- 7 理想とする人数（適当な人数）
- 8 ある程度の人数で競い合うことは必要である



(上段：実数、下段：%)

	回答者数 (n)	問 1 0 (問 9 - 2 の回答理由)								
		1	2	3	4	5	6	7	8	
全 体	590	110 18.6	82 13.9	26 4.4	23 3.9	19 3.2	18 3.1	10 1.7	8 1.4	
年 齢 別	20代以下	41	9 22.0	3 7.3	2 4.9	3 7.3	0 0.0	3 7.3	0 0.0	1 2.4
	30代	101	22 21.8	7 6.9	3 3.0	7 6.9	5 5.0	5 5.0	3 3.0	1 1.0
	40代	192	43 22.4	29 15.1	6 3.1	8 4.2	3 1.6	4 2.1	3 1.6	3 1.6
	50代	129	19 14.7	25 19.4	9 7.0	0 0.0	3 2.3	3 2.3	2 1.6	2 1.6
	60代	80	11 13.8	9 11.3	3 3.8	5 6.3	3 3.8	1 1.3	1 1.3	0 0.0
	70代	42	5 11.9	8 19.0	3 7.1	0 0.0	5 11.9	1 2.4	1 2.4	1 2.4
	80代以上	2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
	無回答	3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

◎各年代別の回答理由

20代以下
【問6と同じ】実際、私がおその環境の中で充実した学校生活を送ることができていたため、多すぎても少なすぎてもかわいそうだと思います。
先生の目が行き届く範囲。
【問6と同じ】担任の負担軽減。一人一人に合った個別指導を作る時間のため。
少なすぎず、多すぎずがいいと思います。
【問6と同じ】個別対応が行える限界だと思うから。
意見に広がりがある。全体に目が行き届きやすい。
【問6と同じ】30人以上では、担任1人では細やかな指導が難しいと思うから。
【問6と同じ】グループ学習を設定しやすい。目が行き届く上限は30人では？
【問6と同じ】担任が1人1人の児童をしっかりと見ることができる。子供同士の関わりも程よく密にできる。子供の学びやすい環境。
1人の教員がある程度ゆっくり生徒を見れるのに適切だと思うから。
多様な考えが生まれる。
小学校より多くなっても問題ないと思う。
20～25人ぐらいが丁度良いかなと思いました。
【問6と同じ】自分たちのクラスがこの人数でちょうど良かった。
小学校よりはまだ大丈夫かなと。
【問6と同じ】自分がその人数で過ごしたから。
【問6と同じ】1クラスで人数が多いと先生の目が行き届かなかったり大変な面も多いと思う。複数クラスで1クラス少人数の方が先生と親しみやすかったり、クラス対抗が出来たりメリットが多いと思う。プラス多すぎず、少なすぎずの人数だと思う。
【問6と同じ】多すぎても少なすぎても良くないと思う。
30代
多すぎると、見る先生が大変。
人数が多すぎることでの質の低下(問題行動を起こす生徒に巻き込まれる)可能性を考えると、教員の目の届く人数、学習活動を展開しやすい人数とした方が良いのではないかと考える。
【問6と同じ】周囲とコミュニケーション、関わる力がこれから先必要とされる中で、多様な選択肢を提供・経験する必要があると考えるから。
【問6と同じ】多いと授業についていけない子供が増えると思います。少ないと体育の授業で、例えばサッカーが出来なくなるなどあるので、21～30人がいいと思います。
【問6と同じ】担任の先生が目配りできる人数が望ましいから。
先生の目が行き届く人数だと考えるため。
そのぐらいがちょうど良いのではないかと思います。
一番ちょうどいい人数。目が行き届く人数。でも少なすぎてもよくない。
先生がちゃんと1人1人を見てもらえる人数がそのくらいまでかと思うから。
31人以上は先生の目が行き届きにくいと思うため。
自分がそうだった。
24、25人がベストだと思う。24人の場合、6人でも3人でも4人でもグループを作れるから。
自分が思うちょうどいい人数。自分の体験を含む。

授業がやりやすい。評価もしやすい。
【問6と同じ】4人班を4つ以上。でも30までいると見られない。
【問6と同じ】多すぎず、少なすぎず、教員も目を行き届けやすいから。
【問6と同じ】目が行き届く人数。また学び合える人数。体育の授業で単学級で成り立つ人数。
指導しやすく、多様な意見が出やすい人数だと思う。関係性も固定されない。
ちょうどいい(活気など)。
学習・活動をする際多すぎても少なすぎても活動がしにくいと思う。
多すぎると先生が大変だし少ないと気の合う友だちがいないかもしれない。
少なすぎず多すぎず。
自分の世代の頃よりやや少なく。
人間関係を育成していくため豊かな心を育成していくため、ある程度的人数で競い合うことも大切だと思います。
40人程度までは許容されているが30人程度の方が先生の目が行き届くのではないか。
多人数よりも少人数で授業をして欲しい。一斉教育の時代ではないので友だちの意見を聞きやすい、自分の意見を言いやすい環境であって欲しい。とにかく現場の意見、保護者の意見を少しでもいいので反映して欲しい。
大事な時期なので多すぎず少なすぎでお願いします。
少なくてじっくりの環境が減るので、少なくて深く見てもらえると思う。落ちついて勉強できるのではないか。
大人数だと個性が埋もれる。先生が全員を把握出来るのか。
【問6と同じ】あまり少ないと活動の幅もせまいのではと思いますし、多いと1人1人に目を向けてもらえないのではと思うから。
先生の目が届く人数だと思うから。
【問6と同じ】自分の時がそのくらいでちょうど良かった気がするから。
【問6と同じ】先生が1人1人見られるように。
実際の我が子のクラス環境がのびのびと担任の目が子どもみんなに届いていると感じたから。
男女それぞれ10~15人くらいでクラスが構成されているのが自分の中ではバランスがいいのかなと思ったので。多すぎても先生の目が行き届かないのでは。
【問6と同じ】先生が1人1人に目が届く程度的人数かなと思うので。
【問6と同じ】多すぎず、少なすぎず。
あまり少ないと寂しい。
先生の目が届くのに最も多くても30人までと個人的に思う。
【問6と同じ】多すぎず、少なすぎない方が良い。
中学になると31人以上でも良いと思う。自分自身の時がそうだったので。
【問6と同じ】ちょうどいいと感じる人数。
【問6と同じ】20人以下は少ないと思うから。
小学校で積んできた力もありますから、小学校よりも少し多く(多すぎても先生の目が行き届きにくい場合も)。
40代
グループワークができる。
何回も書きましたが、先生が生徒の色々な部分に気付ければ意味がない。1クラス30人以上いて、なんでも感じられるスーパー先生ばかりではないと思います。
同上だが目の届き難い人数はさけたいと思う。
【問6と同じ】自分もその位の数で学校生活を過ごしてきてその人数が適正だと思う。
国、県教育委員会の適正人数を尊重してほしい
【問6と同じ】多すぎると、生徒1人1人への目配りがしづらいと思う。少なすぎると向上心が低下するのではないかな?
【問8と同じ】多様な考え、意見を引き出し、いろいろな人との関わりの中で学びを深めていくためには、ある程度的人数が必要であると思う。
【問6と同じ】先生方がしっかり子供たちを見れる人数ではないか。
自らの経験から。
【問6と同じ】子供達の状態が様々であり、一人の先生だけでは目が行き届かないと思う。指導者(支援員も含め)が2~3人いれば1でもよい。また少人数でも(教職員が多ければ)他校と関われる機会が多くあれば、人間関係力は育成できると思います
先生の目がとどきやすい人数だと思います。
協働できる。
【問6と同じ】現代学校において先生が統制のとれる数の限界だと思うため。
先生が子どもたちをしっかりと見れる人数だと思う。
【問6と同じ】多い方が合う子を見つけやすいかも。
【問6と同じ】先生の目が届く。

多くても少なくても問題があるので25名ほどで。今の子ども教室もそれぐらいなのです。
【問6と同じ】グループ活動で最適である。
【問6と同じ】多すぎるよりも少ない方が子どもが発言する経験が多くとれるので授業への集中力が良いと思う。現高校生を見ていても少人数で育った生徒が勉強面では活躍している。
教師の目が行き届く限界の人数だと思うので。
多すぎず少なすぎず、ちょうどよい人数だと思います。
先生が生徒一人一人に目が行く人数かなと思います。
多すぎるとちゃんと見てもらえない。
多すぎても少なすぎても支障はあるかと思います。
先生の目が届く人数。
先生の目が行き届くため30人までで。
あまり多いと教員の負担増かなと思うので。
先生が全ての生徒に目を向けられる。
人の中に居るからこそ勉強になると思ってる。
勉強、スポーツとも競い合うという点では20~30人くらいがいいと思う。
小学校でしっかり教育を受けていれば多人数でも対応できると思うから。
先生の負担。
1人の先生で30人以上は無理。
中学校ではやはり小学生より大人になり、分別もついてくるので小学校の人数規模よりは多い方がいいのでは。
多様な人と交流できる。
生徒同士で切磋琢磨でき、同時に先生の目も行き届く人数。
多すぎず少なすぎずがいいと思う。
先生の負担がかかりすぎないように。
話し合ったり、グループなどで多様な意見を出したりするには、ある程度の人数が必要。
子ども、先生と仲良くなれそう。
人数が多くても先生の目が届かないと嫌なので。
多すぎず、少なすぎず、目が行き届くと思います。
昔、自分がそうだったので、それ以外想像できない。
それぞれメリット、デメリットがある。
先生が受け持てるであろう、なるべく多い人数。
先生の目がきめ細かく届くぐらいの人数が望ましいと思います。
行き届いた教育が受けられる人数だと思う。
海外並みの編制で目が届きやすく多様な意見を出しやすい人数。
きめ細かな一人一人に十分よりそった指導のため。
【問6と同じ】集団活動を行うのに適切だと思う。
グループ活動をしたり、学校祭などいろんな行事をこなすのに適切な人数だと思います。
多様性。
グループ活動しやすい。
話し合い活動ができたり、教員の目が行き届いたりする人数だと思う。
たくさん意見がクラスの中にあると良い。
多すぎず少なすぎずでよいと思う。
【問6と同じ】20人前後。班活動…1班3~4人×6班 班活動はしたいです。
班活動、4班はほしい。競い合う場、協力し合う場。
【問6と同じ】・多様な意見を交流し合うには20人以上は必要。でも30人を超えると、意見を活発に発言する子の陰にかくれて何も言わない子が出てくる。・児童一人一人をきめ細かく見ることができる。
【問6と同じ】グループ活動ができる、授業で色々な意見が出て、活発な議論が期待できそうだから。
先生が見れる人数だと思うから。
先生の目が行き届きやすいかなと思う。
部屋が狭く感じる。
じっくり向き合ってじっくり手をかけて子どもと先生の距離が近い方がいい。

多すぎず良いのでは。
多すぎず、少なすぎず。丁寧に見てもらえる人数が良い。
少ない人数で楽しく生活が出来れば良いと思う。
多感な時期なので多すぎると子ども大変なのは。
【問6と同じ】先生の目が行き届く人数がいい。
子どもの人数は分からないが少数の方が良い。
【問6と同じ】あんまり少なすぎてもグループなど人間関係が決まってしまうがちになりそう。
1人1人に目が届くから。
ギリギリ、先生が目の行き届く人数だと思います。
あまり人数が少ないと友だちが作りにくい。
思春期の多感な時はバランスが必要だと思う。
【問6と同じ】あまり多すぎると目が届かない気がします。
【問6と同じ】先生の目が届くぐらいの人数が良い。
苦手な子、いじめられている子も先生が気付いてもらえる、ひろってもらえるような人数で丁寧に対応して欲しい。ゆったり学べる田舎の教育。
【問6と同じ】昔は30人学級が多かったように思うから。
人数がちょうど良いと思う。
先生的にそれぐらいでしょう。
ある程度の競争が必要。
クラス人数は少なめで良いと考える。
中学校ではコミュニティ、人間関係を育てる必要がある。全員が主役になれる環境になると思う。
【問6と同じ】ちょうど良い。
【問6と同じ】少なくとも20人の集団での学び、教育が必要。
先生方が子どもたちに目が行き届く人数が良いです。
【問6と同じ】福井県の少人数学級の推進。
先生が30人より多くなると面倒見切れないと考えるため。
【問6と同じ】教員の目配りができるようにすべき。
50代
【問6と同じ】特に中学校では自治活動等に取り組んで、多様な立場や意見の生徒と関わる機会をもたせたい。1学級の人数が少なすぎると、それができないと考えられる。
先生1人で10人程度が目が行き届くと考える。副の先生との2人で20~30人がよいのでは。
中学校での担任経験が3年あります。30人前後は生徒を動かしやすかったです。
先生が1人で指導できる範囲だと思う。
自らの経験から。
自分を見てほしい子が多くなってきているので、一人一人に目を配ってあげるのには24,5人がいい。
2または3.生徒の環境によって2,3を指示します。理想は2だが、生徒の質によっては3の方が望ましい場合もある。
【問6と同じ】大人数だと先生が1人1人見守ってもらえるのか。
【問6と同じ】20人いれば4人グループで5班の活動ができる。
少ない方がいいと思います。
【問6と同じ】教科の学習を進める際に適切な人数だと考える。
【問6と同じ】ある程度全員がなじめる人数かと思う。
適正規模だと思う。
【問6と同じ】クラスの人数としてそれくらいが適当だと思う。
24人、男女同数がベストです。いろんなグループバリエーションが考えられるからです。
【問6と同じ】多様な考え方をを持った人との関わりを学ぶ事ができる。クラス替えも、新たな人間関係を生むことが出来る。
【問6と同じ】30人を超えると教員の目が届きにくい。20人を下回ると多様な意見交流ができにくいから。
一定数があり、先生の目が届くから。
競争心が養われると考えるため。多人数の方が友人も多くなり楽しめるから。
1人1人に目が届く人数だと思う。
話し合い、鍛えあいという意味で適切だと思います。
学び合いができる。

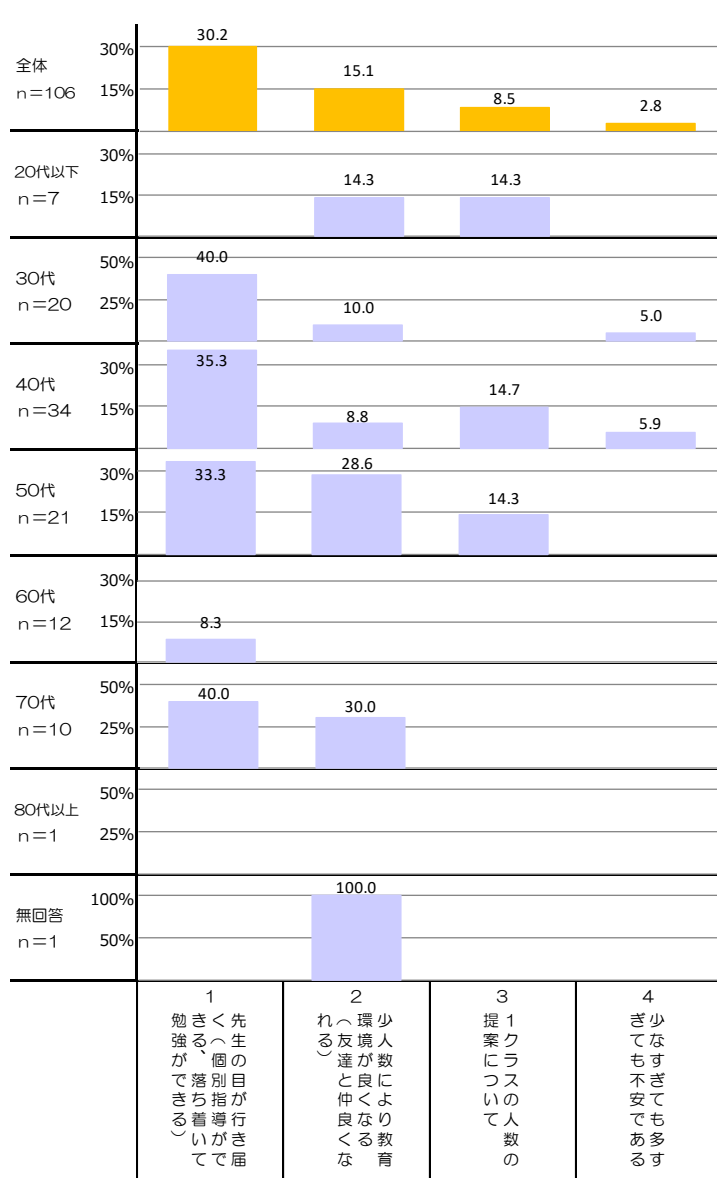
【問6と同じ】話し合い活動、グループ学習など色々な多様な活動ができ、学習が深まる。友人関係もちょうどよい。教員が1人ひとりの生徒へ目の届く人数である。
【問6と同じ】1学級の人数が20人以上であれば、深い学びに向けての授業展開ができると考えるから。
【問6と同じ】1学級20人、学年40人位が短学級でも合同1学級でも学びやすいと考える。
学び合い+多様な考えに触れるため。
活動しやすく、把握しやすい。
人格が決まってくる中で、人数が少なすぎるとうまく対人関係が結べない生徒が出てくる可能性があるから。
1人では何もできない。集団で。
【問6と同じ】20人前後。いろいろな経験を積むことは大切である。
近年、目が行き届かないということは許されない。
【問6と同じ】クラス替えができて人間関係に変化をつけられることは大切。
【問6と同じ】行き届いた集団教育。
【問6と同じ】体育や音楽など集団で学習する授業もあるし、他の教科でも多様な意見を聞くことができる。
30人まで。やはり30人超えると多いと思う。
【問6と同じ】一人一人に基礎学力をつけていくには最低30人までと感じる。
31人以上になると、生徒の把握が難しい。
【問6と同じ】各教科で例示されている実技を指導していく上で最適な人数だから。学級運営や保護者対応していく上で最適な人数だから。
多様な意見が出せ、一人一人を把握できる上限が30人だと思うから。
中学校での学び合いにはこれくらいでもいいのでは。
集団ならではと。
我子は3人とも1学級30人以上でした。先生方がかなり苦労されているのを拝見させて頂き、30人を超えると1人1人の対応が難しいかと思うので。
【問6と同じ】良好な人間関係を作ったり、社会性を育てる、協働的に学び合える環境等を考えるとある程度人数が必要。だが、学力の向上、生徒指導面を考えると30人以上になると難しい。25人程度が適当だと思う。
中学生でも1人1人を大事にして欲しい。
多すぎると子ども1人1人に目が届かないと思う。少ないと部活動がどうなるの。
少しの人数で1人1人見ていただきたい。
21から30人の人数がベストだと思う。
のびのびと。
活動する内容が多く複雑になるから人数が多い方が良い。
小学校同様にクラス運営にも活動にも丁度いい人数だと思います。
【問6と同じ】教職員の目が届きやすく、また生徒同士まとまりやすいのではないかと思います。
先生の目が届く。
【問6と同じ】児童1人1人に目を行き届かせるためには20人が限度かと思う。
60代
多すぎず少なすぎず活動が出来る。
多い方が良い。
【問6と同じ】多くもなく少なくもなく一覧内の平均?
1学年30人以下の方が先生の目が届くと思うから。
協力意識、団結意識の育成。
【問6と同じ】25人くらいまでだと全員に目配りしていけると思う。
【問6と同じ】あまり少ないと個人が目立ちすぎてつらい。いろんな友達ができることがよい
人数がちょうど良い。勉強しやすい。
少なくとも多くてもいけないと思う。
30人前後、学び、理解度から見ると30人までかなと考えます。
部活ができる人数。
教育内容を鑑みてそれぐらいかと。
友だちになりやすい。
【問6と同じ】人は人に育てられる。人間とは人と人との間で人となる。
自分だったら21~30人くらいなら面倒見られると思う。
教師1人1人に目が行き届く状態。

【問6と同じ】多すぎても教師の手が回らないので21～30人が妥当ではないか。
生徒を見廻れる人数。十分相談にのれる人数。
少なすぎても社会性を育成するには困難。多すぎでは1人1人に教師の目が届きにくくなる。
【問6と同じ】私も32名で1学級だった。
【問6と同じ】先生の指導の出来る人数がどの位が良いかわからないが20人位がいいかなと思います。
31人以上で良いと思うが21～30の方が個別指導がしやすい。(教師の負担も軽くなる)
適度だと思うだけです。
多からず少なからずの人数。
はっきりした理由はわからないが、多くもなく少なくもなく、地域愛もよく育まれるのではないかと思います
【問6と同じ】あまり多すぎて児童1人1人に先生の目が届かないのではないかと思う。
望ましい生徒数であると思う。学力、運動、部活、子供達の間にあたためて育てる。
【問6と同じ】多数よりある程度少数が良いと思う。
【問6と同じ】児童数が多いと教員の目が届きにくいのではないか。
【問6と同じ】多い人数だと全員見ることが出来ないのでは。
70代
多様性の中での交流、目標に向かっての結束、グループでの学習や研究活動、その発表会など適正な人数と考える。
生徒数はむしろ少ない程お互いを認め受け入れる力が付く。
1クラスの数が少なく編成されるとクラス数が増え多様性が生まれ教師集団も増え学習基盤が大きくなる。
1集団としての活動の限度。
競争による学力、体力、精神力を強化する。
【問6と同じ】30人学級が定着している。
一学級としてはこれがよいかなど。
グループを作る時、5人×4～6グループが出来る。
【問6と同じ】目が届く範囲の人数と考えます。
【問6と同じ】私たちの代では50人近くだったので先生も大変だったと思う。
クラス数が多くなり、多数の教育者に接する率が増す。
学級担任、教科担任の力量の差があると思うのでこれくらいの人数が適当と思う。
【問6と同じ】少人数でも良い。
1学級の人数が多いのは良くない。
少ないのも良くない。
部活もまともに出来ないようですから多い方が良い。
個々の指導に目が届きやすい。大人数では積極性がなくなる。
中学校でも1人1人の人格、個性を見極める人数は限られるのでは。
生徒の意見交換が出来る場が欲しい。
生徒への目が届くように。
【問6と同じ】学びやすい。
先生の目が届く人数かと。生徒の協調性が出来るのか。
【問6と同じ】様々な活動の中で望ましい集団の意味。
80代以上
教える立場から。
無回答
先生の目が届くように少人数が良いと思うから。
少数で見てもらえた子が自分のいい所に自信を持ち、中学なら少し多めの人数で自分を活かすことに挑戦してもらいたい。

○問9「3 11～20人」と回答した理由（集約結果）

問9で「11～20人」と回答した、その回答理由を以下の4項目に分類した。全体で理由として多いのは「先生が目が行き届く」であり、30代、40代、50代、70代にその傾向が強い。20代では「少人数により教育環境が良くなる」と「1クラスの人数の提案について」が同じ割合になっている。

- 1 先生が目が行き届く（個別指導可能、落ち着いて勉強が出来る）
- 2 少人数により教育環境が良くなる（友達と仲良くなれる）
- 3 1クラスの人数の提案について
- 4 少なすぎても多すぎても不安である



(上段：実数、下段：%)

		回答者数 (n)	問10 (問9-3の回答理由)			
			1	2	3	4
全体		106	32	16	9	3
年齢別	20代以下	7	0	1	1	0
	30代	20	8	2	0	1
	40代	34	12	3	5	2
	50代	21	7	6	3	0
	60代	12	1	0	0	0
	70代	10	4	3	0	0
	80代以上	1	0	0	0	0
	無回答	1	0	1	0	0
				0.0	100.0	0.0

◎各年代別の回答理由

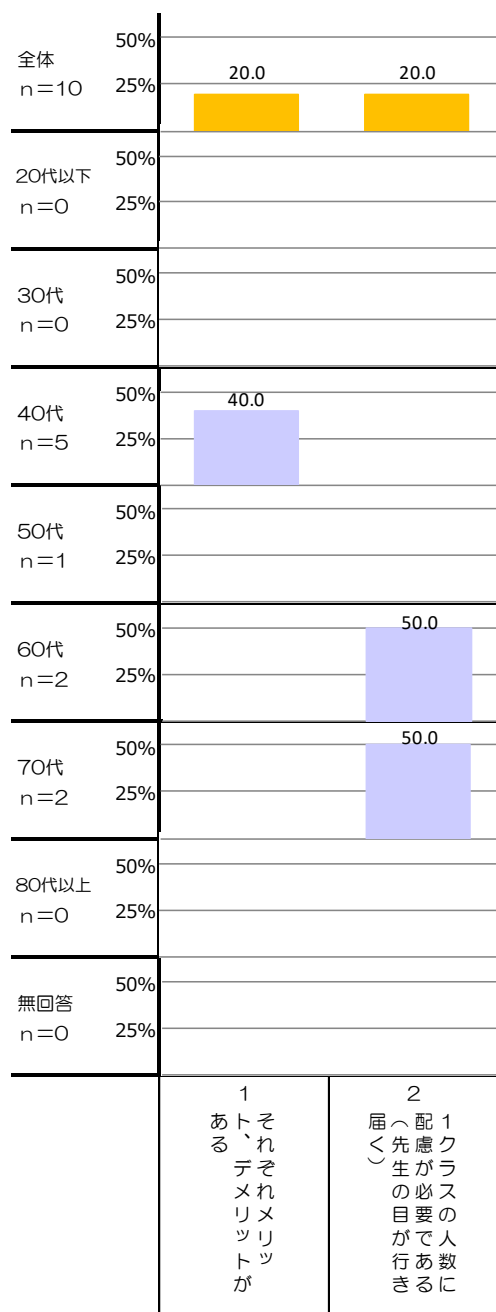
20代以下
20～25人ぐらいが丁度良いかなと思いました。
クラス仲良くなれそう。いじめ問題も人数が少ないと減りそう。
30代
学習面のことを考えると1学級の人数は少なくしてクラスを増やすようにしてほしい。(体育大会のことなどを考えて)
先生の目や指導が十分に得られると思う。
この人数が一番、先生が指導やすいかと思う。もっと人数が少なくても良いが、それは現実的ではないかと思う。でも可能なら少人数で細やかに見て欲しい。
目が届きやすい人数。
【問6と同じ】やはり少人数の方が児童一人ひとりをきめ細やかに見ることができる。30以上は多い。
多すぎると先生が大変だし少ないと気の合う友だちがないかもしれない。
先生が見やすい。
大人数だと発言の機会が少ない気がします。
少なくてじっくりの環境が減るので、少なくて深く見てもらえると良いと思う。落ちついて勉強できるのではないかな。
【問6と同じ】よく知った顔と知らない顔が1学年にあった方が社会性があるから。
40代
【問6と同じ】先生の目が行き届くから
【問6と同じ】ある言語を教える講師をしています。受講生ひとりひとりの習熟度をしっかりと把握して、なおひとりひとりの受講生としっかりとかわりながら、学びを進めていくためには、個人的には20人が限界だと感じています。10人ぐらいの集団が、共に学び、育つ集団としては適しているように、個人的に経験に則して感じます。
【問6と同じ】多すぎるよりも少ない方が子どもが発言する経験が多くとれるので授業への集中力が良いと思う。現高校生を見ていても少人数で育った生徒が勉強面では活躍している。
中学生にもなれば、ある程度、経済効率性を考慮して、1学級の生徒数が多くても良いのかもしれませんが、やはり、少人数の方が良い学習環境なのではないかと思っています。
目の行き届く人数で良いと思うから。
それぞれメリット、デメリットがある。
少人数の方が手厚くみてもらえる。
少人数の方が目が行き届くため。
全ての生徒の顔がお互いにわかる数がよい。
多いのは良くない。
やはり、1、2人のクラスで中学校の充実した活動は厳しいと思います。(少人数はアットホームでいいのですが)ただし、目の行き届く指導には20人以下がいいです。学習指導もしやすいです。
個に応じた指導、支援ができる人数だから。
少人数の方が1人1人に目を配ってもらえそうだから。
小学校と同じぐらいで良いと思う。
【問6と同じ】子ども間でしつけ等に差があるように思う。大人数になると先生の目が行き届かない恐れがある。
【問6と同じ】1人の先生が現実的に見れるのは11～20人ぐらいだと思うから。
多すぎは負の面もある。(グループ化したり、いじめやすかったり)
少人数でクラスが増えるかな。
この位いけば良いなあと思います。
意欲を持って取り組めるギリギリの人数。
【問6と同じ】友だちとのコミュニケーション、先生の目も届く。
50代
部活動ができなくなるのは寂しいです。中学校はある程度の人数が必要だと思います。大野市には中規模校が2校、和泉地区は1校必要だと思います。
先生によく見てもらえる。
【問6と同じ】今の学校では、教員の対応できる人数を超えている。少人数でじっくりと一人一人に関わる環境が大切。
20人前後が学習、行動面でより効果的と思うから。
精神面の発達がおくれているので、個別対応が中学校でも必要である
【問6と同じ】多様な問題に対応したり、いろいろな教育活動を進めるために、10人以上が確保されれば、かなりの活動ができると思うため。
少ない方が目が届く。
20人前後だと、一人ひとりの生徒への指導がゆき届きやすい。

学習面での丁寧な関わり方ができる。
【問6と同じ】多様性を認め、特別な支援を必要とする子どもに対してきめ細かな教育を進めるためには学級編成の基準をさらに下げ るべきである。
一人一人にきめ細やかに指導できる。
個に応じた指導、集団の指導ができる。
少人数の方が1人1人を伸ばすには絶対いいと思うので11～20人にした。
授業に集中して欲しいから。
【問6と同じ】理想は20人ぐらいだと思うが10人以上1クラスにいれば、授業においてもいろいろな意見が出ると思う。また何か を取組むにしても友だちと助け合っていくにはある程度の人数が必要。
60代
【問6と同じ】教育として目が届く範囲だと思うから。
70代
【問6と同じ】理想は③ですがそれ以下でも結構。
少ない人数でも方法により教育効果を上げることが出来る
【問6と同じ】1人1人の指導が多く出来る。
【問6と同じ】少人数の方が目が届きやすい。
【問6と同じ】少人数教育が大事。
中学校でも1人1人の人格、個性を見極める人数は限られるのでは。
教員の指導が能率的では。
無回答
【問6と同じ】少人数で学ぶことが良い。全員にゆっくり教えられると思う。

○問9「4 10人以下」と回答した理由（集約結果）

問9で「10人以下」と回答した、その回答理由を以下の2項目に分類した。

- 1 それぞれメリット、デメリットがある
- 2 1クラスの人数に配慮が必要である（先生の目が行き届く）



(上段：実数、下段：%)

	回答者数 (n)	問10 (問9-4の回答理由)		
		1	2	
全体	10	2	2	
		20.0	20.0	
年齢別	20代以下	0	0	
		0.0	0.0	
	30代	0	0	
		0.0	0.0	
	40代	5	2	0
		40.0	0.0	
	50代	1	0	0
		0.0	0.0	
	60代	2	0	1
	0.0	50.0		
70代	2	0	1	
	0.0	50.0		
80代以上	0	0	0	
	0.0	0.0		
無回答	0	0	0	
	0.0	0.0		

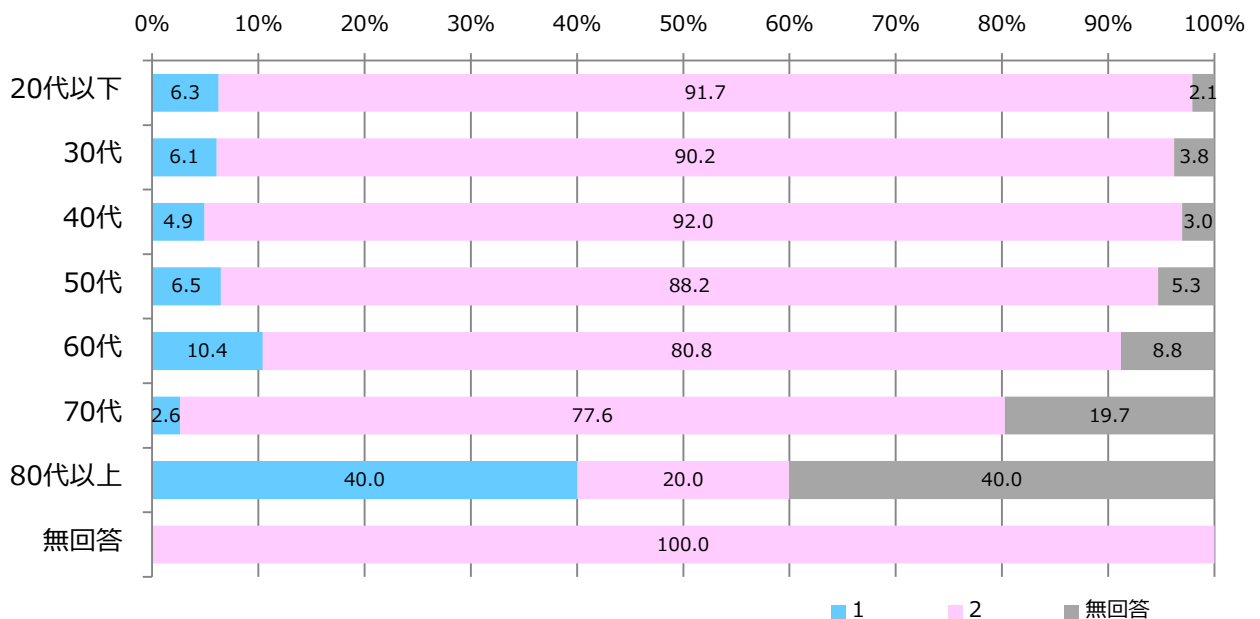
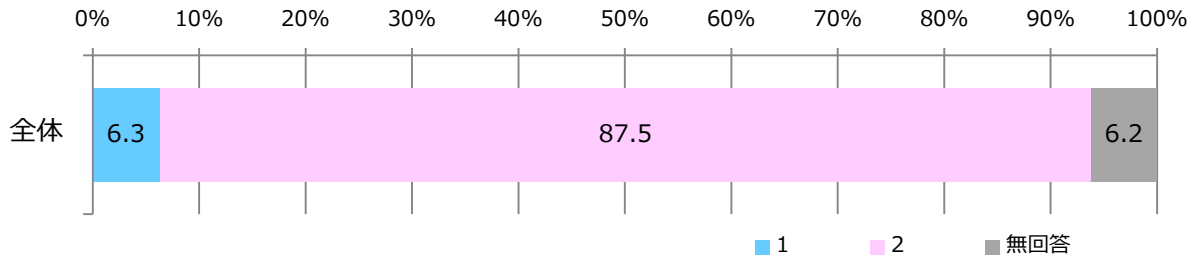
◎各年代別の回答理由

40代
それぞれメリット、デメリットがある。
多すぎは負の面もある。(グループ化したり、いじめやすかったり)
60代
【問6と同じ】先生の目の届く人数がベストと思う。10人以下でも良いと思う。
70代
私はにわとりを飼育しました。1羽あたりの体積が大切で坪当たり×羽が経済的にも環境からも大切だと教わった。

問 1 1 学校の再編で不安なことはありますか。【単一回答】

- 1 ない
- 2 ある

全体では「学校の再編で不安なことがある」が 87.5%と過半数を占めている。年代別では 20 代から 40 代が 9 割以上となっている。



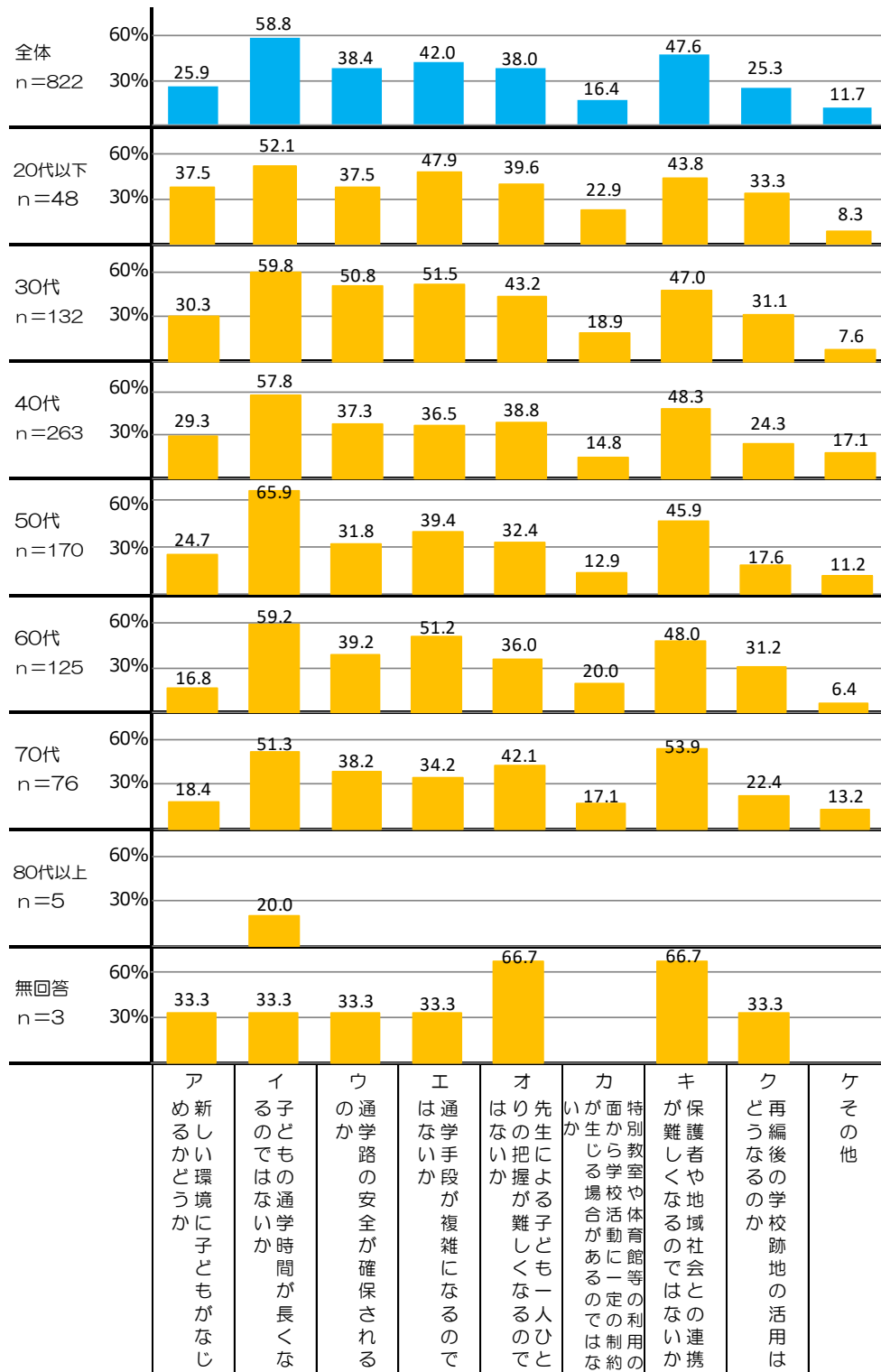
(上段：実数、下段：%)

	回答者数 (n)	問 1 1 回答			
		1	2	無回答	
全体	822	52	719	51	
	100.0	6.3	87.5	6.2	
年齢別	20代以下	48	3	44	1
		100.0	6.3	91.7	2.1
	30代	132	8	119	5
		100.0	6.1	90.2	3.8
	40代	263	13	242	8
		100.0	4.9	92.0	3.0
	50代	170	11	150	9
		100.0	6.5	88.2	5.3
	60代	125	13	101	11
		100.0	10.4	80.8	8.8
	70代	76	2	59	15
		100.0	2.6	77.6	19.7
	80代以上	5	2	1	2
		100.0	40.0	20.0	40.0
	無回答	3	0	3	0
		100.0	0.0	100.0	0.0

問11で「2 ある」と答えた理由について【複数回答】

- ア 新しい環境に子どもがなじめるかどうか
- イ 子どもの通学時間が長くなるのではないかと
- ウ 通学路の安全が確保されるのか
- エ 通学手段が複雑になるのではないかと
- オ 先生による子ども一人ひとりの把握が難しくなるのではないかと
- カ 特別教室や体育館等の利用の面から学校活動に一定の制約が生じる場合があるのではないかと
- キ 保護者や地域社会との連携が難しくなるのではないかと
- ク 再編後の地域社会の活用はどうなるのか
- ケ その他

全体では、問11「学校の再編で不安なことがある」と回答した不安要素で一番多いのが「子どもの通学時間が長くなるのではないかと」で、次に「保護者や地域社会との連携が難しくなるのではないかと」であった。全体的には通学に関する不安が他の項目より多くを占めている。



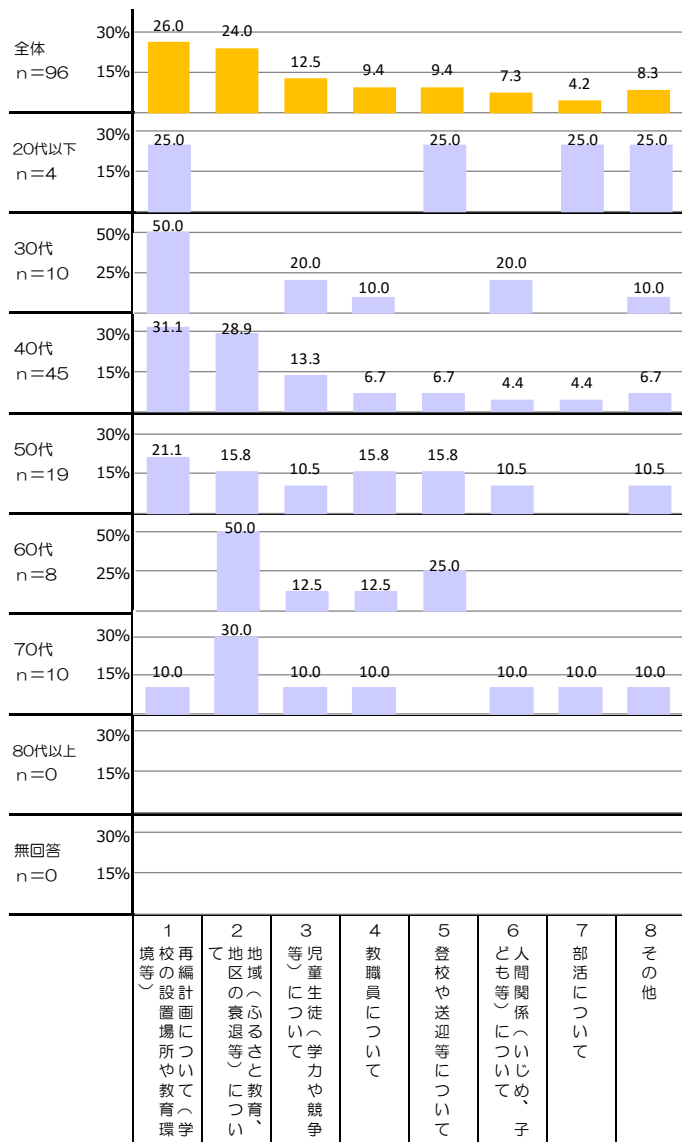
(上段：実数、下段：%)

	回答者数 (n)	問1 1 - 2回答									
		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	
全 体	822	213	483	316	345	312	135	391	208	96	
		25.9	58.8	38.4	42.0	38.0	16.4	47.6	25.3	11.7	
年 齢 別	20代以下	48	18	25	18	23	19	11	21	16	4
			37.5	52.1	37.5	47.9	39.6	22.9	43.8	33.3	8.3
	30代	132	40	79	67	68	57	25	62	41	10
			30.3	59.8	50.8	51.5	43.2	18.9	47.0	31.1	7.6
	40代	263	77	152	98	96	102	39	127	64	45
			29.3	57.8	37.3	36.5	38.8	14.8	48.3	24.3	17.1
	50代	170	42	112	54	67	55	22	78	30	19
			24.7	65.9	31.8	39.4	32.4	12.9	45.9	17.6	11.2
	60代	125	21	74	49	64	45	25	60	39	8
			16.8	59.2	39.2	51.2	36.0	20.0	48.0	31.2	6.4
	70代	76	14	39	29	26	32	13	41	17	10
			18.4	51.3	38.2	34.2	42.1	17.1	53.9	22.4	13.2
	80代以上	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0
			0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	3	1	1	1	1	2	0	2	1	0
			33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	0.0	66.7	33.3	0.0

問11で「2 ある」-「ケ その他」の意見について【記述回答/集約意見】

問11「ケ その他」の意見を以下の8項目に分類した。意見として多いのは「再編計画について（学校の設置場所や教育環境等）」であり、特に30代、40代、50代で多く出されている。60代、70代では「地域（ふるさと教育、地区の衰退等）について」に意見が多い。

- 1 再編計画について（学校の設置場所や教育環境等）
- 2 地域（ふるさと教育、地区の衰退等）について
- 3 児童生徒（学力や競争等）について
- 4 教職員について
- 5 登校や送迎等について
- 6 人間関係（いじめ、子ども等）について
- 7 部活について
- 8 その他



(上段：実数、下段：%)

	回答者数 (n)	問11-ケの回答分類							
		1	2	3	4	5	6	7	8
全体	96	25	23	12	9	9	7	4	8
		26.0	24.0	12.5	9.4	9.4	7.3	4.2	8.3
年齢別	20代以下	4	1	0	0	0	1	0	1
			25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0
	30代	10	5	0	2	1	0	2	1
			50.0	0.0	20.0	10.0	0.0	20.0	10.0
	40代	45	14	13	6	3	3	2	3
			31.1	28.9	13.3	6.7	6.7	4.4	6.7
	50代	19	4	3	2	3	3	2	2
			21.1	15.8	10.5	15.8	15.8	10.5	10.5
	60代	8	0	4	1	1	2	0	0
		0.0	50.0	12.5	12.5	25.0	0.0	0.0	
70代	10	1	3	1	1	0	1	1	
		10.0	30.0	10.0	10.0	0.0	10.0	10.0	
80代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

◎分類項目ごとの意見

※各意見で他の分類項目に関連がある場合は「関連分類項目」の欄に項目番号を記載しています。

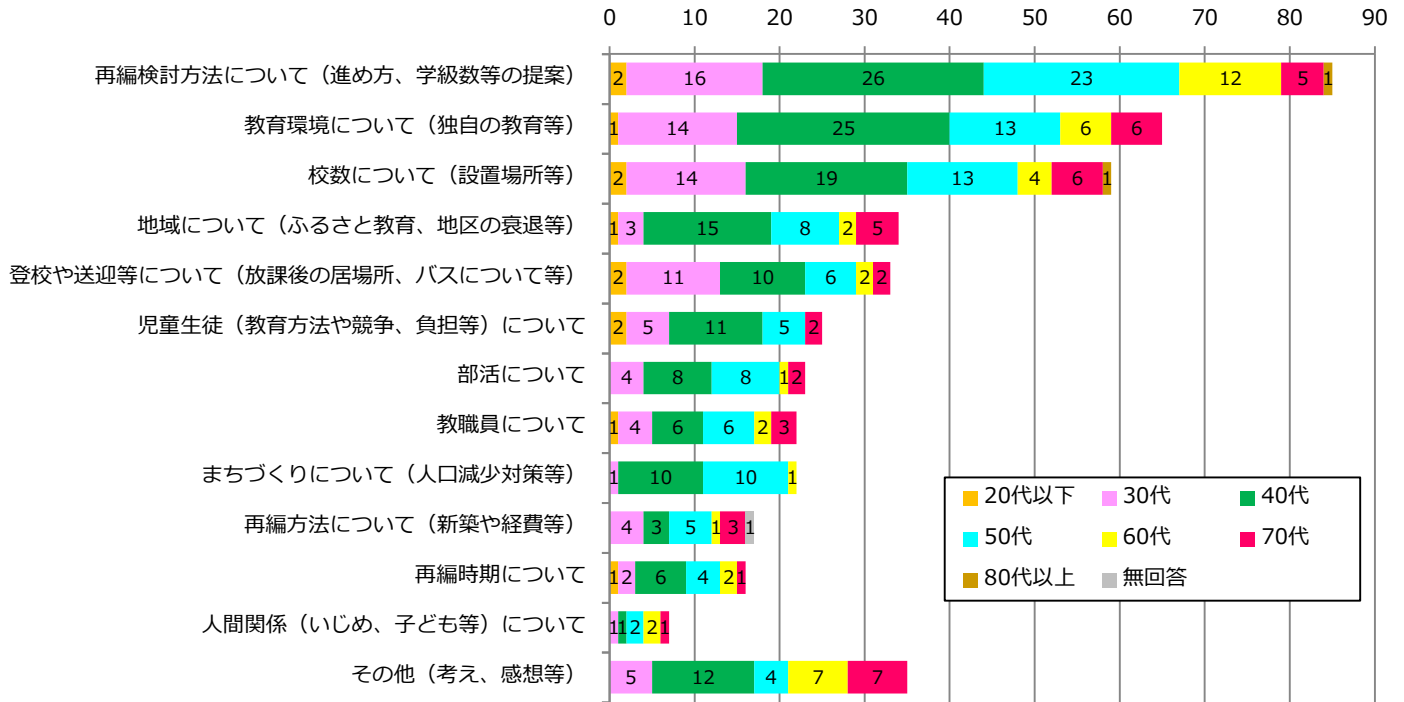
1 再編計画について（学校の設置場所や教育環境等）	関連分類項目
子供のための再編なのか？子供目線の学校作りをして欲しい。土地の利権とか、そんなきかない噂話が出まわるとな進め方はやめて欲しい。	
計画が止まっており、どこに住むか決めかねている人(若い夫婦)が複数いるため、方針を早く示して進めてほしい。	
どこに学校を置くのか。	
何年後に～その後何年後に——という計画が早く出てほしい。	
競争を入れる必要はない。	
いつまでに、どのような形で再編されるのか。	
市長の独断で再編が進められること。	
必要数の学校は残したい。	
本当に子どもにとって良い教育環境になるのかすごく不安です。	
給食がまずくなるのではないかな。	
放課後クラブはどうなるのか。	
西校、開成なので正直危機感がないのが現状です。	
再編予定地はどこになるのか。	
新築に係る予算はどうなるのか。以前と変わるところはあるのか。	
和泉小中がなくなってしまうのではないかな不安。	
特別支援や、気がかり児童への対応は？教員の異動は？富田のときは加配もありました。森目、蕨生の教員も一緒にでした。今回の再編ではどうするんですか。	4、6
学校の設置場所。	
新校舎について（場所、費用など）。	
母校がつぶれる。	
学校に通っている途中で再編のタイミングにあたると何かと大変だろうなと思います。	
空家にだけはしないでいただきたい。	
学校数を減らす事で学校間の交流などがなくなる。	
和泉小中がなくなってしまうことの不安。	
具体的な運営方針が見えてこないこと。	
人数が多くなれば規則を増やさざるを得なくなる。少人数学校の良いことの1つとして個々に応じて臨機応変に対応してもらっていました。個々を尊重しお互いに思いやりという心をこの事からも多く学べていると思うので。そこが無くなってしまいそうなことが気がかりです。	6
2 地域（ふるさと教育、地区の衰退等）について	関連分類項目
地域から若い人がいなくなる。	
各学校の伝統等の継承。	
学校のPTA役員は子供の親だけでなく、その校区で子供達の将来を考える人も参加してほしい。なぜならば、学校の子供は地域の宝として、地域にとって大切にする考え方が必要。	
建物を建てるのが目的でなくより良い地域の教育を目標にされているのか考えたい。	
学校がなくなった地域がなりたつのか？地域の伝統が絶えることもある。	
地域の衰退が進んでしまわないか？	
地域と住民のかかわりが少なくなる。	
地域の消滅。	
地域の衰退。	
地域とのつながりを大切にしたい学習はどうするのか。誰が教えてつないでいくようになるのか。継承していけるのか。	
地域から学校がなくなるとのこと…。	
地域の衰退。	
学校がなくなった地域の過疎化、外国籍の児童が増えていくのでは。	3
小学校がなくなると地区のまとまりはなくなる。	
エ→下校先、児童センターに帰る低学年はどうなる。キ→村部はますます過疎化。ク→人が使わないとさびれる。ケ→地域の伝統芸能、宝…これまで各校で培ってきた地域の愛着は校区が広がった時、どうするのか。	5
地区、地域の衰退化	

学校がなくなると地区がすたれるのではないか。	
地域ごとの特色が薄れるのではないか。	
小学校がなくなるとは地域コミュニティにとって大きな課題（それをどう克服していくか）	
地域から学校を少なくすることが自治体の仕事と考えられる。	
本音は一地区一小学校であってほしい	
地域がなくなるのではないか。	
地域（校区）との交流の場が失われるのではないか。	
3 児童生徒（学力や競争等）について	関連分類項目
学力が低下する。いじめなど人間関係。問題行動、不登校が増える。	6
様々な環境の変化によるストレスが増大するリスクをはらんでいるのでは？	
競争がなくなる。中学校1校はやめてほしい。	
全てではあるが大人が思うより子どもたちは強い。	
放課後、友だち同士が遊べなくなるのではないか。	
再編の過程で大人が発するマイナスイメージの子どもへの影響。	
学校がなくなった地域の過疎化、外国籍の児童が増えていくのでは。	2【再掲】
不登校生とへの対応。	
放課後に過ごす場所（特に小学校低学年）	
小学生低学年は特にストレスがたまるのではないか。	
大規模校になると個人が埋もれる。	
新しい時代に対応できる児童生徒がしっかり学べる環境となるか。	
4 教職員について	関連分類項目
市外に勤めなければならない教員が増える。	
生徒指導面	
特別支援や、気がかり児童への対応は？教員の異動は？富田のときは加配もありました。森目、蕨生の教員も一緒でした。今回の再編ではどうするんですか。	1、6【再掲】
教師の雇用。	
教員の数が減り、異動に困る。	
教員として地元で働けるのか。	
教員の逃げ場がなくなるのでは。	
先生方に負担が片寄り、教育の質の低下するのではないか。	
教職員の減少。	
5 登校や送迎等について	関連分類項目
校区が広くなり保護者の迎えが必要なときにすぐ対応してもらえるか。	
エ→下校先、児童センターに帰る低学年はどうなる。キ→村部はますます過疎化。ク→人が使わないとさびれる。ケ→地域の伝統芸能、宝…これまで各校で培ってきた地域の愛着は校区が広がった時、どうするのか。	2【再掲】
部活動の送迎による保護者の負担。	
スクールバスで登校が苦になる。バスよいか遅刻とか。	
下校時のバスに制限がかかる。	
スクールバスで歩かなくなることによる体力低下。乗り越える力の低下。	
通学手段→スクールバスの手配（各方面に必要台数、多い）	
保護者の子育てに対する不安要素を増やす気がする。	
和泉地区は通学時間が長くなるので子どもがいなくなると思う。	
6 人間関係（いじめ、子ども等）について	関連分類項目
学力が低下する。いじめなど人間関係。問題行動、不登校が増える。	3【再掲】
町(大野市の中心)に住んでいる子供が山の方に住んでいる子供をいじめないか心配	
不登校、いじめ等が発生したらどう対応するのか	
親の負担が増えるのでは。非行。	
特別支援や、気がかり児童への対応は？教員の異動は？富田のときは加配もありました。森目、蕨生の教員も一緒でした。今回の再編ではどうするんですか。	1、4【再掲】

人数が多くなれば規則を増やさざるを得なくなる。少人数学校の良いことの1つとして個々に応じて臨機応変に対応してもらっていました。個々を尊重しお互いに思いやるという心をこの事からも多く学べていると思うので。そこが無くなってしまいそうなことが気がかりです。	1【再掲】
いじめなどが起こらないかどうか少々心配。	
7 部活について	関連分類項目
部活ができるのか。	
子どもが希望する部活動があるのかどうか。	
部活動の地区大会などはどうなるのか。	
クラブ活動が出来ない。	
8 その他	関連分類項目
財政がもつのか。	
大野市全体への影響が不安である。	
大野市の未来が心配。	
ア〜クのように、従来の学校システムの視点からしか選択肢がないこと。	
災害の時。	
自分たちが何かの記念で植えた樹木はどうなるのか。	
どうなるのか分からない不安があります。	
いろいろある。今までいろいろ勉強させてもらって感謝しています。	

問 1 2 大野市の現在の教育環境や将来の教育環境に期待すること、要望することについて【自由意見／集約結果】

自由意見を以下の 13 項目に分類した。意見として多いのは「再編計画について（学校の設置場所や教育環境等）」であり、特に 40 代から 60 代からが多い。次に多い意見は「教育環境について」である。



意見分類	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	合計
再編検討方法について（進め方、学級数等の提案）	2	16	26	23	12	5	1	0	85
教育環境について（独自の教育等）	1	14	25	13	6	6	0	0	65
校数について（設置場所等）	2	14	19	13	4	6	1	0	59
地域について（ふるさと教育、地区の衰退等）	1	3	15	8	2	5	0	0	34
登校や送迎等について（放課後の居場所、バスについて等）	2	11	10	6	2	2	0	0	33
児童生徒（教育方法や競争、負担等）について	2	5	11	5	0	2	0	0	25
部活について	0	4	8	8	1	2	0	0	23
教職員について	1	4	6	6	2	3	0	0	22
まちづくりについて（人口減少対策等）	0	1	10	10	1	0	0	0	22
再編方法について（新築や経費等）	0	4	3	5	1	3	0	1	17
再編時期について	1	2	6	4	2	1	0	0	16
人間関係（いじめ、子ども等）について	0	1	1	2	2	1	0	0	7
その他（考え、感想等）	0	5	12	4	7	7	0	0	35
合計	12	84	152	107	42	43	2	1	

◎分類項目ごとの意見

※各意見で他の分類項目に関連がある場合は「関連分類項目」の欄に項目番号を記載しています。

1 再編検討方法について（進め方、学級数等の提案）	関連分類項目
義務教育学校など、ヨコだけだけでなく、タテのつながりもこれまでより強くなるような形も講演をきいてよいなと思いました。何れにせよ、先入観だけでなく、まずは私たちが知識を備えたうえで子供の目線にたって議論しなければならないと感じました。そのような意味で今回お話を聞いたのは非常によかったと思います。ありがとうございました。	
今ある校舎を使って、少しずつ計画を立てて合併していくといい。大きな学校を作るのは、難しいのでは。子供の負担が大きい(精神的)財政的にも。	6
大野高校の空き棟を活用した奥越中高一貫など高校まで大野で育てる環境。再編による新校舎、既存教室の改修に合わせて、IT環境と人材確保、養護児童、生徒空間の確保。地域の支えで行っている行事が学校にとって不可欠なものか、各校で地域協議会を活用して洗い出し、そのうえで学校の機能を地域ごとに固める。	2, 4
大野の温かさ、大野の良さを変えずに、将来の子供たちの成長を考えたものを行政・家庭・地域・学校が協力して考えていく必要があると思う。	
現在の生徒数は200名弱で、小学校で1学級の児童数を20～25名とするならば市内で8～10学級、中学校で1学級30～35名とすると6～7学級である事から、平均的な生徒数、学級数を維持してほしい。	
人数合わせの統廃合ではなく、市単位でなく、県レベルで根本見直す必要ありと思う。小・中学生に行うアンケートを高校生にも実施していただきたい。	
地域の子供たちの為(先生の為でなく)の統廃合にしてください。	
教育現場で働いています。1学年1学級以下の学校が10/15です。1学年2学級以上の学校には、いろんな人間と関われるチャンスが単級のそれよりも多いと思います。教員数もありますから、多様な活動を子供に用意できると考えます。22世紀に向かう大野の教育百年構想(教育内容、人材育成、ハード面)が必要だと思えます。	2
義務教育学校など様々な形を模索して子供達にとって最善の教育環境が築けることを望みます。	
義務教育学校をはじめ、いろいろな学校のあり方をご講演でお聞きし、そういう視点もありだと感じました。最後のフロアからの意見をお聞きし、みんなが納得する結論はやはりとても難しく、ていねいな議論をつみ重ねていくことが大切だと改めて感じました。学校再編について考えていくことは、大野のまちづくりを考える事、もっと幅広い年齢の方が参加して話し合えるとよいと思います。	
再編は、元案のようにするのではなく、児童数の減少をみて徐々に行う。再編するなら早めに指示をしてほしい。	
松木先生からのお話をお聞きしてとても勉強になりました。知識、視野も少しは広がりました。いろいろな考え方をもとにもっと思考を深めたいと考えました。学校再編は必要だと思っていますが、多くの観点からじっくりとした今日の様な話し合いが地域の中で広がればいいです。久保教育長の熱い想いをお聞きしてとてもなつかしく嬉しく思いました。「自身のある子に…」地域の一人としても育てたいですね。地域の一人として何ができるか考え、少しでも力になりたいです。	
教育環境よりも市の行政の都合が優先されないことを願う。	
児童、生徒ファーストをお願いします!	
大野市の人口減少にともなう、学校の統廃合は今に至る問題となった今、効率良い整備を行うことを考えることは仕方がないと思う。しかし、ここで考えていかなければならないことは今生きる子供たちを大野市の教育現場はどういう育て方をしていくことが大切かをまず考えてほしい。私は子供たちが大野に向けてくれる成長を期待していくことが、教育の目標となること大切ではないかと思う。そのためには大野市が市として将来に向けてどのように発展していくのかしっかりとビジョンを持ち、その夢が子供たちの成長に大きく影響を与えることを願い、子供たちと大野市の発展が共に大きくふくらんでいく、そうした教育を目指してほしい。	
望ましい一学級の生徒数、望ましい学級数というものはない。与えられた生徒数、与えられた学級数に基づいてその中で望ましい教育方法を生み出す、それが教育です。しかもその数は何年も前から人口統計上分かっているので、早くから考えるべきです。	
上庄、尚徳、和泉中学校の環境と開成、陽明中学校の環境を比較すると、学力や安心感の点から、人数が多い方が良いとは思えない(高校勤務時代に見聞きした情報より)。小学校から荒れが始まっているとの情報もあるため、そのあたりの現状も含めて、小中学校統廃合の議論を進めていただければと思っています。また、各地区に向いて実施する意見聴取のみでは、各地区の利害のみの把握に終わるため、地区を超えての話し合いや議論もあるとよいと考えます。公募だとか関心の高い人しか来ないため、無作為抽出により多くの市民を巻き込んでの話し合いが出来るとよいのではないのでしょうか。いずれにしても、様々な立場、年齢の方で集まり、話し合っていく過程が全地域的な合意を探ることにつながっていくような気がいたします。	
もっと人口が少なかった幕末の大野藩の考え、よく考え地域を発展させようとした人々に習うことが大切。学校教育の一部に先人の理解、それに対して子供達、生徒達の意見を持たせ考えるチャンスを与えることが大切。	
学校再編について意見を述べ合うことは、学校のあり方、まちづくり、社会教育、公民館のあり方いろいろな視点につながると思えます。	
学校再編は止むを得ない面もあると思うが、地域住民の声をよく聴き地域全体で合意が得られるようにして、拙速に進めるのは避けてほしい。(大野市の中学校に勤務する一教員としての願いです)	
市としての未来に子供たちがどう関わっていくか、そのために子供たちに何を求め、どのように育てていくかがはっきりしていない。教育理念がお題目になっていないか。	
児童、生徒数の減少が著しい中で、幅広い視点での検討が必要だと感じた。大変良い企画だったと思います。	
・再編はやむを得ないと思っているがこれから孫の世代、そしてその次の時代を考えていかねばと思う。・小学校は地域にやはりあるべきだと思う。	4
問3～11の設問の意図がよくわからない。まるで誘導しているかの様に思う。これで、結果ありきになってしまっただけでは市民が困惑してしまう。基調講演にあったように様々なモデルを検証し、大野に合った再編方法を考えて欲しい。再編＝中2校、小1校から頭が離れないのが大野の人達の様だが、まずそれらを払しょくした上で話し合っただけで進めて欲しい。☆スピード感は大変だが、期限をつけてしまっただけでは残念である。問題点を残さないようにとことん話し合う場を設けてもらいたい。	11
問3～9のアンケートの意味がわからない。これをとって何に使うのかなあ。各学校にはいろいろの事情もあるだろう。	

今日の講演内容は改めて学校のあり方、地域のあり方を考える良い方向性を示して下さいました。複合学校のあり方をじっくり考え、専門家(松木建一先生等、経済人等)を交えながら未来の大野像を描き、地域発展と力ある子供の育成を構想していきたい。学区も当然見直す必要がある。→福井県一の教育大野を目指したい。	
英語への対応が必須となるなか、AIへの対応など子供たちが身に付けなくてはならない知識は多様化している。学校再編による規模の拡大で多様な人間との切磋琢磨できる環境も必要だが、大野市として他市町に比べて特色ある教育方針、内容を打ち出すことが必要。学校再編というハードの議論と同時にこの様なソフトの議論も進めてほしい。	6
幅広く色々な方法で市民の声を聴き、この後の再編計画に反映してもらいたい。	
全国的な問題であり、大野市の教育環境について特に違いがあるとは思えない。学校再編の問題を選挙の争点としたり、反対の人の意見が多く取り上げられるのが残念。総論賛成各論反対(再編は必要だが、うちの学校がなくなるのは反対)の市民性が露骨に表れて残念。行政主導で再編を進めるのは困難。	
様々な意見はあると思うが、早く方向性を決定して進んでいただきたい。個人的には統合を進めていった方が良いと思う。	
現場の先生方の意見や案を集約して、再編に向けて提案をしてほしい。2～3案ほど選択肢を示していただけると意見を出しやすい。冬は親の送迎、教育施設にふさわしい場所などを考慮してほしい。	5
給食の質をできる範囲で見直していただきたいです。	
教員の方、生徒ともに負担が少なくなる方向で再編検討いただけたらと思います。	
今週は上庄地区のほんの一部だと思うので全保護者に対してアンケートなどがあると良いのでは。	
再編について不安要素を少しでも解消して欲しいです。子どもの意見を中心に聞いて考えて欲しいです。アンケートはホームページで公開では見ない人が多数になると思うので配付してほしい。	
小学校再編は阪谷と富田で行ってよいのではないかと思います。具体的に数を上げるのは難しいですが2校よりはもう少し多くても良いと思います。複式をとるような学校や1学年数人のところは再編を進めた方が良いと思います。小学校の間はある程度的人数で中学校は部活動や文化祭、体育祭のことも考え、2校ないし1校の編制に賛成しています。早急に進めてほしいです。制服に関しては絶対になくさないで欲しいです。私服代にお金をかけたくないです。	3
今回はいろいろ言える場があったので良かったと思います。小学校は少しずつ減らして欲しいです。もっと人が集まって話し合いができたらと思います。	3
制服は高価でない物(制服はあった方がよい)、通学の安全確保。通学に時間がかかりすぎないようにしてほしい。	5
子どもが少なくなってきたことは事実ですが、複数クラスでいろいろな友だちとふれあえるような学校(小中学校とも)であると良いと思います。	
学校がなくなった地域のその後が心配。学校ない=若い人が離れる。	
学校関係者は概要が決まってからが、やらねばならないことがたくさんある。学校、地域、行政と十分な検討、協議をして、円滑に学校をスタートさせるための時間が確保されなければならないと思います。	
他のグループの説明を聞いて、「～すると～なる」「経費や運営は～なる」「教員は～なる」というデータを示してほしいです。再編を本気で考える案、ex「大野市として特色ある学校づくり」など早期に考えていく必要があると思いました。	
今日のは教員同士の意見交換会。これは組合がすべきこと。教育委員会と教員の意見交換の場を設けてほしい。	
再編の理念(考え方)を定めるべきだと思います。(例)「地域を愛する人を育成するための再編」など大前提の考え方をはっきりさせた方が考えやすいのではないかと。	
大野市型の教育を考え、広い視野・視点で考えていかなくてはならないと感じた。	
学校教育のみならず社会教育面での同時改善が必要だと思います。	
1学級の人数などは大野では決められないと思うので、アンケートをとってもむなしい気がする。「大野に帰ろう」というCD制作・配布ではなく、将来、大野に住みたい、戻ってきたいという人が増えるような政策もすすめてほしい。	9
大野で生徒が残る(将来も)ような再編、街づくりとセットで行うのが望ましいと思う。	
子どものための教育を第一に考えて欲しいと思います。	
行きたい学校を選択できるようにしてほしい。	
感情ではなく客観的論理的に考えることが必要。	
少子化ということで小学校、中学校を少なくしてまとめれば良いという考えではなく、子どもにとって何が大事なのかを1番に考えて欲しい。	
ハード面よりももっと根本的なものを大切にしたい。子どもの成長を一番に考えて欲しい。(気持ち、情緒)	
ランドセルでなくナップランドにしたい。(安価で丈夫)	
大人の意見ももちろん大切ですが、子どもがどう思っているか聞いてみたいです。	
小学校はあまりたくさん的人数だと1人1人をしっかり見てもらえないような気がするから親としては心配。	
中学校1、小学校2にする前にもっと早く少人数の学校に対する対応を考えるべきだと思います。未就学児の親の意見も重要なのでは。	3
中学校1、小学校2は少なすぎる。中学校2、小学校4ほどあると良いのでは。スクールバスの充実(2便以上)、ランドセルや通学靴の指定の廃止(開成中は外ズックで通学すると聞き、嫌だと思った。)	3、5
児童館の設置等、夫婦共働き、祖父母同居なしでも街はずれの庄上等で子育てがしやすくなるような環境を作って欲しい。	
保育園単位で回っていただきありがとうございます。地区別説明会ではなかなか意見がしにくいので今回のようなワークショップをまた開催していただきたいです。	
保護者の意見も大事だと思いますが、現役の小学生、中学生にも意見を聞いて欲しいです。	
小さな不安や小さな問題にまず取り組んで欲しい。	
子育て講演を聞いて、陽明中、陽明校区スタンダードでいいなと思いました。すべての小中学校でも実施していただければいいなと思います。免許所有教員の配置が理想ですが、小中学校すべてにせめて非常勤講師の免許所有教員が配置になるようにしてほしいです。	
市民の意見を取り入れて応えてくれることを望んでいます。	

安易な再編ではなく、しっかりと考えていただければOKだと思います。	
新しい教育環境 = 学校教育 + 児童・高齢者福祉 + 生涯学習、新しい学校 = 学校 + 児童センター + 公民館。子どもと高齢者の課題を一緒に解決する。日中の総合学習や放課後児童クラブに高齢者が育て役となる。下校時のスクールバスを高齢者も活用し、地域の足とする。また地域内で活動する様々な人が課外授業の先生となり、地域全体で学校を育てる。人口減少が進む中で子ども達を見守る「目」が地域内で少なくなっている。子どもが成長する過程で出来る限り多くの「目」で守り育てる環境を作る必要があるのではないか。	4、5
問いのすべてにおいて、全体人数とそこから本人が感じ取れるものがあると考えての答えになります。煮詰めても全員がOKとなることはないと考えていますので、低学年がいかに過ぎやすいか、負担が少ないかを考えて欲しいです。	
ビジョンを示して欲しい。若い世代に届くメッセージを。中学校部活動の弾力運用（下校→スクールバス→部活（各校のグラウンド、体育館））、大野高校と開成中連携の中高一貫の可能性調査・提示を。	
制服姿は決めた方が良いが、費用の掛からないもので統一して欲しい。	
最終的な検討（見直し案）をまとめる組織などのメンバー人選は幅広い段階から選ぶべきです。区長会に過大な期待は危険。	
早く方向性を示して下さい。	
小学生と中学生の成長の違いを配慮。	
大野らしい教育を考えて下さい。大野にはいっぱい良い所があるはずです。	
保小中一貫にして、3年単位の学年にしてはどうか。	
校区を無くして、学校を選んで通学できるようにする。それぞれの学校に特色を持たせる。（たとえば、体育の好きな子の通う学校、少人数でやっていく学校、勉強を重視してすすめる学校など）	
小規模特認校制度による学校運営。	
特色ある学校づくりは重要だと思います。勝山ではバドミントンをしたいため校区を越えて隣の中学に行く生徒もいます。大野の中学でもそれぞれ自信が持てる部門を作ることが重要だと思います。和泉ではスキーに力を入れてます。冬の大会に向けて授業を他校より早めに進めて大会で休んでも支障がないようにしてもらってありがたいです。私たちは移住してきて20年近くなります。移住条件は住居・職場・医療・教育です。何とか整えて欲しいです。	
へき地教育の戦略を望む。	
世界の孤児を大野市に受け入れて、学校の維持を考えたらと思います。	
私はこの再編の話になぜ違和感を感じていたのだろと思うていました。ここに来て分かったことは世の中は中高一貫をしようと言っているのに小中をピックアップしているの違和感を感じていた。1人の人間の人生としてもう少し検討いただきたい。私は少数人数の方が人格形成に良いと思う。それは自分のこととして物事をとらえるからです。社会人になっても役立つ心です。マンモスにするとどうなるのでしょうか。	
決定前に市民に説明することは大切。	
小学校の制服は自由にする。	
大野らしい地域とのつながりを大切に小学校と中学校は別議論を。大野高校校舎を活用した中高一貫校の検討（高校まで大野で学ぶ子どもたちの選択の自由）。プログラミング、英語教育必須の中、地域・ふるさと教育をおろそかにしないで欲しい。	
再編 = 小規模校は統合されるイメージだが、そればかりではないといった再編法にして欲しい。	
大野の良い点を伸ばせる方向性で。	
2 教育環境について（独自の教育等）	関連分類項目
子供達が安心して通えるように、心温まる環境を作って。	
現在の教育環境良いと思います。将来の教育環境はわかりません。	
大野高校の空き棟を活用した奥越中高一貫など高校まで大野で育てる環境。再編による新校舎、既存教室の改修に合わせて、IT環境と人材確保、養護児童、生徒空間の確保。地域の支えで行っている行事が学校にとって不可欠なものか、各校で地域協議会を活用して洗い出し、そのうえで学校の機能を地域ごとに固める。	1、4【再掲】
「進取の気象」…ただ現状維持もしくは少人数の集団生活では、甘えしかない!!厳しい現場にあつてこそ強い人間が育つ。	
再編は不安ではない。集まれば職員数も増え、より専門的な教育が受けられる。	
教育現場で働いています。1学年1学級以下の学校が10/15です。1学年2学級以上の学校には、いろんな人間と関われるチャンスが単級のそれよりも多いと思います。教員数もありますから、多様な活動を子供に用意できると考えます。22世紀に向かう大野の教育百年構想(教育内容、人材育成、ハード面)が必要だと思います。	1【再掲】
家庭・地域の良さを子供たちが感じることができる大野の教育環境はそれだけでも素晴らしいこと。	
自ら課題を見つけ解決していく力をつけるには、人的環境が大切であると思う。物的環境だけに目を向けられないように考えていく必要がある。	
今日のシンポジウムは、とてもよかったです。これからも、この様な場を設けていただき、考える機会がほしいです。子供は子供から学ぶ考え方に賛成なので、人数が多く、見本となる環境を用意したい。	
市独自の教育環境も大切にしていくこともよいと考える(一人一人を大切にすきめ細やかさ)	
世の中(世界)のスタンダードを学ぶ事ができる教育環境が必要と考えます。あまりにも「井の中のかわず」という面が多く見られるので。社会に出てから学ぶのでは遅い。社会に出る前の世界標準の土台作りが大切。再編についてはメリットデメリットを考えたうえで、総合的に再編に賛成である。和泉地区のみ義務教育学校設置の案もありだと思う。	3
より良いより良いというが、上げばかりを求めていくと足元がぐらつくというような気がします。人口減少するから……というのではなくて、人口減少するなかでも人生道を歩く人としての基盤を育てる子供時代を生きる(学ぶ)学校教育として教育環境を準備する。ふるさと大野になるためにも大野独特の環境づくりをつくる。このシンポジウムを開催していただき本当にありがとうございました。	
市外に在住している者ですが、身内が大野で暮らしている様子を目の当たりにすると、大野市の現状に合った教育方針があっても良いように思います。他の市町では学ぶ事が出来ない、体験することが出来ないすばらしい社会資源があるので、それを活かしたアクティブラーニングをすすめられても良いと思います。	4

学校再編のことがやはり注意を引きますが 100%同意は得られません。現在の、未来の子どもたちのためにより良い教育環境を目指してよろしく願います。一保護者、一地域の住民として精一杯協力します。	
他校との交流の回数を増やしてほしい。	
他校同士の子どもたちによる 1泊2日でのスキー教室やイベントなどを、市教委から各機関に働きかけをしてほしい。他校との交流について、可能な範囲で回数を増やしてほしい。特に低学年においては、保育園からの友だちといった意味でもお願いしたい。	
個人個人が昨日より今日できる事をほめてもらえる教育環境が良いです。	
大野市は、これまでも、これからも優秀な人材を育てていくことができる落ち着いた環境と優れた教育者に恵まれていると思います。残念なのは、国家が望ましいと考える教育に忠実過ぎて、大野市のために活躍する人材育成の視点が弱すぎたと思います。ぜひ、もっと我がままに人材育成していただきたいと思います。優秀なサラリーマン、官僚の卵をたくさん育てても、大野に帰って来て貢献していただいたのは、大野市役所にお勤めの皆様を含む、ごくごく一部です。安倍内閣は、本社機能を地方に移転するなどの数値目標を掲げましたが、達成にほど遠い状況です。都会の大会社に入って世界と競争、活躍することを目指す人材よりも、身近な地域の課題をみごとく見つけ、その解決策をビジネスに仕立てて、小さな雇用を生み出せるような人材育成に重きをおいていただきたいと思います。福井県が大野市にある高校の数を減らそうとしてきたら、大野市立高校にするか、勝山と組合をつくってでも残して、独自性のある教育、大野に必要な人材、いずれ大野に帰って来て、大野の持続的発展に貢献する人材を育成する仕組みをつくっていただけることを願っています。学校再編の問題を機会に、村部の子育て世代は、これまで希薄過ぎた危機感が高まっていると感じます。地域の存続、活性化のために、このままではダメだと考える人も増えているようですが、そこから、何をどうすればよいのか、途方に暮れている状況だと思います。シニア世代との温度差もあるように感じます。他市では、公民館からコミュニセンターへの衣替えが進み、地域住民による自治、地域経営を後押ししているように感じます。これまで地域は市役所に大きく依存してきたと思いますが、このままではいつまでたっても、自立は望めないと思います。大野市でも地域の自立を後押ししていただける仕組みづくりを願っています。	9
子どもたちのことを考えた、子どものための教育環境を整え、そのために細かな説明や準備をしてほしい。	
大野市ならではの教育、指導内容を盛り込んでほしい。大野市の良さを理解、説明できるような人材に育てる教育をしてほしい。	6
子どもが1日どんな様子だったのか分かるシステムがあるとよい。	
現在の教育環境はとても良いと思います。	
子どもが安心安全第一に学校生活ができるよう望みます。現状に満足しています。	
今の教育環境に不満はありません。この地域は過疎が進んでいるので学校がなくなるとさらに人口が減るという不安があると思います。移住してくる人が減るのではないかと。中学校の特色などを生かしてほしいです。	4
クラス人数が少ないので他の学校との交流がありますが異動も大変なのでICTを使ってできないか。小学生には市街までの通学は無理です。	
子どもたちがワクワクするような教育環境をお願いします。和泉の教育環境は大変恵まれており、是非大野の子どもたちも和泉に来て欲しいと思います。	
和泉小中は必ず残して欲しい。この地域は大野にとって全国に発信していける魅力ある特色になり得ると思う。私が和泉で生きる意味をなくさないでほしい。合併の場合、学校はどこか。和泉か。親が迎えに行くのか。スクールバスで早い時間に帰ってきて困る。ICTの充実ならネットで授業をつなげばよいのでは。少人数であることの方が良いように聞こえる。和泉にきたからこそ輝けている。学力も落ちずについていっている。自信を持っている。多人数だったら無理。	3、5
大野市の「ふるさとを愛する」教育のおかげで、中2の娘(小1から5人のクラス、8年目)は私以上に和泉を愛しています。和泉からどんな大変で不便でも「出たくない」と言っています。和泉っ子は全員が郷土愛であふれています。おかげ様です。和泉っ子であることを誇りに思っています。この教育環境を大人が勝手に壊してしまうのは本当にどうなかなと思います。財源、人口減など確かに厳しいですが大野の先生方が築いて下さった「ふるさとを愛する中学生」を何とか残していただけたらと強く思います。この子たちを守るような再編を強く要望します。	
大野の良さは何か、大野の教育の良さ、特徴は何かを考えると、地域とのつながり、少人数での手厚い指導ではないかと思う。それをなくさないようにしないと、人口減少、少子化は変わらないと思います。魅力ある大野の教育を大切にほしい。	
グループ活動の中で、小さい学校こそよいところがあるという話が出ました。中学を1校にしてしまうのは危険でないか? ワンクッションおいて2校にしたい。あれだ中学は、マンモス校…立て直し大変です。上庄、尚徳は平和ですが、小規模校の良さでは?	3
デジタル教科書をどの学校、どのクラスでも使えるようにしてほしい。	
ネットワークや情報を上手く活用できる力がつくような教育。新築する際、施設の造りをその分野の専門家や現場で働く人の意見をしっかり取り入れ、使いやすい学校にしてほしい。	10
情報化社会、AI化、いろいろ社会が変化していく中で学校で学ぶ子どもたちが、少しでも確かなことを学べるように…と考えると、せめて中学校では免許外を教える必要がないように教員を配置したり、小学校にも外国語教師を配置したりを望みます。	
低学年もデジタル教科書を整備してほしい。気がかりは児童生徒に対応できるよう担任以外の人員配置をお願いしたい。	
情報化、学校でのネット環境を整えてほしい。教員のやるべき仕事かどうか、仕事の見直し。	
1人1台のタブレットは必要だと思います。	
いろいろな学びの場を子どもが得られるようにしてほしい。学校が教育の中心だけでなく、コミュニティの中核としての役割も考えてはどうか?	4
専門家がどの学校にもいる環境がよい。(各教科、SC、栄養教諭など)	
IT化をもっと進めて欲しい。	
生きる力、たくましいを育んだ教育を。	
部活動がある程度の種類があって欲しい。すごく美味しいあったかい給食。	7

冬場なかなか外に出られないということを活かした活動があると良い。	
全教室にエアコンをつけて快適に授業を受けられるようにしてあげてほしい。	
子どもの立場になって一番良い環境を考えてもらいたい。	
基本的に再編賛成派です。今日、教育委員会の方々のお話を聞き、大野の教育環境のことや子どもたちのことをよく考えてくれているのがすごく伝わってきました。反対意見のある方ももちろんいますが何より大人たちの都合より子どもたちのより良い未来のために再編を考えていてもらいたいと思いました。ランドセルを統一したいという意見もありましたが、私は個人個人の自由がいいなと思いました。ランドセルでもナップザックでも何でも良いのが良いです。	13
小学校以上だと学校と親の関わりがすごく減ると聞いたので、意見できる場、相談できる場を定期的に設けて欲しい。	
発達障害児がどういう形で学校生活を送るのか、いまいよく分かりません。自分の子どもは発達障害の診断を受けているので、他の子と同じように授業を受けられるのか、もしパニックを起こしたら学校側でも対応してもらえるのか、また言語遅滞のある子どもにどのような対応をしてもらえるのか、心配は尽きません。自分の子ども1人のために学校にいろいろな要求をしても良いのか、それも迷うところです。	
ハコモノにこだわらず不登校でも学習の遅れが出ないよう、ICTの活用や学校から遠い子が部活動が出来るよう、移動や学習に差が出ないかが心配で配慮して欲しい。	7、10
少人数だからこそその密な関わり合いが望まれる。また小学校だけだと専門の先生の配置も出来ればお願いしたい。	
上庄地区で育った小学校時代の思い出、地域の人との関わりがあったから今の自分がいます。ここで子育てしたいと考え、大野に戻って来ました。小学校の時期は環境がすごく大事だと思います。心豊かな大人に育てて欲しい。是非上庄小学校を残して下さい。よろしくお願いします。	3
A I、ICTを最大限に利用した教育。地域を巻き込んだ教育。	
小学校は少人数で先生の目が届くようにして欲しい。	
再編について、子ども、親、地域のつながりがあるような環境にして欲しい。	
田舎なら田舎らしさで押し込めたい。①病院が遠い。②警報(雨・雪)が出ても学校が休みにならない。(大雪は昨年休みになるようになったが)警報は1つの判断基準にならないのか?③南校、東校しか分からないが表現、ダンスの演技が運動会にないのは練習時間がないから?前半は学年ごとに50m、80mを走るのを見ているばかり。④ランドセルが重い。経済的に負担。ナイロンリュック型でもよいのでは。⑤雨、雪など室内で幼児が遊べる場が少ない。(狭い)	
大きな学校で多数の学校職員による多種多様な考えの下、子どもの多様な可能性を花を咲かせる学校環境が望ましいと思う。	
二言目には「働き方改革」、「学校行事だ」と言ってPTA活動やふるさと学習を削る校長、教頭なので困っている。統合前に学校と地域を離すことが目的かとかんぐってしまう。	
ルールを少なくして欲しい。きまりは多くの方が一緒にいる時、あった方がスムーズに過ごせると思います。しかし、きまりがない方がよく考えられるになる。失敗して怪我をする、させる、迷惑をかけて気をつけるようになるなど、身を持って学ぶようになる。きまりがあった方が良い結果にはやくたどり着きますが、きまりが少ない中で動くことは自分で自分の行動を考えるようになる。選択するようになるための練習になったり、家族で話し合ったりすると良いチャンスになり得ると思います。	
ICT機器を利用した教育にこだわる必要はないと感じます。	
学級の中で10人未満でも構わない。その方が良いと考える。保護者(親)がいることはおかしいのか。そう考える親が少ないのは時代遅れなのか。	
子どもがのびのびと育って意見を述べられる環境。	
プールの回数を減らさないで欲しい。監視員であるならPTAとも連携できると感じるので回数を維持して欲しい。例えば市内の各学校持ち回りで回数を維持して欲しい。子どもの楽しめる機会を増やして欲しい。保護者と学校が相談して決めるようにして欲しい。	
自信を育む学校に期待します。	
これからの時代、ICTなどをどんどん活用して同じ空間にたくさんの人を集めるのではなく「つながる」ことを大切にしていけばいいのではないかと思う。	
タブレットは賛成です。これからはグローバルな社会に対応が必要です。	
大人数になるとすべてに大変。子どもにも教員にも目が行き届かない。	
3 校数について(設置場所等)	関連分類項目
現在の小学校10校、中学校5校は小学校は今のままの学校数で良いと思います。中学校は大野市内2校和泉地区1校の計3校が必要だと考えます。	
小、中一体でもいので村部にも学校を。	
中学校1校、小学校2校の再編は急ぎすぎだと思う。中学校2校、小学校3校又は4校に再編してほしい。	
小10、中5で小規模校が多すぎ。少なくする方が教育的にベターと思う	
大規模の学校を作ってもいいが、必ず小規模校を少しは残してほしい。もし、不登校になった場合、居場所を残してあげて欲しい。学校はすべての人が学ぶ場であるという言葉にはっとさせられました。子供が少ないなら、地域の人がコミュニケーション力(これからの時代を生きる力)を高める人材となるのはどうだろうかと思いました。	4
幼、小、中、高の連携をお願いしたいと思います	
子供に進みたい道を選択させることのできる環境を作ることが必要。中学1校、小学2校には反対。中学2校、小学4校を考えてほしい。	
世の中(世界)のスタンダードを学ぶ事ができる教育環境が必要と考えます。あまりにも「井の中のかわず」という面が多く見られるので。社会に出てから学ぶのは遅い。社会に出る前の世界標準の土台作りが大切。再編についてはメリットデメリットを考えたうえで、総合的に再編に賛成である。和泉地区のみ義務教育学校設置の案もありだと思ふ。	2【再掲】
義務教育校として現行の小学校を4年制として次を3年制の統合学校として2校程度にし最終を2年制の統合校としてはどうか?	
より一層の小中連携、そのために1つの小学校から2つ以上の中学校に進学しないような校区にする。	

<p>学校の数は減らさざるをえないと思うが、個性ある学校や指導スタイルを工夫し、必ず2クラス以上の学校を作るべき、とは考えなくてよいと思う。少人数の学校で、細やかに対応してもらえたり、自分の活躍する場が多くなって自尊心を高めることもできると考える。街に集中させるのではなく、校区や行政区を見直し、大野市の東西南北に学校が残るようにしてほしい。そのための産業誘致や行政再編を市は考えて欲しい。これまでに小さい学校を出た人は人間的によくないのか?決してそうではなく、大野の人のよさは一人一人を大切にされた教育を受けたからではないのでしょうか。</p>	9
<p>中学校の規模について問題があると思いますが、小学校はこのままで、どうしても統廃合が必要なら最小限に。中学生は体力もあるので市で1校でも和泉中は分校として残す。地域の住民であるためにも小学校の統合は最小限に。特に有西小(めいりん)から子供たちが通ってくるのには大反対!!あのすばらしい建物、環境が大人だけが使用するようになることには大反対!!あのかわいい子供たちの声、姿があるからこそ亀山周辺がにぎわっていると思いますよ。</p>	
<p>素案の時に提案した小中の義務教育学校を上庄に作ることを検討したのですか。もしそうでないなら、最初から合併ありきだったということだと思います。松木先生の言った、デイケアとの共有など新しいアイデアをどんどん取り入れてほしい。教員の働き方改革を考える上でも、部活動の事を再編の議論にするのはおかしい。部活は学校単位でなく、社会教育の中で行う仕組みをこの際取り入れてほしい。</p>	7
<p>中学1校小学2校なんてとんでもないです。百害あって一利なしです。市民の意見をよく聴いていくべきです。</p>	
<p>バランスのよい校数、クラス内の人数、先生数でお願いしたい。もっと保護者が関わってもよいと思う。</p>	
<p>人口減による再編は必要だが小4校、中2校は必要だと考える。中規模以上の学校に再編してほしいが、するなら早くしてほしい。教育予算確保のためにも再編は必要。</p>	
<p>中学校5→2、小学校10→4~5くらいではどうでしょうか。</p>	
<p>中学校はやむを得ないと思います。(部活、学習面含め競争心を養うため等)</p>	
<p>中学校2校、小学校4校ぐらいがよいと思う。</p>	
<p>少しずつ合併を進めていくことがよいと思います。変わっていくことが不安で変わることが嫌だと思うけど、今のままでいいのであれば変わらなくてもいいのかなとも思います。少ない人数でもいいことがたくさんあると思います。</p>	
<p>学校の再編はいずれなると思うが和泉地区は例外として学校を残すか、それが無理ならば冬期間は分校として残してほしい。理由は冬期間、国道158号のなだれが心配なため。</p>	5
<p>部活や特殊授業、学校の人数の説明をしっかりと話していますがこれでは小学校は人数トップ4、中学校はトップ2を残そうという印象が受けるのに無理やり1中2小という結論になって、説明と結論が結びつかない。違和感しかない。小中一貫校という案はないのか。新しく建てなくていいし。</p>	10
<p>少子高齢化が進んでいるので将来統廃合というのも仕方ないかなとは思いますが乾側小を出来る限り残して欲しいと思います。いい段階を踏んで子どもたちに負担がなるべくかからないようにしてほしいです。今日はいい機会を設けていただいてありがとうございました。</p>	
<p>小規模校を望む大規模校の児童が入学できるようにしてください。(いわゆる特認校化を検討して下さい)乾側は複式学級専門の小学校として再生しおおのの多様な教育を体現する場として残して下さい。将来に亘って強い大野を維持するためにも10の小学校は全て残すべきだと思います。</p>	
<p>富田小と一緒にしてほしい。早いうちになるべく子どもの負担が少ないうちに。早めになるなら再編を。</p>	11
<p>小中一貫という考えはないのか。</p>	
<p>若い人の子どもの育てやすい地域一番を目指して人が減るのを和らげてほしい。話を聞いて中学校1校は是非やめてほしい。</p>	9
<p>子どもがスクールバスに乗り遅れた時の措置が必要。この際、中学校1校にして20人学級を多くしても良いのでは。</p>	5
<p>小学校再編は阪谷と富田で行ってよいのではないかと思います。具体的に数を上げるのは難しいですが2校よりはもう少し多くても良いと思います。複式をとるような学校や1学年数人のところは再編を進めた方が良いと思います。小学校の間はある程度的人数で中学校は部活動や文化祭、体育祭のことも考え、2校ないし1校の編制に賛成しています。早急に進めてほしいです。制服に関しては絶対になくさないで欲しいです。私服代にお金をかけたくないです。</p>	1【再掲】
<p>今回はいろいろ言う場があったので良かったと思います。小学校は少しずつ減らして欲しいです。もっと人が集まって話し合いができたと思います。</p>	1【再掲】
<p>中学校の部活は社会人など外部講師で運営し、全中学生が好きな部活に入れるように、大野1チームでの検討を行う。中学校1校は駄目だと思ふ。学校区という考えを捨てて、中学校2、小学校4くらいにする。和泉小中は好きな特色ある所へ行けるようにする。人口の減らない工夫、移動に困らない交通環境をつくってほしい。バスについて最初に乗った子どもが、直で行けば5、6分の乗車時間でいいのをぐるっと回ること30分かかることになるかと哀想だと思ふ。</p>	5、7
<p>和泉の学校は残し活用してほしい。</p>	
<p>少人数教育を特色にしてほしい。学校での部活をやめ、市全体のクラブ活動にすれば良い。保護者参観や懇談会が職場で重なり参加できないことがある。</p>	7
<p>和泉小中は必ず残して欲しい。この地域は大野にとって全国に発信していける魅力ある特色になり得ると思う。私が和泉で生きる意味をなくさないでほしい。合併の場合、学校はどこか。和泉か。親が迎えに行くのか。スクールバスで早い時間に帰ってきて困る。ICTの充実ならネットで授業をつなげばよいのでは。少人数であることの方が良いように聞こえる。和泉に来たからこそ輝けている。学力も落ちずについていっている。自信を持っている。多人数だったら無理。</p>	2、5【再掲】
<p>学校再編は当初の計画通り進めてほしい(他の市町に比べて実行が遅い)今、小中学校の子どもを抱える親の立場として宙ぶらりんの状態であるので、一刻も早く再編(小2校、中2校)を進めてほしい!立ち止まって意見を聞くのを終えたら再編を進めるべきである。</p>	11
<p>グループ活動の中で、小さい学校こそよいところがあるという話が出ました。中学を1校にしてしまうのは危険でないか?ワークショップにおいて2校にしていきたい。あれだ中学は、マンモス校…立て直し大変です。上庄、尚徳は平和ですが、小規模校の良さでは?</p>	2【再掲】
<p>とにかく早くやってほしい。 中学校は2校!</p>	
<p>分校方式を真剣に検討してみてもは?減らさずに増やす!なんておもしろい。</p>	
<p>新しい学習指導要領に沿った最新の設備を持った学校にして欲しい。そうすれば、新築・学校が1校、2校でも親は通わせたくなくとも思います。</p>	10

全校児童で 20 人を下回っている学校がある。他の学校規模から考えれば 1 クラスの人数と同じくらいの人数です。集団行動の面、他者との交流という面から特に小規模になっている学校は 1 日でも早く統合をしていただきたい。	11
中学校 1、小学校 2 にする前にもっと早く少人数の学校に対する対応を考えるべきだと思います。未就学児の親の意見も重要なのでは。	1【再掲】
中学校 1、小学校 2 は少なすぎる。中学校 2、小学校 4 ほどあると良いのでは。スクールバスの充実（2 便以上）、ランドセルや通学靴の指定の廃止（開成中は外ズックで通学すると聞き、嫌だと思った。）	1、5【再掲】
義理のお父さん、お母さんが教員をしていたのですが、見直し案は反対で、いきなり小学校 2 校は通わずの不安があるそうです。	
出来るだけ現状維持を希望します。	
上庄地区で育った小学校時代の思い出、地域の人との関わりがあったから今の自分がいます。ここで子育てしたいと考え、大野に戻って来ました。小学校の時期は環境がすごく大事だと思います。心豊かな大人に育てて欲しい。是非上庄小学校を残して下さい。よろしくお願いします。	2【再掲】
地域の皆さんの話を聞いていると小学校は残したい。中学校は統合賛成という方が圧倒的に多いと思います。先生方、教育委員会の方、誠実な対応ありがとうございました。どんな形になっても最終的に市民は納得されると思います。	
一度に小学校 2 校に編成するのは無謀ではないか。例えば 1～4 年は各地域に残し、5・6 年が本校に行く等、段階を踏んで進めていくのはどうでしょうか。地域に学校を残して欲しい。学校がなくなると地域が廃れていくと思うので。	10
中学校は減らした方が良い。	
中学校 1 校にするのは反対です。各学校での説明会の後、素案が急に変更にならないようにしていただきたいです。いろいろな全ての人の納得する結果にするのは大変だと思いますが子どもたちの明るい未来のためによりしくお願いします。	
中学校は 2 校くらいでいいと思います。小学校は今のままでいいです。	
教育長自ら丁寧に保護者の話を聞いてくださりありがとうございます。大野市は自然が豊かで人との温かいつながりもあり人間も温かい地域だと思っています。ぜひ、その魅力を大切に都会ではできない教育をしてもらいたいと思います。都会から戻ってくる子育て世代は子どもの頃に田舎で学校で楽しい経験をしたことを自分の子どもにもさせたくて戻ってきていると思います。企業誘致の話もありますがどんどん学校が減っていく地域だと知り、他県から人は移住してこないと思います。都会では出来ない少人数制の手厚い教育や自然の中でののびのびと生きる力を育む経験が出来るのが売りになると思います。上庄地区はまとまりが良く、地域活動も盛んだと思います。これは保育園から中学校まで同じメンバーということもあると思います。少子化で中学校の先生が確保できないため中学校は統合しても小学校は残して欲しいです。そして、小さいうちに徒歩通学して基礎体力をつけたくましい子どももまた大人に育てて欲しいです。お願いします。生きる力をつける教育として、心が折れない頼もしさ、高校卒業したら誰でも炊飯、味噌汁を作れてボタン付け、手提げかばん作りくらい出来る家庭科。	5
中学校 2 校、小学校 4 校の再編を望みます。あまり少ないのはどうかと思います。学校があることでお互い、切磋琢磨出来ることもあるのでは。	6
再編について中学校 1 校、小学校 2 校は少ないと思う。特に中学校 1 つは少ないと思う。学校が少なくなることにより、人口流出はより進むと思うのでクラス数や 1 クラスの人数が多少少なくなっても良いと思うので学校数はしっかり考えて欲しい。	
和泉特区にして学校の枠をなくした活動を増やしても良いと思う。(スポーツ、伝統芸能) 和泉に来たいという家族、独身者に貸せる家、またそういうことで地元と間に入ってくれる窓口が欲しい。ネット検索ですぐ分かるようにして欲しい。和泉が限界集落にならないためには学校は必要だと思う。子どもたちはどう考えるのか知りたいと思った。	4
複式学級のない小学校へ→再編は必要。当面は、乾側小→西校と下庄へ、小山小→西校と南校へ、阪谷小→富田小へ、まず第一に実行すべき。小学校 3～4 校、中学校 2 校は最低必要。校舎は既存のものを使用する。	10
現在の校舎を利用し、段階的に進める。最終的に計画の小 2、中 1 で現在の建物にしたらどうか。具体的(案)を示す。公民館の再編も含めて行う。有終西小はいろいろな意味で大変良い。	10
将来、大野市は小学校 2、中学校 1 にならざるえないと思います。その時、大野市らしさとかにこだわらず、市以外、教育機関や大学などと連携して良い教育をして欲しいと思います。	
最近、町中でもシーンとしているなどと思います。人口が減っているんだなど。大野市として学校を核として地域を盛り上げて行こうと思うのなら場所とかをちゃんと考えて欲しい。	9
学校再編は基本的には賛成ですが、段階を追って行って欲しい。いきなり中学校 1、小学校 2 はおかしいと思う。また和泉地区の子どもは長い時間スクールバスに乗らなくてはいけないため、可哀想です。新築にこだわるのは何故。	5、10、11
4 地域について（ふるさと教育、地区の衰退等）	関連分類項目
大野高校の空き棟を活用した奥越中高一貫など高校まで大野で育てる環境。再編による新校舎、既存教室の改修に合わせて、IT 環境と人材確保、養護児童、生徒空間の確保。地域の支えで行っている行事が学校にとって不可欠なものか、各校で地域協議会を活用して洗い出し、そのうえで学校の機能を地域ごとに固める。	1、2【再掲】
里山を守る為に地域保全向上活動を実施して交付金を出したり、中部縦貫道の開通に向けて道の駅を開設するなど農村部への活性化を進める一方で、コンパクトシティ化を進めている。そのままではいずれ里山を守る人々がいなくなり里山は荒れてゆき、道の駅に特産品を出品する人がいなくなる。やはり農村部に人が残っていくような教育環境を守っていくことが大切だと思う。コンパクトシティ化の先に何があるのか？町中に年寄りがあふれ、デイサービスや介護施設が増え、若者は市外へ勤務するようになり、いずれ大野に残るのは年寄りだけになるのでは？	9
地域と結びつきながら、よりよい教育の実践を目指してほしい。	
大野市の自然、田畑を守り育てる人を教育することが必要。又、義務教育無償にどのように接近するかも大事な教育環境。	
大野をテーマにした学習をしていて子供たちは、知らず知らずのうちに大野の事を知る機会となっている。それが大野を大切に思う気持ちにつながっている。	
学校は地域のコミュニティの核であり、学校がなくなることと和泉、上庄、小山、乾側、阪谷、富田地区は慎重にしてほしい。子供は地域の宝です。	
大規模の学校を作ってもいいが、必ず小規模校を少しは残してほしい。もし、不登校になった場合、居場所を残してあげて欲しい。学校はすべての人が学ぶ場であるという言葉にはっとさせられました。子供が少ないなら、地域の人とコミュニケーション(これからの時代を生きる力)を高める人材となるのはどうだろうかと思いました。	3【再掲】
・再編はやむを得ないと知っているがこれから孫の世代、そしてその次の時代を考えていかねばと思う。・小学校は地域にやはりあるべきだと思う。	1【再掲】

学校での子供の教育に観点を限定したアンケートだと思いますが、学校教育に限定したとしても、問3～11では片手落ちと思う。通学距離が遠くなる。地域が学校から遠くなる。市全体の子供の数は学校が減っても変わらないのに、教職員数は激減する。他にもいろいろ、学校教育にのみ関係することとしても影響する要因はたくさんある。本来は、この他に家庭の教育力、地域の教育力の観点でも考えなければいけない。問3～11の内容では、統合して作る学校という部分が抜け落ち、今ある学校がどんな現状だといいかを問うことになる。	5、8
市外に在住している者ですが、身内が大野で暮らしている様子を目の当たりにすると、大野市の現状に合った教育方針があっても良いと思います。他の市町では学が事が出来ない、体験することが出来ないすばらしい社会資源があるので、それを活かしたアクティブラーニングをすすめても良いと思います。	2【再掲】
子どもが大人になってから戻りたい地域、学校になるといいと思います。	
農業や林業、祭りや雪遊びの活用、水や米の活用など大野ならではのそれぞれの地域の特色を取り込んだ教育をしてほしい。(続けてほしい)地域の文化、人材を活用し市外から子どもが呼び込めるような学校(できるなら福井初の特認校)を作してほしい。保育園を教育の一部としてとらえてほしい。保育士の待遇を改善し子どもを安心して預けられるように。放課後、夏期・冬期の子どもが居られる場所を作って欲しい。外でたくさん遊べるように。優秀な教員の育成、獲得に力を入れて欲しい。市外に大野は教育に力を入れているとアピールできるように。部活は校外のクラブ活用など柔軟に対応してほしい。教育と福祉を一体のものだと考え小児医療体制、共働きへのサポート等、大野は子育てしやすいと思われてほしい。勝山、永平寺と比べ今は全くそう思わない。	6、7、9
地域とのつながりを大切にしてほしいと思う。地域の協力がなくして学校はないと思う。学力だけでなく心の教育にも重きを置いてほしい。命の大切さ、感謝の心、他を認めるなど。	6、7、9
地域における子どもを育てる組織、仕組みを見直すことが必要と思います。学区というより、生活している区域のつながりを子育てに生かせる仕組みこそ見直すべきだと考えます。	
どのような形になっても地域と行政の関わり方が大切だと思います。	
今の教育環境に不満はありません。この地域は過疎が進んでいるので学校がなくなるとさらに人口が減るという不安があると思います。移住してくる人が減るのではないかと。中学校の特色などを生かしてほしいです。	2【再掲】
新しい学校の伝統はない、特色はない、地域もない、人がいない、でも子どもだけ多い、地域の協力は無いということになりませんか。	
私は、外部から新採用で和泉に来ました。和泉での地域と深く密着した教育にとってもびつくりすると同時に、とても素晴らしいものだと感じました。この温かさがなくなってしまうといいなあと思います。	
小学校は地域に残してほしい。	
いろいろな学びの場を子どもが得られるようにしてほしい。学校が教育の中心だけでなく、コミュニティの中核としての役割も考えてはどうか?	2【再掲】
地区・地域のアイデンティティが低下することがないような配慮を!	
地域の方の協力はとても大切です。どうこの地域力を学校に生かしていくかの具体的な案を準備していただきたい。その際、教師の負担にならないようお願いしたい。	8
様々な地域の子どもが集まるので放課後の過ごし方や長期休暇の預け先がどうなるのか不安です。子どもが地域から少なくなり村に活気がなくなっていくのを感じます。クラスに配置する先生の数を増やして欲しいです。勉強が苦手、分からない時に手厚く見てくれると嬉しいです。	5、6
小学校がなくなると地区がなくなってしまうと思う。本当に少なくなってからではダメなのか。この環境で子育てがしたいと思える所にして欲しい。人口が減ることばかり考えていてマイナスな感じがする。	9
中学校統合は今すぐでも大賛成。小学校合併は1クラス20人以下になってきたら仕方ないことだと思う。この上庄地区から小学校がなくなると若者、子どもがいなくなる。上庄地区をなくさないためにも上庄のような農村部に再建することも視野に入れて欲しい。	11
ITやAI教育が進んだら、その分、他人の気持ちを思いやる教育も同じだけ大切にしていくべきではと思います。(授業だけでなく学校生活すべてにおいて)再編はすでに決まっていることなのですが、そこに子どもがいる限り学校は残して欲しいと思います。子どもは地域の中で地域の人と共に育てられるのが理想です。	12
新しい教育環境=学校教育+児童・高齢者福祉+生涯学習、新しい学校=学校+児童センター+公民館。子どもと高齢者の課題を一緒に解決する。日中の総合学習や放課後児童クラブに高齢者が育て役となる。下校時のスクールバスを高齢者も活用し、地域の足とする。また地域内で活動する様々な人が課外授業の先生となり、地域全体で学校を育てる。人口減少が進む中で子ども達を見守る「目」が地域内で少なくなっている。子どもが成長する過程で出来る限り多くの「目」で守り育てる環境を作る必要があるのではないかと。	1、5【再掲】
和泉特区にして学校の枠をなくした活動を増やしても良いと思う。(スポーツ、伝統芸能)和泉に来たいという家族、独身者に貸せる家、またそういったことで地元と間に入って貰える窓口が欲しい。ネット検索ですぐ分かるようにして欲しい。和泉が限界集落にならないためには学校は必要だと思う。子どもたちはどう考えるのか知りたいと思った。	3【再掲】
理想とか望ましい生徒数や学級数はあるけれども地域の事情やいろいろな事が考えられるので一概には答えられない。	
地域の一員として見守り隊を楽しくさせていただいています。もっと地域の人を活用してもらえると嬉しいです。地域の人々を活用して若者も高齢者もそれぞれ役割分担が出来るといいです。アンケートで問うことも大切ですが今日のようにいろいろな方が話し合える場があることが、世代の違う人同士が話し合う場が大切だと強く思いました。	
大野市全体的にボトムアップも良いが各地域の独自性を確保したい。	
学校の主人公は子ども。子どもためには学校の先生の環境、そして子どもは地域で育つことが原則で大切だという意見は良かった。	
合併して12年、学校を無くすことは地域を無くすことにつながる。	
学校は地域のコミュニティの核であり、地域の特性を活かしていくべきです。	
5 登校や送迎等について(放課後の居場所、バスについて等)	関連分類項目
小中学校の統廃合を行うことで、解決できる問題があることも理解できますが、どうしても家から学校が遠い家庭の人達は不便に感じてしまうのでは?と思います。この教育環境の変化が、大野市の人口減少などの問題につながってしまわないか少し不安です。	

学校での子供の教育に観点を限定したアンケートだと思いますが、学校教育に限定したとしても、問3～11では片手落ちと思う。通学距離が遠くなる。地域が学校から遠くなる。市全体の子供の数は学校が減っても変わらないのに、教職員数は激減する。他にもいろいろ、学校教育にのみ関係することとしても影響する要因はたくさんある。本来は、この他に家庭の教育力、地域の教育力の観点でも考えなければいけない。問3～11の内容では、統合して作る学校という部分が抜け落ち、今ある学校がどんな現状だといいかを問うてることになる。	4、8【再掲】
安全に通学できる環境でないと、それが可能な市町に転出される方が増えてくると思う。	
現場の先生方の意見や案を集約して、再編に向けて提案をしてほしい。2～3案ほど選択肢を示していただけると意見を出しやすい。冬は親の送迎、教育施設にふさわしい場所などを考慮してほしい。	1【再掲】
学校の再編はいずれなると思うが和泉地区は例外として学校を残すか、それが無理ならば冬期間は分校として残してほしい。理由は冬期間、国道158号のなだれが心配なため。	3【再掲】
スクールバスを地域のコミュニティバスとして利用するなど市全体で総合的に取り組んでほしい。	
子どもがスクールバスに乗り遅れた時の措置が必要。この際、中学校1校にして20人学級を多くしても良いのでは。	3【再掲】
スクールバスも良いが、まちなか循環バスも充実して地域住民とのコミュニケーションがとれるものも良いと思う。	
中学校の部活は社会人など外部講師で運営し、全中学生が好きな部活に入れるように、大野1チームでの検討を行う。中学校1校は駄目だと思う。学校区という考えを捨てて、中学校2、小学校4くらいにする。和泉小中は好きな特色ある所へ行けるようにする。人口の減らない工夫、移動に困らない交通環境をつくってほしい。バスについて最初に乗った子どもが、直で行けば5、6分の乗車時間でいいのをぐるっと回ること30分かかるとなると可哀想だと思う。	3、7【再掲】
制服は高価でない物（制服はあった方がよい）、通学の安全確保。通学に時間がかかりすぎないようにしてほしい。	1【再掲】
和泉小中は必ず残して欲しい。この地域は大野にとって全国に発信していける魅力ある特色になり得ると思う。私が和泉で生きる意味をなくさないでほしい。合併の場合、学校はどこか。和泉か。親が迎えに行くのか。スクールバスで早い時間に帰ってきて困る。ICTの充実ならネットで授業をつなげばよいのでは。少人数であることの方が良いように聞こえる。和泉にきたからこそ輝いている。学力も落ちずについていっている。自信を持っている。多人数だったら無理。	2、3【再掲】
大野市全体の教職員の人数が減ることの弊害を考えてほしい。スクールバス運用の具体的シミュレーション（毎日、何台も何本も。休業中は？冬季、災害時は？など）をしてほしい。（具体的予算、手続きに係る教員の業務など）	
ネコバス←いいと思います。	
スクールバスルートを細かく、台数を多くする。学校の位置は中心市外地である必要はない。	
登下校の安全	
スクールバスの活用。	
核家族化で放課後の子どもの居場所の確保。	
小学校の集団登校は残して欲しい。建設予定地などきな臭い話が聞こえてくるが子ども達にとって最良の再編をして欲しい。	
放課後過ごす場所に不安があります。遠いところだと児童館へのお迎えが親にも負担です。せめて近くの児童館は残すか現小学校を利用するか、スクールバスを考えて欲しいです。特に特別支援学級の子どものことを考えて欲しいです。今だと児童館まで行けない子ども（下庄など）が居て放課後デイサービスを利用してもいいと思いますがせっかく地域の学校へ行ったのもったいないです。	
中学校1、小学校2は少なすぎる。中学校2、小学校4ほどあると良いのでは。スクールバスの充実（2便以上）、ランドセルや通学靴の指定の廃止（開成中は外ズックで通学すると聞き、嫌だと思った。）	1、3【再掲】
様々な地域の子供が集まるので放課後の過ごし方や長期休暇の預け先がどうなるのか不安です。子どもが地域から少なくなり村に活気がなくなっていくのを感じます。クラスに配置する先生の数を増やして欲しいです。勉強が苦手、分からない時に手厚く見てくれると嬉しいです。	4、6【再掲】
学校に通う子どもたちに不便がないような教育環境にしてもらいたいです。	
スクールバスの利用料金などで地域によって住んでいる家の家計の負担が心配。	
スクールバスの装飾は各地域のいいものが表現されている図柄がいいかもしれません。	
教育長自ら丁寧に保護者の話を聞いてくださりありがとうございます。大野市は自然が豊かで人との温かいつながりもあり人間も温かい地域だと思っています。ぜひ、その魅力を大切に都会ではできない教育をしてもらいたいと思います。都会から戻ってくる子育て世代は子どもの頃に田舎で学校で楽しい経験をしたことを自分の子どもにもさせたくて戻ってきていると思います。企業誘致の話もありますがどんどん学校が減っていく地域だと知り、他県からは移住してこないと思います。都会では出来ない少人数制の手厚い教育や自然の中でのびのびと生きる力を育む経験が出来るのが売りになると思います。上庄地区はまとまりが良く、地域活動も盛んだと思います。これは保育園から中学校まで同じメンバーということもあると思います。少子化で中学校の先生が確保できないため中学校は統合しても小学校は残して欲しいです。そして、小さいうちに徒歩通学して基礎体力をつけたくましい子どもまた大人に育てて欲しいです。お願いします。生きる力をつける教育として、心が折れない頼もしさ、高校卒業したら誰でも炊飯、味噌汁を作れてボタン付け、手揚げかぼん作りくらい出来る家庭科。	3【再掲】
雪がひどい時の通学路の確保。高校で福井に行こうと思っても、電車、バスの時刻が不便。大野市内の街灯が少なく道が暗いこと。	
新しい教育環境＝学校教育＋児童・高齢者福祉＋生涯学習、新しい学校＝学校＋児童センター＋公民館。子どもと高齢者の課題を一緒に解決する。日中の総合学習や放課後児童クラブに高齢者が育て役となる。下校時のスクールバスを高齢者も活用し、地域の足とする。また地域内で活動する様々な人が課外授業の先生となり、地域全体で学校を育てる。人口減少が進む中で子ども達を見守る「目」が地域内で少なくなっている。子どもが成長する過程で出来る限り多くの「目」で守り育てる環境を作る必要があるのではないかと。	1、4【再掲】
他の部門と連携をし、総合的な施策を希望する。クラブ数が少ない⇒他校と合同にて運営する⇒スクールバスの増設が必要。	7
中学校も夏場は自転車を通える環境にしておいていただきたい。冬期は車の送り迎えでも良いですが、夏場は自転車で通えるということを重視していただきたい。小学校は徒歩圏内であることが望ましい。	

今、自然災害がすごく多くなっています。家から遠くなるとそういった時がすごく不安です。今、小学1年生の娘がいます。スクールバスが出て通学時間や体力なども不安。何かあった時にすぐに迎えにいける距離ではないと思う。進学説明会の時に勝山高校の先生が話されていましたがバドミントンのおかげで県外から来たいと生徒が増えたと聞きました。和泉にはスキーがあります。中3の息子もアルペンを頑張っています。特色を生かせたらと思います。高3年の息子は県外に行かず大野にずっといたいと言います。そういう子が増えるといいなと思います。	
放課後のスポーツ終了後のスクールバスの手配。不登校・いじめのゼロ運動。	12
学校再編は基本的には賛成ですが、段階を追って行って欲しい。いきなり中学校1、小学校2はおかしいと思う。また和泉地区の子どもは長い時間スクールバスに乗らなくてはいけないため、可哀想です。新築にこだわるのは何故。	3、10、1 1【再掲】
6 児童生徒（教育方法や競争、負担等）について	関連分類項目
今ある校舎を使って、少しずつ計画を立てて合併していくといい。大きな学校を作るのは、難しいのでは。子供の負担が大きい(精神的)財政的にも。	1【再掲】
子供達に自信を!	
子供達に「地域創生」の力をつけることをもっと追求して欲しい。地域の歴史や伝統を十分に学ぶ事が大切であり、かつAI等の新しい技術は地方でも学ぶ方法は見出すことは可能と思います。団体活動は各校の連携を考えられると思います。	
知識基盤社会に対応するなら、「学力テスト」づけから「学テ」不参加を選ぶべきです。市独自に、教職員と施設(校舎)を増やす予算をつけるべき(少子化対策として)	
一定規模の人数で学習や部活動ができるよう、環境を整えるべきで、グローバルかつ国際化する社会で生き抜く力が育つよう、地域も行政も一体となって努力すべき!!	
同一学校の各学年でスポーツ競技のチームが組めるような再編が良い。また、学力で競争、比較できる同期生が多数いるような環境、助け合い、話し合いが多数で行える環境が良いと思う。	
英語への対応が必須となるなか、AIへの対応など子供たちが身に付けなくてはならない知識は多様化している。学校再編による規模の拡大で多様な人間との切磋琢磨できる環境も必要だが、大野市として他市町に比べて特色ある教育方針、内容を打ち出すことが必要。学校再編というハードの議論と同時にこの様なソフトの議論も進めてほしい。	1【再掲】
農業や林業、祭りや雪遊びの活用、水や米の活用など大野ならではのそれぞれの地域の特色を取り込んだ教育をしてほしい。(続けてほしい)地域の文化、人材を活用し市外から子どもが呼び込めるような学校(できるなら福井初の特認校)を作してほしい。保育園を教育の一部としてとらえてほしい。保育士の待遇を改善し子どもを安心して預けられるように。放課後、夏期・冬期の子どもが居られる場所を作って欲しい。外でたくさん遊べるように。優秀な教員の育成、獲得に力を入れて欲しい。市外に大野は教育に力を入れているとアピールできるように。部活は校外のクラブ活用など柔軟に対応してほしい。教育と福祉を一体のものだととらえ小児医療体制、共働きへのサポート等、大野は子育てしやすいと思われてほしい。勝山、永平寺と比べ今は全くそう思わない。	4、7、9 【再掲】
地域とのつながりを大切にしてほしいと思う。地域の協力なくして学校はないと思う。学力だけでなく心の教育にも重きを置いてほしい。命の大切さ、感謝の心、他を認めるなど。	4、7、9 【再掲】
情報化社会に対応するため、児童生徒1人が1台のタブレットを持ち、いろいろな授業を受けられるようにする。まずは子ども達の気持ちが一番かなと思いますが、現状再編は免れないと思います。育成会も維持が難しいので学校再編だけでなく、多方面から見直しが必要なのかと思いました。	
大野市ならではの教育、指導内容を盛り込んでほしい。大野市の良さを理解、説明できるような人材に育てる教育をしてほしい。	2【再掲】
行事少なく。宿題少なく。	
中学校まではスマホを禁止する。(スマホによるトラブルが多い。)通学しなくても通信制の学校を作るといい。(大野でも)学校という集団生活が苦手な子は多くいる。学校に行きたくない子は行かなくていいというシステムもあるといい。いじめの問題が今は多い。	
将来大野に戻ってきてくれる子が増えるといいです。	
大野に居たいと思える子ども、教職員がこの先増えることを望みます。	
学ぶ事の楽しさを大切にする学校を一緒にやっていたらと思います。	
様々な地域の子どもが集まるので放課後の過ごし方や長期休暇の預け先がどうなるのか不安です。子どもが地域から少なくなり村に活気がなくなっていくのを感じます。クラスに配置する先生の数を増やして欲しいです。勉強が苦手、分からない時に手厚く見てくれると嬉しいです。	4、5【再掲】
スマホ、PCから様々な情報を入手できる時代になったが、性教育を行い、性の知識を正しく伝えられる場が必要と思う。	
子どもの自主性が発揮できる、自由な活動の時間も必要かと思えます。	
中学校2校、小学校4校の再編を望みます。あまり少ないのはどうかと思います。学校があることでお互い、切磋琢磨出来ることもあるのでは。	3【再掲】
プログラミングや英語が小学生から始まる聞き、家で聞かれたとしても教えてあげることができなそうなので、親にも教える方を広めて欲しい。	
子ども1人1人に向き合ってくれると嬉しいと思う。他の子と違う考え方や行動をしても、受け入れるような考え方もして欲しい。	
賛否両論あると思いますがクラスの住所や電話の載っている名簿が必要だと思う。人口減少なので人間関係が疎遠になる。	
地域の歴史から子どもたちが学び、自立的に生きる力をつけられるよう、計画的なものがセットされると良い。	
小学校から英会話を十分に取り入れてもらいたい。すべての授業で英会話をに入れて進めて自然と身につけて欲しい。ペーパーレスの授業に行く方向が良いと思う。	
7 部活について	関連分類項目
一定規模の人数で学習や部活動ができるよう、環境を整えるべきで、グローバルかつ国際化する社会で生き抜く力が育つよう、地域も行政も一体となって努力すべき!!	
同一学校で学年でスポーツ競技のチームが組めるような再編が良い。また、学力で競争、比較できる同期生が多数いるような環境、助け合い、話し合いが多数で行える環境が良いと思う。	
子供達には選択できる範囲を増やしてやるようにしたほうがよい(部活動など)	

放課後だけみんスポクラブのように大野市全体で活動すればいいのでは	
素案の時に提案した小中の義務教育学校を上庄に作ることを検討したのですか。もしそうでないなら、最初から合併ありきだったということだと思います。松木先生の言った、デイケアとの共有など新しいアイデアをどんどん取り入れてほしい。教員の働き方改革を考える上でも、部活動の事を再編の議論にするのはおかしい。部活は学校単位でなく、社会教育の中で行う仕組みをこの際取り入れてほしい。	3【再掲】
学校のクラブの件だが各学校に子供たちの希望するクラブがないので学校にあるクラブで我慢している子供がいっぱいいます。週2日でもよいのでバスを使って自分のやりたい部のある学校へ行き自分の特技を伸ばす。大野市の中学ではこれが足りない!!この広い大野市には中学校は2校必要だと思います。	
部活動等の問題に真剣に取り組んでいない。先送りにしているだけである。	
住民票がなくても、その部活がしたければ行きたい中学校へ行けるようになればいいと思います。	
部活が選べない。部活に力を入れていない。	
農業や林業、祭りや雪遊びの活用、水や米の活用など大野ならではのさらにそれぞれの地域の特色を取り込んだ教育をしてほしい。(続けていってほしい)地域の文化、人材を活用し市外から子どもが呼び込めるような学校(できるなら福井初の特認校)を作ってほしい。保育園を教育の一部としてとらえてほしい。保育士の待遇を改善し子どもを安心して預けられるように。放課後、夏期・冬期の子どもが居られる場所を作って欲しい。外でたくさん遊べるように。優秀な教員の育成、獲得に力を入れて欲しい。市外に大野は教育に力を入れているとアピールできるように。部活は校外のクラブ活用など柔軟に対応してほしい。教育と福祉を一体のものだととらえ小児医療体制、共働きへのサポート等、大野は子育てしやすいと思われてほしい。勝山、永平寺と比べ今は全くそう思わない。	4、6、9【再掲】
中学校の部活は社会人など外部講師で運営し、全中学生が好きな部活に入れるように、大野1チームでの検討を行う。中学校1校は駄目だと思う。学校区という考えを捨てて、中学校2、小学校4くらいにする。和泉小中は好きな特色ある所へ行けるようにする。人口の減らない工夫、移動に困らない交通環境をつくってほしい。バスについて最初に乗った子どもが、直で行けば5、6分の乗車時間でもいいのをぐるっと回ること30分かかるとなると可哀想だと思う。	3、5【再掲】
少人数教育を特色にしてほしい。学校での部活をやめ、市全体のクラブ活動にすれば良い。保護者参観や懇談会が職場で重なり参加できないことがある。	3【再掲】
「中途半端にしかできない」部活動をやめさせてほしい。	
中学校の部活動は大野市全体で中学校の枠を解いて運営するシステムをつくるべきである。	
部活動がある程度の種類があって欲しい。すごく美味しいあったかい給食。	2【再掲】
部活は外部コーチを利用し先生の負担を減らし良き指導が受けられるようにすると良い。	
新しい事に取り組む事は時代に沿っていく上で大切だと思うが、まずは現状をしっかりと1人1人の教員がこなせるようになってから次を考えて欲しい。広げるだけ広げて対応しきれない教員が増えて欲しくない。夏休みの3年生を対象にしていた、ふるさとクラブのような授業をどんどん取り入れて欲しい。部活をさせるからには指導者もしっかりした有資格者が揃って欲しい。	
ハコモノにこだわらず不登校でも学習の遅れが出ないよう、ICTの活用や学校から遠い子が部活動が出来るよう、移動や学習に差が出ないかが心配で配慮して欲しい。	2、10【再掲】
中学校の現在は団体競技が全国大会に出ても校区内でしか入学できないので自分のやりたい部活が選べるようにしてほしい。	
中学校の部活面は好きな競技、やりたいことを選べると良い。学校を超えての編成も良いのではと思う。	
他の部門と連携をし、総合的な施策を希望する。クラブ数が少ない⇒他校と合同にて運営する⇒スクールバスの増設が必要。	5【再掲】
クラブ活動の充実と専門の先生の充実を。	8
中学校の再編では部活が話題になりますが部活についてはたとえ統合した中学校でその数が増えても決してすべての希望が満たされる訳ではないでしょう。極論ですが、社会体育・生涯スポーツといった大きな視野から考えるべきではないかと思えます。少子化で部活が単独の中学校で成り立たない部活があり、今後も増えていくことでしょう。	
8 教職員について	関連分類項目
知識基盤社会に対応するなら、「学力テスト」づけから「学テ」不参加を選ぶべきです。市独自に、教職員と施設(校舎)を増やす予算をつけるべき(少子化対策として)	
学校での子供の教育に観点を限定したアンケートだと思いますが、学校教育に限定したとしても、問3~11では片手落ちと思う。通学距離が遠くなる。地域が学校から遠くなる。市全体の子供の数は学校が減っても変わらないのに、教職員数は激減する。他にもいろいろ、学校教育にのみ関係することとしても影響する要因はたくさんある。本来は、この他に家庭の教育力、地域の教育力の観点でも考えなければいけない。問3~11の内容では、統合して作る学校という部分が抜け落ち、今ある学校がどんな現状だといいかを問うることになる。	4、5【再掲】
正規の先生方の数を十分確保(増)していくとよい。	
たくましい先生を多く育ててほしい。	
大野市全体の教職員の人数が減ることの弊害を考えてほしい。スクールバス運用の具体的シミュレーション(毎日、何台も何本も。休業中は?冬季、災害時は?など)をしてほしい。(具体的予算、手続きに係る教員の業務など)	
教職員の多忙化解消には、人手を増やすことが絶対に必要です。県費の教員や事務員は定数が決まっているのでどうしてもないですが、ぜひ市費の人員を増やして多忙化を解消してほしいです。大野モデルとして全国の手本となるような思い切ったことをしてほしいと思います。事務員が増えれば先生方がやっている事務仕事が減り、子どもと向き合える時間が確保できると思います。	
児童センターの利用がしやすい、子ども園の給食化など、子育てに安心できる制度がとてもありがたい、という大野の良さをさらに発達させて、それをアピールしてはどうか。学校がなくなると、その地域力は必ず低下します。今、地域をつないでいる方々は、間もなく天へ帰ります。今の中年世代、若者世代が見通しを安心して持てる大野にしてほしいと思います。また、今、大野の学校教育を支えてくださる方々が定年を迎えつつあり、その素晴らしい力と知恵を若い先生につなげるゆとりがありません。40代の教員数は少なく、教育の質(保護者対応とか)を保つ工夫を早急にしないと厳しいです。学校の再編は5年以内に。新築物件は雨漏りしないような安心できるものにしていただきたい。めいりん+有西小のようにいるんなコミュニティが併設されている設置の仕方もよいと思います。	

学校教育予算を増やして、職員数が減らないよう市で人を確保してほしい。	
再編による教職員の定数減により、市外へ異動しなくてはならないような状況になるべく少なくしてほしいです。	
大野市の教員（若い方々）の思い（不安）を解消してあげてほしい。教員数が減れば教育の質は下がる（落ちる）。再編ありきの話し合いに参加させられているような形に感じてしまい…。市の教員費（10%）を再編によって大野にいらなくなる方のために使ってほしい。	
大野に居たいと思える子ども、教職員がこの先増えることを望みます。	
学校の数は減っても、教員の数は減らさないでほしい。地域とのつながり、スクールバス、部活…今まで以上に仕事は増える。働き方改革も同時進行でお願いします。	
地域の方の協力はとても大切です。どうこの地域力を学校に生かしていくかの具体的な案を準備していただきたい。その際、教師の負担にならないようお願いしたい。	4【再掲】
先生がいろいろ大変だと思いますが、悪いときには責任を持って愛情を持ってしっかり叱ってもらいたいです。お世話になります。	
新しい事に取り組む事は時代に沿っていく上で大切だと思うが、まずは現状をしっかりと1人1人の教員がこなせるようになってから次を考えて欲しい。広げるだけ広げて対応しきれない教員が増えて欲しくない。夏休みの3年生を対象にしていた、ふるさとクラブのような授業をどんどん取り入れて欲しい。部活をさせるからには指導者もしっかりした有資格者が揃って欲しい。	
教員の質、子を思う心を高めていただきたいです。教育長の話を生方先生方に繰り返し繰り返し伝えていただきたいです。先生のごことがスキと思う気持ちが土台となって、学びたいにつながっていくと思うからです。	
I C Tのプロ教員を採用するべきかも。市長のリーダーシップに期待するしかない。	
教育は人との出会い。教師も大切な環境。教師の力量を高める必要がある。	
乾側地区は福井への通勤に近く、公共交通機関（バス、汽車）等が便利であるためか、良い先生が多く、子どもたちをよく見てくれました。感謝しています。地区の中心になるような施設、政策を考えてもらいたい。	
教師も子どもから学んでいただきたい。教育環境とは創っていくもの。最初からベターなものがあるわけでもないし、子どもによっても当然変わっていかないとはいけない。音楽、美術、技術、家庭の専科の教師を是非配置して欲しい。	
クラブ活動の充実と専門の先生の充実を。	7【再掲】
一番大事な事は教職員の数です。子どもにとっても教職員にとっても。基礎、基本を身につけることが小中の任務。義務教育は無償に。子育てを充実することで子育て世代が移住してくる。大分県豊後高田市を学んでください。	
9 まちづくりについて（人口減少対策等）	関連分類項目
人口が増えない中、特に若年層の人口が減少していく中“市”の維持も難しくなるのではないかと。教育を語る前に市の現状を抜本から考えないといけないと思われる。地方が疲弊している現状、大野に限った事ではないが。	
里山を守る為に地域保全向上活動を実施して交付金を出したり、中部縦貫道の開通に向けて道の駅を開設するなど農村部への活性化を進める一方で、コンパクトシティ化を進めている。そのままではいずれ里山を守る人々がいなくなり里山は荒れてゆき、道の駅に特産品を出品する人がいなくなる。やはり農村部に人が残っていくような教育環境を守っていくことが大切だと思う。コンパクトシティ化の先に何があるのか？町中に年寄りがあふれ、デイサービスや介護施設が増え、若者は市外へ勤務するようになり、いずれ大野に残るのは年寄りだけになるのでは？	4【再掲】
松木先生の話聞きながら、学校の枠組み等、大きな発想の転換が必要であることを考えさせられました。今のままでは不安があります。少なすぎる児童・生徒数では、何をしても限界があります。また、社会性を育むにも、他者との関わりが少ないと困難さがあります。未来を見据えた子供たちの資質・能力の育成を考えますと、早く統合に踏みきるべきであろうと思います。その際、市内の交通網がもっと整備されるといいと思います。	
学校の数は減らさざるをえないと思うが、個性ある学校や指導スタイルを工夫し、必ず2クラス以上の学校を作るべき、とは考えなくてよいと思う。少人数の学校で、細やかに対応してもらえたり、自分の活躍する場が多くなって自尊心を高めることもできると考える。街に集中させるのではなく、校区や行政区を見直し、大野市の東西南北に学校が残るようにしてほしい。そのための産業誘致や行政再編を市は考えて欲しい。これまでに小さい学校を出た人は人間的によくないのか？決してそうではなく、大野の人のよさは一人一人を大切にされた教育を受けたからではないのでしょうか。	3【再掲】
教育環境のためにも人口を増やすことを考えてほしい。大野のためにも、それが不可能ならいろいろなことを受け入れるしかない。	
農業や林業、祭りや雪遊びの活用、水や米の活用など大野ならではのそれぞれの地域の特色を取り込んだ教育をしてほしい。（続けていってほしい）地域の文化、人材を活用し市外から子どもが呼び込めるような学校（できるなら福井初の特認校）を作してほしい。保育園を教育の一部としてとらえてほしい。保育士の待遇を改善し子どもを安心して預けられるように。放課後、夏期・冬期の子どもが居られる場所を作って欲しい。外でたくさん遊べるように。優秀な教員の育成、獲得に力を入れて欲しい。市外に大野は教育に力を入れているとアピールできるように。部活は校外のクラブ活用など柔軟に対応してほしい。教育と福祉を一体のものだととらえ小児医療体制、共働きへのサポート等、大野は子育てしやすいと思われてほしい。勝山、永平寺と比べ今は全くそう思わない。	4, 6, 7【再掲】
若い人の子どもの育てやすい地域一番を目指して人が減るのを和らげてほしい。話を聞いて中学校1校は是非やめてほしい。	3【再掲】

<p>大野市は、これまでも、これからも優秀な人材を育てていくことができる落ち着いた環境と優れた教育者に恵まれていると思います。残念なのは、国家が望ましいと考える教育に忠実過ぎて、大野市のために活躍する人材育成の視点が弱すぎたと思います。ぜひ、もっと我がままに人材育成していただきたいと思います。優秀なサラリーマン、官僚の卵をたくさん育てても、大野に帰って来て貢献していただいたのは、大野市役所にお勤めの皆様を含む、ごくごく一部です。安倍内閣は、本社機能を地方に移転するなどの数値目標を掲げましたが、達成にほど遠い状況です。都会の大会社に入って世界と競争、活躍することを目指す人材よりも、身近な地域の課題を目ざとく見つけ、その解決策をビジネスに仕立てて、小さな雇用を生み出せるような人材育成に重きをおいていただきたいと思います。</p> <p>福井県が大野市にある高校の数を減らそうとしてきたら、大野市立高校にするか、勝山と組合をつくってでも残して、独自性のある教育、大野に必要な人材、いずれ大野に帰って来て、大野の持続的発展に貢献する人材を育成する仕組みをつくっていただけることを願っています。</p> <p>学校再編の問題を機会に、村部の子育て世代は、これまで希薄過ぎた危機感が高まっていると感じます。地域の存続、活性化のために、このままではダメだと考える人も増えているようですが、そこから、何をどうすればよいのか、途方に暮れている状況だと思っています。シニア世代との温度差もあるように感じます。他市では、公民館からコミュニティーセンターへの衣替えが進み、地域住民による自治、地域経営を後押ししているように感じます。これまで地域は市役所に大きく依存してきたと思いますが、このままではいつまでたっても、自立は望めないと思います。大野市でも地域の自立を後押ししていただける仕組みづくりを願っています。</p>	2【再掲】
<p>地区ごとの問題ではなく大野市全体のこととしてビジョンが示せるとよい。</p>	
<p>児童センターの利用がしやすい、子ども園の給食化など、子育てに安心できる制度がとてもありがたい、という大野の良さをさらに発達させて、それをアピールしてはどうか。学校がなくなると、その地域力は必ず低下します。今、地域をつないでいる方々は、間もなく天へ帰ります。今の中年世代、若者世代が見通しを安心して持てる大野にしてほしいと思います。また、今、大野の学校教育を支えてくださる方々が定年を迎えつつあり、その素晴らしい力と知恵を若い先生につなげるゆとりがありません。40代の教員数は少なく、教育の質（保護者対応とか）を保つ工夫を早急にしないと厳しいです。学校の再編は5年以内に。新築物件は雨漏りしないような安心できるものにしていただきたい。めいりん+有西小のようにいろんなコミュニティが併設されている設置の仕方もよいと思います。</p>	
<p>他市町から流入人口が増えるくらいの魅力を教育から発信できるとよいと思います。大野は、今のままでも良いところなので。</p>	
<p>若い世代が安心して住み、子どもを通わせたいと思う学校にしていきたいです。</p>	
<p>大野の施策として子どもを増やすこと。空家を提供して市外、県外から誘致する。環境はいいのだから、しっかりCMする。</p>	
<p>過疎化が進まない方策を考えるべき。大野市役所職員に市外の人が多いのはどういうわけか？</p>	
<p>街づくりを同時にすすめるという考えは大切だと思います。</p>	
<p>大野市のベッドタウン化。人口減少は避けられないので、住んでもらえる努力が必要である⇒子どもも増える。</p>	
<p>市費負担職員（通級、図書館司書、T T、1校に複数配置の〇〇主任）のように、人材を確保していく。教育環境とともに人の住みやすい町づくりが必要。大野の人は自分が満足していれば興味をもたない？動かないような気がします。大野の全年代の全業種の人をまきこんだ議論を！</p>	
<p>1学級の人数などは大野では決められないと思うので、アンケートをとってもむなしい気がする。「大野に帰ろう」というCD制作・配布ではなく、将来、大野に住みたい、戻ってきたいという人が増えるような政策もすすめてほしい。</p>	1【再掲】
<p>素朴に大野市にとって教育とは何なのかと思いました。地方創生の時代、将来の大野市の姿、グランドデザインを描いた上で産業・福祉・地域医療などと統合連携した形で教育はどうあるべきかを示して、市民が考える材料として欲しいと思いました。</p>	
<p>小学校がなくなると地区がなくなってしまうと思う。本当に少なくなってからではダメなのか。この環境で子育てがしたいと思える所にして欲しい。人口が減ることばかり考えていてマイナスな感じがする。</p>	4【再掲】
<p>大野が発展するために未来を担う子ども達が大野に戻りたい、大野が楽しく期待の持てる市になるよう、魅力のあるものにして欲しい。大野の魅力が感じられる活動を。</p>	
<p>最近、町中でもシーンとしているなどと思います。人口が減っているんだなど。大野市として学校を核として地域を盛り上げて行こうと思うのなら場所とかをちゃんと考えて欲しい。</p>	3【再掲】
<p>10 再編方法について（新築や経費等）</p>	関連分類項目
<p>多くの小中学校を今後維持改修していくためには多額の費用が必要。これらに係る費用をより教育環境(通学を含め)の整備に充てるべき。</p>	
<p>知識基盤社会に対応するなら、「学力テスト」づけから「学テ」不参加を選ぶべきです。市独自に、教職員と施設(校舎)を増やす予算をつけるべき(少子化対策として)</p>	
<p>部活や特殊授業、学校の人数の説明をしっかりと話していますがこれでは小学校は人数トップ4、中学校はトップ2を残そうという印象が受けのりに無理やり1中2小という結論になって、説明と結論が結びつかない。違和感しかない。小中一貫校という案はないのか。新しく建てなくていいし。</p>	3【再掲】
<p>志望する大学に合格できるだけの学力獲得。地域の大人との関わりを深める取組。高齢社会になり益々市の財政のうち教育にかけられるお金が少なくなる。現在の状態を維持するとなると大人は何かを我慢してそのお金を捻出すべきだ。</p>	
<p>最も望むものは新しい校舎ではなく子どもが主体的に楽しく学べる環境です。この機会に小中併設なども考えるべきでは。</p>	
<p>将来…清潔感、ユニバーサルデザイン、除雪対策。</p>	
<p>ネットワークや情報を上手く活用できる力がつくような教育。新築する際、施設の造りをその分野の専門家や現場で働く人の意見をしっかりと取り入れ、使いやすい学校にしてほしい。</p>	2【再掲】
<p>予算はかかると思いますが、今ある学校を使うと吸収という形になってしまう。新しい学校を作ってわくわくするようなスタートができるといいです。</p>	
<p>新しい学習指導要領に沿った最新の設備を持った学校にして欲しい。そうすれば、新築・学校が1校、2校でも親は通わせたいと思います。</p>	3【再掲】
<p>ハコモブにこだわらず不登校でも学習の遅れが出ないよう、ICTの活用や学校から遠い子が部活動が出来るよう、移動や学習に差が出ないかが心配で配慮して欲しい。</p>	2、7【再掲】
<p>一度に小学校2校に編成するのは無謀ではないか。例えば1～4年は各地域に残し、5・6年が本校に行く等、段階を踏んで進めていくのはどうでしょうか。地域に学校を残して欲しい。学校がなくなると地域が廃れていくと思うので。</p>	3【再掲】
<p>複式学級のない小学校へ→再編は必要。当面は、乾側小→西校と下庄へ、小山小→西校と南校へ、阪谷小→富田小へ、まず第一に実行すべき。小学校3～4校、中学校2校は最低必要。校舎は既存のものを使用する。</p>	3【再掲】

再編するにしても決して新しい校舎は建てないで欲しい。	
現在の校舎を利用し、段階的に進める。最終的に計画の小2、中1で現在の建物にしたらどうか。具体的（案）を示す。公民館の再編も含めて行う。有終西小はいろいろな意味で大変良い。	3【再掲】
和泉小中学校は建物が新しいので、この学校を利用するのが1番。中学校が再編され、小学校が再編されるまで、これまで一体となっていた小中が別々になり、まして人数も減り、漠然とした不安。もともと単体だったので慣れればと思うが益々寂しくなる小学校に不安。体育大会などどうなるのだろうか。	
税金の無駄のないような方法でお願い。	
学校再編は基本的には賛成ですが、段階を追って行って欲しい。いきなり中学校1、小学校2はおかしいと思う。また和泉地区の子どもは長い時間スクールバスに乗らなくては行けないため、可哀想です。新築にこだわるのは何故。	3、5、11【再掲】
11 再編時期について	関連分類項目
早く整備(再編)しないと市外への流出が進む。	
小規模の学校はマイナスの面が多い。なるべく早く再編してほしい。	
時間をかけて検討すべき。	
大野市全体の発展、維持の為に、どのような学校を作っていくかを考える時期に来ていると思う。早く再編について見通しが持てるとういと思う。	
松木先生の話聞きながら、学校の枠組み等、大きな発想の転換が必要であることを考えさせられました。今のままでは不安があります。少なすぎる児童・生徒数では、何をすることも限界があります。また、社会性を育むにも、他者との関わりが少ないと困難さがあります。未来を見据えた子供たちの資質・能力の育成を考えますと、早く統合に踏みきるべきであろうと思います。その際、市内の交通網がもっと整備されるといいと思います。	
問3～11の設問の意図がよくわからない。まるで誘導しているかの様に思う。これで、結果ありきになってしまっただけは市民が困惑してしまう。基調講演にあったように様々なモデルを検証し、大野に合った再編方法を考えて欲しい。再編=中2校、小1校から頭が離れないのが大野の人達の様だが、まずそれらを払しょくした上で話し合っただけ進めて欲しい。☆スピード感は大変だが、期限をつけてしまっただけは残念である。問題点を残さないようにとことん話し合う場を設けてもらいたい。	1【再掲】
富田小と一緒にしてほしい。早いうちになるべく子どもの負担が少ないうちに。早めになるなら再編を。	3【再掲】
1年でも早く統合してほしい。楽しく自分に自信が持てるようになるには1学級20人はいた方が良くと思います。	
児童センターの利用がしやすい、子ども園の給食化など、子育てに安心できる制度がとてもありがたい、という大野の良さをさらに発達させて、それをアピールしてはどうか。学校がなくなると、その地域力は必ず低下します。今、地域をつないでいる方々は、間もなく天へ帰ります。今の中年世代、若者世代が見通しを安心して持てる大野にしてほしいと思います。また、今、大野の学校教育を支えてくださる方々が定年を迎えつつあり、その素晴らしい力と知恵を若い先生につなげるゆとりがありません。40代の教員数は少なく、教育の質（保護者対応とか）を保つ工夫を早急にしないと厳しいです。学校の再編は5年以内に。新築物件は雨漏りしないような安心できるものにしていただきたい。めいりん+有西小のようにいろんなコミュニティが併設されている設置の仕方もよいと思います。	
学校再編は当初の計画通り進めてほしい（他の市町に比べて実行が遅い）今、小中学校の子どもを抱える親の立場として宙ぶらりんの状態であるので、一刻も早く再編（小2校、中2校）を進めてほしい！立ち止まって意見を聞くのを終えたら再編を進めるべきである。	3【再掲】
とにかく早くやってほしい。 中学校は2校！	
全校児童で20人を下回っている学校がある。他の学校規模から考えれば1クラスの人数と同じくらいの人数です。集団行動の面、他者との交流という面から特に小規模になっている学校は1日でも早く統合をしていただきたい。	3【再掲】
中学校統合は今すぐにも大賛成。小学校合併は1クラス20人以下になってきたら仕方のないことだと思う。この上庄地区から小学校がなくなると若者、子どもがいなくなる。上庄地区をなくさないためにも上庄のような農村部に再建することも視野に入れて欲しい。	4【再掲】
なるべく早い時期に再編して欲しい。	
再編に不安なことはない。むしろ、遅いくらい。スピード感をもってやって欲しい。	
学校再編は基本的には賛成ですが、段階を追って行って欲しい。いきなり中学校1、小学校2はおかしいと思う。また和泉地区の子どもは長い時間スクールバスに乗らなくては行けないため、可哀想です。新築にこだわるのは何故。	3、5、10【再掲】
12 人間関係（いじめ、子ども等）について	関連分類項目
松木先生の話聞きながら、学校の枠組み等、大きな発想の転換が必要であることを考えさせられました。今のままでは不安があります。少なすぎる児童・生徒数では、何をすることも限界があります。また、社会性を育むにも、他者との関わりが少ないと困難さがあります。未来を見据えた子供たちの資質・能力の育成を考えますと、早く統合に踏みきるべきであろうと思います。その際、市内の交通網がもっと整備されるといいと思います。	
人と人とのつながりを大切にする教育をしてほしい。	
いじめが無いようにして欲しい。	
ITやAI教育が進んだら、その分、他人の気持ちを思いやる教育も同じだけ大切にしていくべきではと思います。（授業だけでなく学校生活すべてにおいて）再編はすでに決まっていることなのですが、そこに子どもがいる限り学校は残して欲しいと思います。子どもは地域の中で地域の人と共に育てられるのが理想です。	4【再掲】
成績より心や人に対する考え方の授業を大事にして欲しい。	
通学時間が増えるが多人数の中で多くの友だちを作れるようにして欲しい。	
放課後のスポーツ終了後のスクールバスの手配。不登校・いじめのゼロ運動。	5【再掲】
13 その他（考え、感想等）	関連分類項目
今日はいろんな話が聞けて良かった。「話をすることが大事」	

開会あいさつの中で、教育長自身が「再編問題」と言っていた。そのことから、小中学校の再編は将来に向けての乗り越えるべき展望のある課題ではなく、解決すべき問題(難題)となってしまったことを感じた。なお、これくらいの規模のシンポジウムであるなら、聴覚障害の方が参加しているかしていないかわず、手話通訳者の配置があった方が良いと思う。全ての人へ配慮するというSDG'sそのものに逆行していることを感じた。全ての人に開かれたシンポジウムではないと思う。これが教育環境を語る場なのでしょう。	
今回の意見交換会で教育長の話の話を聞いていると新築で中1、小2にまだこだわっているように聞こえた。今までいろいろ説明を重ねられて今の結果になっているのに。今までの経緯で「議会に対して反対なら対案を出してくれと言ったが出てこなかった」と言われていたが、どういう学校教育が良いかを考えるのは教育委員会であり、あまりにも当事者意識がなくがっかりした。何回も何回も保護者や地域の人たちを集めながらほとんど歩みが見られない。こうやって会を重ねる度に市民が子どもと触れ合う時間を奪っていることを認識して有意義な説明会にしていただきたい。	
いいこと、きれいごとだけでは伝わりにくいと思う。多少、駄目な田舎が魅力で大野に帰ってきている人が多いことを知って下さい。	
今、とてもありがたい良い環境だと思います。	
意見交換会に参加される方は少ないと思います。学校などでアンケートを配付するなどして皆さんの意見を聞くようにしても良いのではと思います。大野の大規模校は合併を受ける側で自分たちは関係ないと思われると思っています。	
自分の意見だけを言うつもりもなく、他の方の意見を聞きに来ました。良かったです。	
今回は参加人数が少なくてびっくりした。しかし、少人数だから話しやすい場だったかと思う。以前の説明会とは雰囲気の違い、とても良い空間だったと思います。子どもが元気に過ごせる環境を創れることを願います。	
今はいろいろな考え方があってよいと思います。どのような考えにせよ、先生の言動ができるだけ筋の通ったものであってほしいと思います。(もちろん親もです。)	
家では親も子ども先生であり生徒。	
小中学生は少人数のためか。	
目新しさや、よその時事・流行に惑わされず、目指すべき将来を目指してほしい。	
いろいろな立場の人達から様々な意見を集められて、本当にご苦労様です。ただ、そこから、どうやってなるべくみんなが納得できるような案にしようか…。	
市は様々な視点で考えて提案していると思う。批判的な人達はもっと肯定的に話を聞いてはどうか？また税金で動くことに自分の地区本位の意見も多い。自分たちで負担してでも通したいのかどうか聞きたい。目の前の子どもたちの今はどんどん過ぎてしまっている。	
地区のアンケートに記入済み。	
いろいろ期待しています。未来の子ども達も大野を好きでいてくれるように願います。	
再編には大賛成です。不安な点もありますが、大人数でないことと学べないことが多くあり、そちらの方が人生を歩む上で大切だと思うからです。	
基本的に再編賛成派です。今日、教育委員会の方々のお話を聞き、大野の教育環境のことや子どもたちのことをよく考えてくれていたのがすごく伝わってきました。反対意見のある方ももちろんいますが何より大人たちの都合より子どもたちのより良い未来のために再編を考えていてもらいたいです。ランドセルを統一したいという意見もありましたが、私は個人個人の自由がいいなと思いました。ランドセルでもナップザックでも何でも良いのが良いです。	2【再掲】
学校再編について、まだまだ多く問題があります。	
小学校の先生に園に来ていただき「遊びの中での学び」について、私たちに助言していただいたり、子どもの育ちをお伝えしたりしていく機会を設けていただけたら有難いです。	
今日の会議、我々出席者はゴザの上、主催者側が座布団の上、我々に対し上目線でこの会議を開催されているのか、出席者と同じ立場での意見交換会ではないのか、大変違和感を感じた。会議を開いたとの満足感のための会であるように思える会だと感じる。もっとしっかりした会をすべき。	
下庄地区で意見交換会、とても良かったと思います。以前、中1、小2の説明会に出席した折にはなんだろうという思いで(一方的に)帰って来ましたが、その後、議会では否決だったと思います。19日は本当に分かりやすく穏やかに質疑応答、大変さが解りました。乾乾小の件も誤解を自分もしていましたし、他の人も多いと思います。説明を聞いて納得、誤解を解けるような方法はないかと思う次第でした。	
学校再編は少子化・過疎化が進む中で不可避と思う。将来を見据えて前へ進めて欲しい。(頑張って欲しい)	
上庄地区から学校がなくなることが今まで考えられなかった。	
学校再編はさけて通れないものと思うので先延ばしとしないようにしてもらいたい。	
再編計画であるがトップが変われば計画も変わるのでは市民が迷うだけでなく、子どもたちが混乱すると思う。	
再編はいろんな面で現状よりベターになると思う。	
本当に言いたいことがあったら、やまびこなどに意見を寄せます。	
他校の生徒との交流がもっと増えてもいい。	
私の子どもはこの和泉で育って良かったと言っています。少人数でしかも男1人だったので嫌な思いや寂しい思いもしたと思いますが(そんな姿を見てきました)地域や先生に恵まれて本当に良かったです。	
教育環境とは何か。統合にすることによって教育環境がよくなるとは考えられない。よく大人数によって切磋琢磨という言葉を使いますが競争させているだけである。	
前もってアンケートがあったのか。今、ここで記入するのは難しい。	
子どもの数は減る一方で学校再編に関しては大変ご苦労だと思います。	
市の担当者、教育長が異動、退職するとまた振り出しに戻るのでは。	
学校は人間ベースアップセンターである。私たちが人生を振り返るとき、子ども時代が家族と共に普通に生きていた頃が最も幸せだったなと思い出している。人間は人間によってしか助けられない。せっかく生まれ来た時代が同じなのだから助け合って生きていこう。内村鑑三さんは「後世への最大遺物は高尚なる生涯である」私は感動しました。誰にでも残せる最大の遺産です。大正デモクラシーの自由教育、与謝野晶子曰く「磨くべきは競争心でなく表現力である」表現力とは人生かな。	

參考資料

将来の教育環境に関するアンケート

本日は、お忙しい中ご来場いただきありがとうございます。

本アンケートは大野市の将来を担う子どもたちに、より良い教育環境を提供していくための検討資料と考えています。ご回答のご協力をお願いします。

問1 あなたは、以下のどれに該当されますか。当てはまるものすべてに○をお願いします。

- 1 乳幼児の保護者 2 保育園児や幼稚園児の保護者 3 小学生の保護者
4 中学生の保護者 5 高校生の保護者 6 大学生や専門学校生等の保護者
7 その他

問2 あなたの年齢と性別について、該当する箇所○をお願いします。

【年齢】 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上

【性別】 男性 女性

問3 小学校の1学年の学級数は、どのくらいが望ましいと考えますか。

- 1 1学年複数学級（2学級以上）が望ましい
2 1学年1学級でもよい
3 複式学級（2つ以上の学年を1つに編成した学級）があってもよい
4 分からない

問4 問3で回答された理由について、ご記入ください。

問5 小学校の1学級の児童数は、どのくらいが望ましいと考えますか。

- 1 31人以上
2 21～30人
3 11～20人
4 10人以下

問6 問5で回答された理由について、ご記入ください。

問7 中学校の1学年の学級数は、どのくらいが望ましいと考えますか。

（参考）福井県では、中学校において複式学級の制度を採用していません。

- 1 1学年複数学級（2学級以上）が望ましい
2 1学年1学級でもよい
3 分からない

裏面に続きます。

問 8 問 7 で回答された理由について、ご記入ください。

問 9 中学校の 1 学級の生徒数は、どのくらいが望ましいと考えますか。

- 1 31 人以上
- 2 21～30 人
- 3 11～20 人
- 4 10 人以下

問 10 問 9 で回答された理由について、ご記入ください。

問 11 学校の再編で不安なことはありますか。

- 1 ない
- 2 ある（その理由について、以下で該当する項目すべてに○をお願いします。）
 - ア 新しい環境に子どもがなじめるかどうか
 - イ 子どもの通学時間が長くなるのではないか
 - ウ 通学路の安全が確保されるか
 - エ 通学手段が複雑になるのではないか
 - オ 先生による子ども一人ひとりの把握が難しくなるのではないか
 - カ 特別教室や体育館等の利用の面から学校活動に一定の制約が生じる場合があるのではないか
 - キ 保護者や地域社会との連携が難しくなるのではないか
 - ク 再編後の学校跡地の活用はどうなるのか
 - ケ その他（_____）

問 12 大野市の現在の教育環境や将来の教育環境に期待すること、要望することがございましたら、そのお考えをお願いします。（自由意見欄）

【例】・情報化社会に対応するため、児童生徒 1 人が 1 台のタブレットを持ち、いろいろな授業を受けられるようにする。
・小学校の制服は自由にする。 ・スクールバスの装飾を子どもらしいもの（例えばネコバスとか、児童生徒が描くなど）にして通学を楽しくする。

学校再編に関わる意見（小中学校教職員対象アンケート結果）

1 調査概要

大野市小中学校校長会が主体となり、市内小中学校の教職員に対し、現在教職に就いている小中学校について学校再編の視点で意見を集約した。

2 調査実施期間

令和元年10月15日～12月10日

3 回答者数

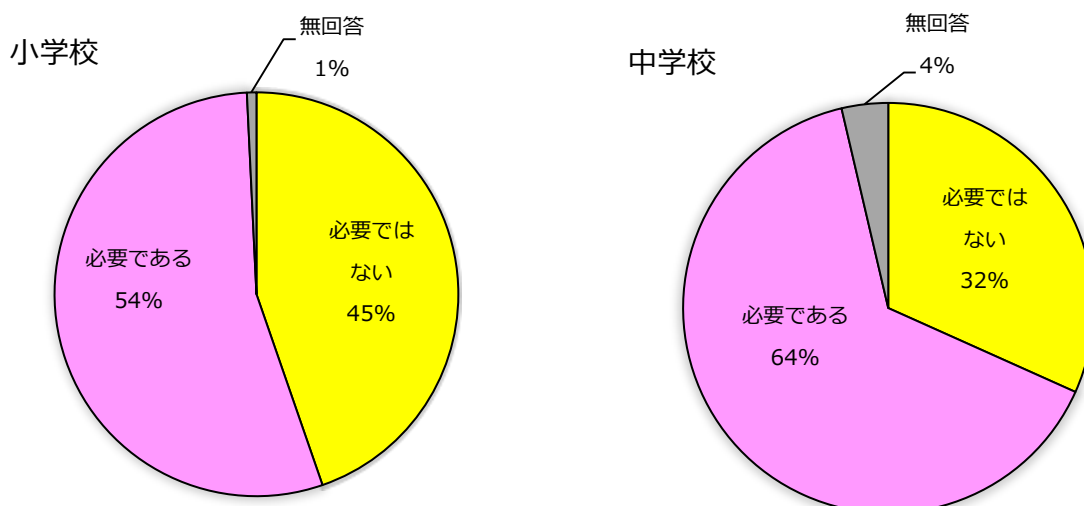
小学校10校／132人、中学校5校／82人 合計214人

4 集計結果

設問ごとの結果は以下のとおりである。

（問1）現在勤務している小中学校の再編の必要性について、どのように考えているか。

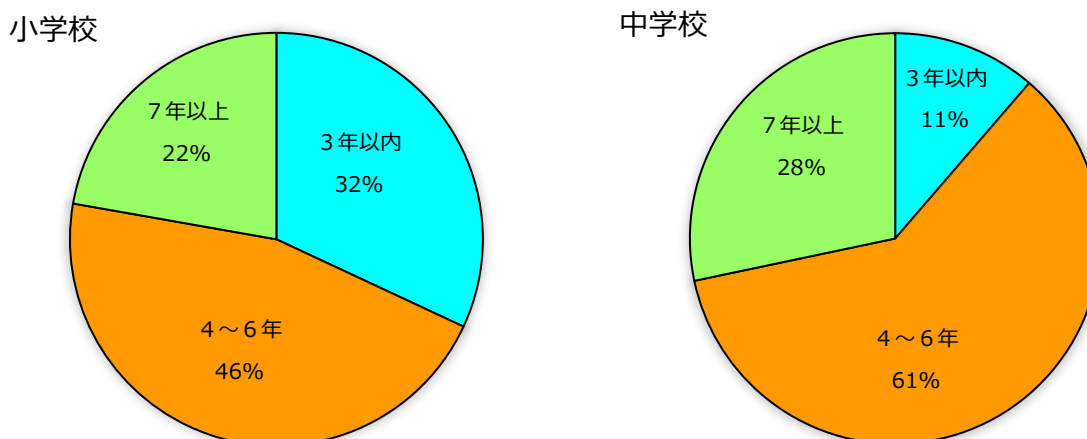
- 1 必要ではない 2 必要である



※上記結果数値は、小学校では小学校の教職員のみ、中学校では中学校の教職員のみ、の回答数値である。

（問2）問1で「必要である」と回答した方に、再編までの期間は何年と考えているか。

- 1 3年以内 2 4～6年 3 7年以上

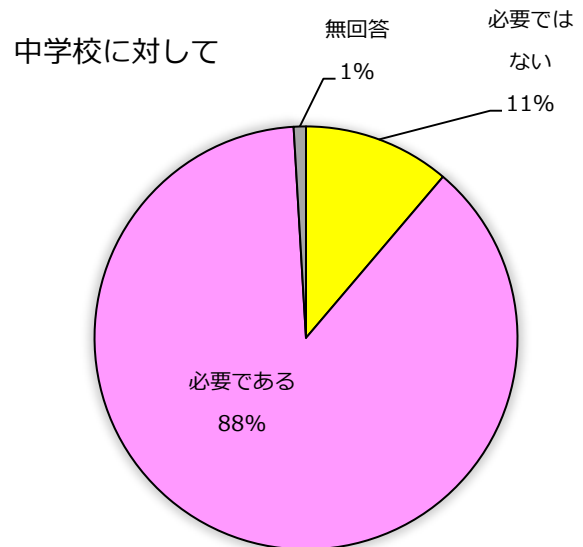
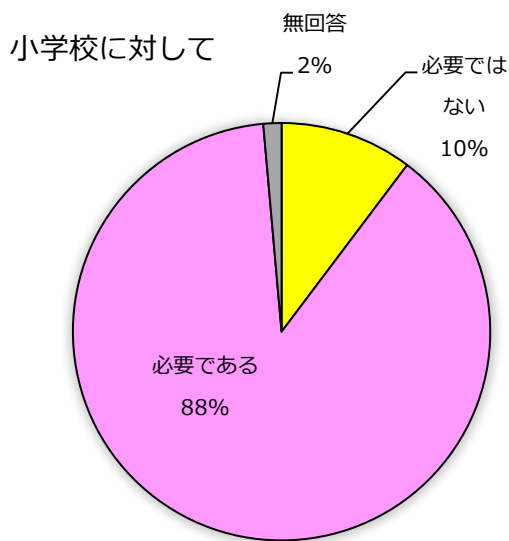


※上記結果数値は、小学校では小学校の教職員のみ、中学校では中学校の教職員のみ、の回答数値である。

(問3) 市全体で考えた場合の再編の必要性について、小中学校それぞれでどのように考えているか。

【小学校】 1 必要ではない 2 必要である

【中学校】 1 必要ではない 2 必要である



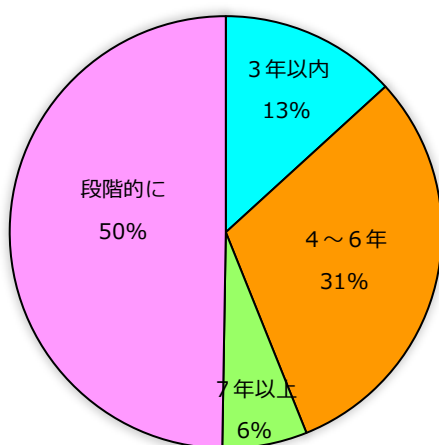
※上記結果数値は、小中学校の教職員すべてを合わせた回答数値である。

(問4) 問3で「必要である」と回答した方に、再編までの期間は何年と考えているか。小中学校それぞれで回答してください。

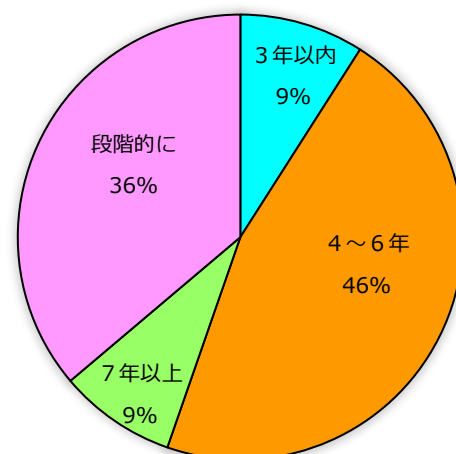
【小学校】 1 3年以内で 2 4～6年で 3 7年以上で 4 段階的に

【中学校】 1 3年以内で 2 4～6年で 3 7年以上で 4 段階的に

小学校に対して



中学校に対して



※上記結果数値は、小中学校の教職員すべてを合わせた回答数値である。